

平成 21 年度

川崎市立中学校
学習状況調査
報告書

川崎市教育委員会・川崎市立中学校長会

はじめに

川崎市教育委員会
教育長 木場田 文夫

平成 20 年 3 月 28 日に新しい学習指導要領が告示されました。今年度より移行措置期間に入り、総則・道徳等は先行実施し、数学・理科については内容の一部を前倒しして実施しております。新しい学習指導要領では、知識基盤社会を生きぬくために必要な「生きる力」を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた育成を重視しています。そして、確かな学力は、その要素として、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲が学校教育法に示されているところです。

本市では、平成 17 年 3 月に一人ひとりがいきいきと輝く学習社会の実現を目指し、「かわさき教育プラン」を策定し、平成 20 年度より「第 2 期実行計画」に取り組んでおります。このプランに基づき、教育委員会として様々な施策に取り組むとともに、各学校におかれましては、次代を担う子どもたちの育成にご尽力いただいております。

さて、子どもたちの確かな学力を育むうえで大切なことの一つとして、子どもたちの学習状況を正しく把握することが挙げられます。そのためには、各学校が自校の状況を市全体の状況との関係において客観的に把握することが大切です。

川崎市立中学校学習診断テストは昭和 43 年度に始まり、今年度は 42 回目の実施となります。また、平成 17 年度からは、「かわさき教育プラン」の「学校の教育力を高め、確かな学力を育成する」という重点施策に則り、川崎市立中学校学習状況調査としても実施されております。本調査は、生徒の学習状況の実態、生活や学習についての意識を客観的に把握し、指導方法等の改善に役立てること、生徒の学習状況を保護者に伝え、家庭での学習の在り方の改善に役立てること等を目的として実施されています。各教科の作問委員の皆様には、今年度も目的に沿うよう、質の高い作問に取り組んでいただきました。

各学校におかれましては、本調査の趣旨をご理解のうえ、調査結果を指導方法や教育課程編成の改善等にご活用いただきたいと存じます。

終わりに、学習状況調査の運営・実施にあたってご尽力いただきました中学校現職教育委員会をはじめとする中学校校長会に厚く御礼申し上げます。

平成 21 年度「川崎市立中学校学習診断テスト」のまとめにあたって

川崎市立中学校長会長
前田 博明

川崎市立中学校学習診断テストは、昭和 43 年度より校長会の委託事業として 5 教科で実施され、川崎市立中学校教育の学習指導の向上に向けて、実績を積み重ねてきました。平成 17 年度からは、川崎市教育委員会直轄の事業となり、2 年生では 5 教科のテストとともに、生活や学習についてのアンケートもあわせて実施しています。

平成 20 年 3 月に新しい学習指導要領が告示され、本年度からは移行措置期間となり、数学・理科では内容の一部を先取りして実施しています。新しい学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲等からなる「確かな学力」の育成が掲げられています。また、本市におきましては「かわさき教育プラン」に基づき、「確かな学力の育成」を目指し、各学校で、指導方法や教育課程編成の改善に努めているところです。

さて、学習診断テストは「全市的な規模で生徒の学習状況を調査することにより、学習指導上の課題を明らかにし、指導方法の改善や教育課程編成の工夫につなげ、生徒の基礎学力の向上に役立つ」ことを目的として実施されています。5 教科の部会長、副部会長と作問委員の先生方には、このようなテストの目的を踏まえて作問していただきました。そして、11 月 11 日に学習診断テストは各学校のご協力により滞りなく実施され、その後の処理や分析についても順調に行われ、無事終了することができました。今後は、各学校で市全体の結果や分析をもとに、自校の結果分析を行うことで、指導方法の向上等に生かし、生徒の学力向上に結び付けていただきたいと思います。

学習診断テストの実施に際しまして、ご尽力いただきました川崎市教育委員会、校長会現職教育委員会及び教育研究会の各教科部会、教頭会の皆様には多大な労苦をおかけしました。特に、多くの時間と労力を割いて作問に携わっていただきました 5 教科の作問委員の皆様には心より感謝申し上げます。

川崎市学習診断テストが、より客観性や信頼性を高め、時代の要請に応えるものとなることを願い、ご尽力をいただきましたすべての皆様に心より感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

目次

I 調査の概要

1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の対象	5
4. 調査実施日及び調査対象人数	5
(1) 調査実施日	5
(2) 調査対象人数	5

II 調査結果の概要

1. 国語	9
誤答分析と学習指導上の考察	10
調査問題	29
2. 社会	81
誤答分析と学習指導上の考察	83
調査問題	105
3. 数学	167
誤答分析と学習指導上の考察	169
調査問題	183
4. 理科	213
誤答分析と学習指導上の考察	214
調査問題	233
5. 英語	307
誤答分析と学習指導上の考察	309
調査問題	329

III 生活や学習についてのアンケート

調査の概要	383
調査結果と分析	384
単純集計	384
クロス集計	393
各教科の正答率との相関	401
資料 調査結果集計表	404

I 調査の概要

1. 調査の目的

全市的な規模で生徒の学習状況を調査することにより、学習指導上の課題を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、生徒の基礎学力の向上に役立てる。

2. 調査の内容

○国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標及び内容の基礎的・基本的な事項について、各教科の出題範囲に基づいて、全学年を対象とする調査を実施した。

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

生徒の生活や学習に対する意識等について明らかにするために、第2学年の生徒を対象とする調査を実施した。

3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

4. 調査実施日及び調査対象人数

(1) 調査実施日

平成21年11月11日（水）

(2) 調査対象人数

中学校第1学年	9,016人
中学校第2学年	8,732人
中学校第3学年	9,083人
生活や学習についてのアンケート	8,064人

Ⅱ 調査結果の概要

平成 21 年度

川崎市立中学校
学習診断テスト
国語科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
国語科調査委員会

1. 作問にあたって

今年度も「検査の目的・趣旨」に即し、ペーパーテストで問える許容範囲で、国語科学習の全領域にわたって出題するよう努めた。作問にあたっては、中学校学習指導要領を踏まえた上で「平成20年度川崎市立中学校学習診断テスト・誤答分析と学習指導上の考察」に表れた問題点をはじめ、PISA2003（読解力）調査、平成21年度全国学力・学習状況調査問題等の出題のねらいも考慮した。

出題範囲・内容については、各学年とも10月末までに学習する内容を主体として、漢字の読み・書き、語句の知識や文法、文学的文章（小説）、説明的文章（説明文・論説文）、古典（古文）、詩歌（詩・短歌・俳句）、書写から出題した。ただし、1学年の古典、2・3学年の書写については出題しなかった。また、全学年でそれぞれの履修内容に照らして、聞き取りテストを実施した。

19・20年度同様、語句や文法などの「言語事項」を扱う大問を各学年ともに問二にまとめ、より客観的に「言語事項」に関する力を測れるようにした。また、今年度は、1学年の書写で「行書」の問題を取り入れるという新しい試みもおこなった。

PISA型読解力に沿った出題ができる素材として、2学年では説明的文章に、3学年では聞き取りと説明的文章に意識的に選定した。1学年においては各学校で使用する教科書の差異（光村図書では図や表を用いた文章は2学年からである）を考慮し、あえて資料などを用いた作問はしなかった。その分、文学的文章も説明的文章も本文をじっくりと読み込むことで解答していく文章の選定に心掛けた。

各学年とも、文学的文章や説明的文章で出題された部分の続きが、その後読みたくなるような文章を意識して選定した。

2. 出題のねらい

平成二十一年度 川崎市立中学校学習診断テスト 出題のねらい 国語

問題	1 年	2 年	3 年
問一	<p>●スピーチ発表の内容を的確に聞き取ることができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②スピーチの工夫されたところを理解できるか。</p>	<p>●インタビューの内容を的確に聞き取ることができるか。</p> <p>①話題や方向をとらえて聞くことができるか。</p> <p>②内容の理解・把握ができるか。</p> <p>③インタビューするときの工夫を理解できるか。</p>	<p>●話し合いの内容を的確に聞き取ることができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②話題や話し合いの工夫をとらえて聞くことができるか。</p> <p>③話題とグラフの関係をとりえて聞くことができるか。</p>
問二	<p>●言語事項に関する基礎的な知識が身についているか。</p> <p>①既習の漢字について読字・書字ができるか。</p> <p>②言葉の単位(文)が理解できるか。</p> <p>③漢字の部首が理解できるか。</p> <p>④漢字の総画数が理解できるか。</p>	<p>●言語事項に関する基礎的な知識が身についているか。</p> <p>①既習の漢字について読字・書字ができるか。</p> <p>②言葉の単位(単語)が理解できるか。</p> <p>③文節の働き(主語と述語)が理解できるか。</p> <p>④対義の関係にある熟語を理解できるか。</p>	<p>●言語事項に関する基礎的な知識が身についているか。</p> <p>①既習の漢字について読字・書字ができるか。</p> <p>②慣用語の意味が理解できるか。</p> <p>③用言の活用が理解できるか。</p> <p>④熟語の構成が理解できるか。</p>
問三	<p>●毛筆における行書の書き方を理解しているか。</p> <p>①行書の特徴について理解できるか。</p> <p>②行書の筆遣いについて理解できるか。</p>	<p>●短歌の内容を理解し、的確に鑑賞することができるか。</p> <p>①表現上の特色(倒置法)が理解できるか。</p> <p>②内容理解と的確な鑑賞ができるか。</p>	<p>●俳句の内容を理解し、的確に鑑賞することができるか。</p> <p>①季語・季節を理解できるか。</p> <p>②表現上の特色(字余り)が理解できるか。</p> <p>③内容理解と的確な鑑賞ができるか。</p>
問四	<p>●詩の読解ができるか。</p> <p>①詩中の語句の使い方について理解できるか。</p> <p>②情景が読み取れるか。</p> <p>③表現上の特色が理解できるか。</p> <p>④主題が読み取れるか。</p>	<p>●文学的文章の読解ができるか。</p> <p>①登場人物を取り巻く状況を的確に把握できるか。</p> <p>②登場人物の心情を読み取ることができるか。</p> <p>③文章中での語句の使い方について理解できるか。</p> <p>④人物像を正しく把握できるか。</p> <p>⑤文章中での表現上の特色が理解できるか。</p>	<p>●文学的文章の読解ができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②登場人物を取り巻く状況を的確に把握できるか。</p> <p>③登場人物の心情を読み取ることができるか。</p> <p>④文章中での語句の使い方について理解できるか。</p> <p>⑤人物像を正しく把握できるか。</p>
問五	<p>●文学的文章の読解ができるか。</p> <p>①表現上の特色について理解できるか。</p> <p>②登場人物の心情を読み取ることができるか。</p> <p>③登場人物を取り巻く状況を的確に把握できるか。</p> <p>④人物像を正しく把握できるか。</p>	<p>●説明的文章の読解ができるか。</p> <p>①段落相互の関係が理解できるか。</p> <p>②内容の理解・把握ができるか。</p> <p>③文章と図・表との関係を読み取ることができるか。</p> <p>④様々な種類のテキストから必要な情報を集めることができるか。</p>	<p>●説明的文章の読解ができるか。</p> <p>①文章と図・表との関係を読み取るることができるか。</p> <p>②内容の理解・把握ができるか。</p> <p>③段落相互の関係が理解できるか。</p> <p>④要旨が把握できるか。</p>
問六	<p>●説明的文章の読解ができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②段落相互の関係が理解できるか。</p> <p>③要旨が把握できるか。</p>	<p>●古典の読解ができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②主語の把握ができるか。</p> <p>③歴史的仮名遣いを正しく理解しているか。</p> <p>④地の文と会話文を識別できるか。</p>	<p>●古典の読解ができるか。</p> <p>①主語の把握ができるか。</p> <p>②歴史的仮名遣いを正しく理解しているか。</p> <p>③文章中での語句の使い方について理解できるか。</p> <p>④地の文と会話文を識別できるか。</p> <p>⑤内容の理解・把握ができるか。</p>

3. 考察

中学校第1学年国語

No	問題番号		正答 (選択式→番号, 記述式→言葉)	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		話す・聞く能力	読む能力 言語についての知識・理解・技能			
1	1	ア	2	◎	◎	①聞き取り (スピーチ)	スピーチ発表の内容を的確に聞き取ることができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。 ②スピーチの工夫されたところを理解できるか。	88
2		イ	4	◎	◎			95
3		1	×	◎	◎			94
4		2	×	◎	◎			47
5		3	○	◎	◎			92
6		ウ	4(㊦)	◎	◎			52
7	2	1	く		◎	◎	言語事項に関する基礎的な知識が身に付いているか。 ①既習の漢字について読字・書字ができるか。 ②言葉の単位(文)が理解できるか。 ③漢字の辞書が理解できるか。 ④漢字の総画数が理解できるか。	80
8		2	じゅんかい		◎	◎		69
9		ア	ちようしゆう		◎	◎		64
10		4	なが(める)		◎	◎		93
11		5	ひび(く)		◎	◎		97
12	1	看板		◎	◎	48		
13	2	宇宙		◎	◎	71		
14	3	資源		◎	◎	59		
15	4	沿(つて)		◎	◎	61		
16	5	取(めた)		◎	◎	22		
17	ウ	5		◎	◎	57		
18	エ	1		◎	◎	77		
19	オ	4		◎	◎	84		
20	ア	4		◎	◎	◎	81	
21	イ	3		◎	◎	◎	51	
22	ア	2		◎	◎	◎	96	
23	イ	1		◎	◎	◎	55	
24	ウ	4		◎	◎	◎	89	
25	エ	2		◎	◎	◎	88	
26	オ	よろこぶ		◎	◎	◎	38	
27	カ	2		◎	◎	◎	74	
28	キ	3		◎	◎	◎	49	
29	ア	3		◎	◎	◎	88	
30	イ	4		◎	◎	◎	82	
31	ウ	2		◎	◎	◎	67	
32	エ	2		◎	◎	◎	84	
33	オ	1		◎	◎	◎	98	
34	カ	4		◎	◎	◎	80	
35	キ	1		◎	◎	◎	73	
36	ク	3		◎	◎	◎	28	
37	ア	9		◎	◎	◎	37	
38	イ	1		◎	◎	◎	79	
39	ウ	3		◎	◎	◎	82	
40	エ	2		◎	◎	◎	65	
41	オ	1		◎	◎	◎	70	
42	カ	3		◎	◎	◎	91	
43	キ	4		◎	◎	◎	75	
44	ク	1		◎	◎	◎	89	

◎…主たる観点

結果の一覧表

第1学年

大問	大問のねらい	小問	正答	小問のねらい	通過率	誤答率	無答率	主な誤答例および誤答への反応(%)														
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	他			
問一	スピーチ発表の内容を正しく聞き取る力をみる。	ア	2	展開の把握	88	12	0	8	※	7	※	イ(1)	エ(1)									
			4		95	5	0															
		イ	1	内容の理解	94	5	1	○(1)	3(3)	4(1)												
			2		47	52	1	○(48)	1(3)	2(1)												
			3		92	7	1	×(3)	1(1)	2(3)												
問二	漢字の読字力・書字力をみる。 語句や文法に関する知識をみる。	ア	4(つ)	読字 音読み	52	46	2	2	9	20	※	10	6(3)	○(1)	×(1)							
			1		くし	80	15	5	かし(6)	くっし(3)	ひらがな表記の誤り(6)											
			2		じゅんかい	69	22	9	さいかい(3)	めんかい(2)	しやかい(2)	めいかい(2)	ひらがな表記の誤り(13)									
			3		ちようしゆう	64	25	11	さしゆう(8)	さしゆ(3)	とくしゆう(2)	ししゆう(2)	ひらがな表記の誤り(10)									
			4		なが・める	93	5	2	ひらがな表記の誤り(5)													
問三	書字の知識をみる。	イ	3	看板	97	0	3															
			1		宇宙	48	32	20	○板(9)	覧板(2)	干板(2)	表記の誤り(19)										
			2		資源	71	25	4	○宙(3)	宙字(2)	表記の誤り(20)											
			3		沿・って	59	28	13	○源(3)	自源(3)	表記の誤り(22)											
			4		収・めた	61	19	20	浴(7)	表記の誤り(12)												
問四	詩の鑑賞力をみる。	ア	5	よろこぶ	22	67	11	納(23)	治(14)	修(11)	表記の誤り(19)											
			1		文の理解	57	43	0	0	23	6	6	※	6(3)	7(1)	19(1)	20(1)	62(1)	234(1)			
			2		部首の理解	77	22	1	※	5	13	4										
			3		筆遣いの理解	84	16	0	4	10	2	※										
			4		筆順の決まり	81	19	0	1	15	3	※										
問五	文学的文章の内容や人物の心情を読み取る力をみる。	ア	2	よろこぶ	96	4	0	1	※	0	3											
			1		内容の理解	55	44	1	※	23	18	3										
			2		表現上の特色	89	11	0	7	0	4	※										
			3		心情の理解	88	12	0	3	※	6	3										
			4		内容の理解	38	61	1	バタつく(31)	ばあばあ(8)	手を振る(6)	はしやぐ(4)など										
問六	説明的文章における内容の理解力をみる。	ア	2	よろこぶ	74	26	0	8	※	8	10											
			3		表現上の特色	49	51	0	8	7	※	36										
			3		心情の理解	88	12	0	2	6	※	3	23(1)									
			4		内容の理解	82	18	0	5	8	5	※										
			2		主題の読み取り	67	33	0	13	※	1	19										
問六	説明的文章における内容の理解力をみる。	ア	2	よろこぶ	84	16	0	7	※	7	2											
			1		内容の理解	98	2	0	※	0	1	1										
			4		人物像の把握	80	20	0	6	12	1	※	D(1)									
			1		表現上の特色	73	27	0	※	8	13	6										
			3		内容の理解	28	72	0	24	28	※	19	8(1)									
問六	説明的文章における内容の理解力をみる。	ア	9	よろこぶ	37	62	1	1	3	1	0	1	0	6	36	※	13	1				
			1		内容の理解	79	21	0	※	11	6	4										
			3		語句の使い方	82	18	0	4	7	※	7										
			2		内容の理解	65	35	0	8	※	5	22										
			1		内容の理解	70	30	0	※	12	2	16										
問六	説明的文章における内容の理解力をみる。	ア	3	よろこぶ	91	9	0	4	2	※	3											
			4		段落相互の関係	75	25	0	13	6	6	※										
			1		要旨の把握	89	11	0	※	8	2	1										

第1学年

(1) 聞き取り (問一)

「私の宝物」というテーマでおこなった「藤沢メダカ」についてのスピーチという設定で、スピーチ発表の内容を的確に聞き取ることができるかを問う問題である。内容の理解・把握については全般的に高い通過率であった。問題ウの具体例の数を問う問題での誤答が比較的多く見られた。聞き取った内容を的確にメモする習慣も身につけさせたい。

日常生活の中でも日頃から他者との対話を大切にし、授業だけでなくさまざまな場面での実践的な話し方の工夫を心掛けるよう指導していきたい。

(平均通過率 78.0%)

(2) 言語事項 (問二)

ア 漢字の読み

比較的高い通過率であった。特に「眺める」「響く」などの訓読み漢字の通過率が高かった。誤答の中には、漢字のイメージから予想したのか、二文字の熟語のうち一文字を誤ったものが例年同様多くあった。身近な文章にたくさん触れることで日常の中でも多くのことばを身につけさせるようにしたい。

(平均通過率 80.6%)

イ 漢字の書き

日常生活でよく目にするであろう語句を多く出題したが、読み方が同じ漢字による表記の誤りが多くあった。なかでも、「収めた」についての通過率が22%と低いが、「納・治・修」などと、同訓異字の使い分けがうまくできていない例が目立った。漢字の意味を正しく理解し、文脈にふさわしい漢字を選択できる力を身につけさせたい。

また、コンピュータ等の普及により、実際に漢字を自分で書く機会が減っている現状のある今だからこそ、正しい漢字を正しい字形で書くことを、反復することで身につけさせる必要もある。

(平均通過率 52.2%)

ウ～オ 語句や文法に関する知識

「言葉の単位」としての文の理解、漢字の部首や総画数についての問題を出題した。漢字の部首や総画数についての通過率は比較的高かったものの、「言葉の単位」では、段落や文節の数と混同してしまったであろう誤答が多くあった。

今後広く言語事項を学ぶ出発点として、国語辞典や漢和辞典を活用し、わからない語句や疑問点があったら積極的に調べてみるなど、言語に対する関心を高めさせたい。

(平均通過率 72.7%)

(3) 書写 (問三)

毛筆における行書の書き方について出題した。行書の特徴の一例として「さんずい」の筆遣いを選択する問いの通過率に比べ、行書の筆遣いについて説明した問題の通過率が低かった。書写の授業では、楷書と行書それぞれの特徴を比較しながら指導することで、場面に応じた書体の使い分けをするとともに、正しい字形についても再度確認していきたい。

(平均通過率 66.0%)

(4) 詩 (問四)

詩に描かれている情景を正しく読み取り、詩中の語句の使い方や表現上の特色を理解し、主題を正しく読み取れるかというねらいで出題した。心情の理解についての通過率は高かったが、主題についての通過率が低かった。また、詩の中のことばを別のことばで置きかえる問いでは、「ひらがな四文字」という条件を見逃してしまった誤答が目立った。

授業の中でも、教科書掲載の作品以外の詩にも触れさせることで感性を豊かにし、内容をしっかりと読み取ることのできる力を身につけさせたい。

(平均通過率 69.9%)

(5) 文学的文章 (問五)

身近に起こりそうな内容で、親しみやすい文章であることを考慮して作品を選定した。登場人物を取り巻く状況を的確に把握し、読み取る問題の通過率が比較的高かった。また、読者が作品についての感想を話し合うという設定での人物像の把握もよくできていた。一方、表現上の特色についての問題の通過率が28%と低かったため、授業以外でも様々な作品に触れることで、読書に親しむ心を身につけさせたい。

(平均通過率 75.0%)

(6) 説明的文章 (問六)

日本人が忘れかけている水のありがたさについて、昨今話題になっている環境問題を絡めた内容であることを考慮して作品を選定した。小問アの適切な箇所に一文を挿入する設問での通過率が比較的低かったが、それ以外の設問では通過率が示すように、おおむね理解ができたと考えられる。引き続き、段落相互の関係や文の役割、文章の要旨をとらえ、しっかりと読み取れるよう指導したい。

日頃から新聞のコラム欄や社説などの身近な文章に触れるなど、様々な文章を読む機会を持たせたい。

(平均通過率 73.5%)

《出典》

- ・聞き取り …………… 作問委員による書き下ろし
- ・書 写 …………… 作問委員による書き下ろし
- ・詩 …………… 北川冬彦詩集『花電車』 北川冬彦
- ・文学的文章 …………… 『晴れた日は図書館へ行こう』 緑川聖司
- ・説明的文章 …………… 『「もったいない」の復活』 坂田龍一

中学校第2学年国語

No	問題番号		正答 (選択式→番号, 記述式→言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		話す・聞く 能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能			
1	ア	1	2				①聞き取り(インタビュアー) ②漢字の読み ③漢字の書き ④言葉に関する知識	インタビュアーの内容を的確に聞き取ることができるか。 ①話題や方向をとらえて聞くことができるか。 ②内容の理解・把握ができるか。 ③インタビュアーするときの工夫を理解できるか。	79
2		2	x						25
3	イ	2	○						92
4		3	○						69
5	ウ	5	8(年)						21
6		1	しもん			◎	35		
7		2	ししつ			◎	34		
8	ア	3	うずしお			◎	34		
9		4	すた(れる)			◎	48		
10		5	うけたまわ(る)			◎	37		
11		1	炊飯			◎	30		
12		2	微妙			◎	38		
13	イ	3	記憶			◎	64		
14		4	崩(れる)			◎	64		
15		5	拝(む)			◎	75		
16	ウ	9				◎	49		
17	エ	4				◎	35		
18	オ	1				◎	55		
19	ア	5				◎	55		
20	イ	8				◎	74		
21		A				◎	64		
22		B				◎	78		
23	ウ	3				◎	52		
24		C				◎	85		
25		D				◎	79		
26	ア	4				◎	85		
27	イ	4				◎	79		
28	ウ	3				◎	89		
29	エ	2				◎	75		
30	オ	3				◎	85		
31	カ	1				◎	79		
32	キ	3				◎	87		
33	ク	4				◎	60		
34	ア	3				◎	54		
35	イ	2				◎	68		
36	ウ	4				◎	54		
37	エ	3				◎	68		
38	オ	1				◎	54		
39	カ	4				◎	45		
40	キ	1				◎	66		
41	ク	2				◎	84		
42	ア	(問へば→)とえば				◎	60		
43	イ	3				◎	74		
44	ウ	まあ持				◎	48		
45	エ	1				◎			
	オ	4				◎			

◎…主たる観点

大問	大問のねらい	小問	正答	小問のねらい	通過率	誤答率	無答率	主な誤答例および誤答への反応(%)													
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	他				
問一	正しく聞き取る力をみる。	ア	2	内容の理解	79	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			×	〃	76	24	0														
			○	〃	84	16	0														
		イ	○	〃	85	15	0														
			○	〃	69	31	0														
問二	漢字の読字力、書字力をみる。 語句や文法に関する知識をみる。	ア	8(年)	内容の把握	69	31	0	6年(1)	10年(30)												
			しもん	読字 音読み	25	55	20	じもん(21)	ほうもん(14)	とうもん(13)	しょもん(7)										
			ししつ	〃	92	4	4	ぼうしつ(3)	じしつ(1)												
			うずしお	〃 訓読み	69	19	12	かちよう(17)	かしお(2)												
			すた・れる	〃 訓読み	21	56	23	おくれる(28)	つぶれる(20)	やぶれる(8)											
		イ	うけたまわ・る	〃	35	47	18	まいる(38)	ことわる(5)	うける(2)	ひらがな表記の誤り(2)										
			炊飯	書字 音読み	34	36	30	水飯(12)	炊飯(6)	灯飯(5)	○飯(3)	表記の誤り(10)									
			微妙	〃	34	29	37	微妙(17)	微明(7)	○妙(1)	微○(1)	微○(1)	表記の誤り(2)								
			記憶	〃	48	33	19	気憶(15)	気億(10)	表記の誤り(8)											
			崩・れる	〃 訓読み	37	22	41	壊(7)	破(6)	表記の誤り(9)											
問三	短歌の鑑賞力をみる。	ウ	9	文法 単語	38	62	0				15	12		35		※					
			4	〃 主述の関係	64	36	0	8	20	8	※										
			1	〃 対義語	75	25	0	※	15	9	1										
			5	表現技法	49	51	0		2	1	2	※	10	11	25						
			8	季節感の理解	35	65	0						41	15	9	※					
		ウ	A	内容の理解	55	45	0		0	12	3	3	2	※	25						
			B	〃	55	45	0		0	※	0	6	6	21	12						
			C	〃	74	26	0		0	6	※	20	0	0	0						
			D	〃	64	36	0		10	1	0	2	※	0	23						
			ア	文脈の把握	78	22	0		7	10	5	※									
問四	小説の内容や人物の心情を読み取る力をみる。	ア	4	文脈の把握	52	48	0	28	0	20	※										
			イ	心情の理解	85	15	0	0	6	※	9										
			ウ	〃	79	21	0	3	※	11	7										
			エ	内容の理解	89	11	0	0	6	※	5										
			オ	〃	75	25	0	※	18	0	7										
		ウ	カ	人物像の把握	85	15	0	0	1	※	14										
			キ	表現上の特徴	79	21	0	9	※	12	0										
			ク	文脈の把握	87	13	0	4	5	※	4										
			ア	〃	60	40	0	10	※	12	18										
			イ	内容の理解	54	46	0	39	2	5	※										
問五	説明的文章における内容の理解力をみる。	ウ	3	〃	68	32	0	11	18	※	3										
			オ	〃 (図の理解)	54	46	0	※	40	3	3										
			カ	〃	68	32	0	15	16	1	※										
			キ	段落相互関係の把握	54	46	0	※	9	7	30										
			ク	内容の理解	45	55	0	25	※	21	9										
		ア	とえば	歴史的仮名遣いの理解	66	34	0	問うと(12)	問えば(10)	聞けば(7)	とへば(2)	など									
			3	内容の把握	84	16	0	12	0	※	4										
			まあ持	内容の理解	60	36	4	なげえ(18)	面倒な(8)	五五五(4)	など										
			1	内容の把握	74	26	0	※	6	0	20										
			4	〃	48	52	0	12	31	9	※										

第2学年

(1) 聞き取り (問一)

総合的な学習の時間で実施されている「職場訪問」を想定し、中学生が訪問先でインタビューをするという場面を設定した。多くの生徒が全体の内容を把握することができた。今後は言語表現活動の中で、話の構成や展開に注意を向け、聞き取ったことから自分の考えを述べるなどの指導にもつなげていきたい。

(平均通過率 78.6%)

(2) 言語事項 (問二)

ア 漢字の読み

漢字の読みは、全体的に見ると低い通過率であった。日常生活の中で使用される語句であっても、漢字で表記されてしまうと読むことが困難になっている。ただ読めるようにするだけでなく、日常の言語活動の中で、意味や用法とあわせて習得できる機会をつくりたい。

(平均通過率 48.4%)

イ 漢字の書き

漢字の書きは、全体的に低い通過率であった。正答となる漢字をイメージすることはできたものの、部首やつくりの部分で誤る例が目立った。また、無答率が高いことも気にかかる。日常生活の中で使用頻度の高い漢字であっても、実際に活用できていないことが予想されるため、他教科の学習や課題レポートなど、日常生活の中でも漢字を意識して書かせることがより重要となってくる。

(平均通過率 36.6%)

ウ～オ 語句や文法に関する知識

小問ウは単語に関する設問であったが、「8」と誤答しているものが目立った。用言の活用形にまで注意を払うためにも、言葉のきまりを系統的にとらえ理解する必要がある。また、小問エの主語と述語の組み合わせを問う問題では、各選択肢にそれぞれ分散された。これらのことから、文法に関しての知識・理解を深めることが課題として挙げられると思われる。文法の継続した学習の機会をつくることを心掛けたい。

(平均通過率 59.0%)

(3) 短歌 (問三)

小問イのような季節を問うものの誤答からみると、動植物に対する季節感が薄れてきていることが考えられる。実感を持って情景を思い描くことが困難であることから、小問ウのように内容を問われた場合に対応できないのではないだろうか。日常生活の中で四季折々のものを見聞きし、触れる機会を持てるようにしていきたい。

(平均通過率 55.3%)

(4) 文学的文章 (問四)

主人公が友人との間にあるわだかまりを会話を重ねる中で少しずつ解きほぐしていく過程を読み、二人の様子や心情を中心に問うよう心掛けた。文章から二人の関係性や表現上の特色などを読み取るところで誤答が目立った。人物の言動の意味については概ね読み取れていたと思われる。今後は、人物の行動や感情だけではなく、作品全体をとらえて文章を読み味わい、客観的に論じられるような場면을学習の中で設定したい。

(平均通過率 77.8%)

(5) 説明的文章 (問五)

シジュウカラの研究結果から最適化の理論を説明した文章である。文章と図表とを読み合わせて理解する力を問うた。しかし、小問オのように図から言えることを正確に読み取る場面での通過率が比較的低かった。数値や固有名詞にとらわれずに、文章も図表も正確に読み解く力を養うよう、図表に慣れ、文章と読み合わせる機会を多く取り入れた学習を目指したい。

(平均通過率 61.3%)

(6) 古典 (問六)

小問アの現代仮名遣いに関しては高い通過率であった。それに対し、小問オの通過率が低かった。文章の文字を追うことができているが、内容を読み取るところまでに至っていない。古典を指導する際に、古典に対する興味や関心を大切にしながら、古文における主語の把握や会話文の識別などに触れ、内容を読み味わう学習の機会をつくりたい。

(平均通過率 66.4%)

《出典》

- ・聞き取り …………… 作問委員による書き下ろし
- ・短歌 …………… 諸家作品
- ・文学的文章 …………… 『その角を曲がれば』 濱野京子
- ・説明的文章 …………… 『進化とはなんだろうか』 長谷川真理子
- ・古典 …………… 『聞上手』 小松屋百亀

中学校第3学年国語

No	問題番号		正答 (選択式→番号、記述式→言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		話す・聞く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能			
1		1	x	◎			話し合いの内容を的確に聞き取ることができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。 ②話題や話し合いの工夫をとりえて聞くことができるか。 ③話題とグラフの関係をとらえて聞くことができるか。	97	
2		2	o	◎				99	
3	1	3	o	◎				93	
4		1	3	◎				75	
5		ウ	2	◎				92	
6		1	ちぎよ		◎			74	
7		2	ばいけい		◎			77	
8		3	ぜんじ		◎			20	
9		4	なま(ける)		◎			70	
10		5	どうけ		◎			86	
11		1	均衡		◎		言語事項に関する基礎的な知識が身に付いているか。 ①既習の漢字について読字・書字ができるか。 ②慣用句の意味が理解できるか。 ③用言の活用が理解できるか。 ④熟語の構成が理解できるか。	19	
12	2	2	水槽		◎			12	
13		3	疲労		◎			48	
14		4	搾(る)		◎			15	
15		5	塗(る)		◎			38	
16		1	1		◎			97	
17		3	3		◎			47	
18		2	2		◎			69	
19		ア	4		◎			50	
20		1	3		◎		俳句の内容を理解し、的確に鑑賞することができるか。 ①季語・季節を理解できるか。 ②表頭上の特色(字余り)が理解できるか。 ③内容理解と的確な鑑賞ができるか。	30	
21	3	A	7		◎			79	
22		B	5		◎			83	
23		C	3		◎			68	
24		D	6		◎			55	
25		ア	1		◎			56	
26		イ	3		◎			81	
27		ウ	ミキチ(～)の会話		◎		文学的文章の読解ができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。 ②登場人物を取り巻く状況を的確に把握できるか。 ③登場人物の心情を読み取ることができるか。 ④文章中の語句の使い方について理解できるか。 ⑤人物像を正しく把握できるか。	31	
28	4	エ	2		◎			50	
29		オ	4		◎			48	
30		カ	1		◎			84	
31		キ	教本は(～)あった		◎			37	
32		ク	4		◎			61	
33		ア	2		◎			54	
34		イ	4		◎			74	
35		ウ	4		◎			61	
36	5	エ	1		◎		説明的文章の読解ができるか。 ①文章と図・表との関係を読み取ることができるか。 ②内容の理解・把握ができるか。 ③段落相互の関係が理解できるか。 ④要旨が把握できるか。	54	
37		オ	3		◎			78	
38		カ	B		◎			64	
39		キ	2		◎			58	
40		ア	4		◎		古典の読解ができるか。 ①主語の把握ができるか。 ②歴史的仮名遣いを正しく理解しているか。 ③文章中での語句の使い方について理解できるか。 ④地の文と会話文を識別できるか。 ⑤内容の理解・把握ができるか。	63	
41	6	イ	(かうは泣かせ→)こうはなかせ		◎			39	
42		ウ	1		◎			77	
43		エ	桜の散ら(～)わびしき		◎			25	
44		オ	3		◎			38	

◎…主たる観点

結果の一覧表 第3学年

大問	大問のねらい	小問	正答	小問のねらい	通過率	誤答率	無答率	主な誤答例および誤答への反応(%)											
								1	2	3	4	5	6	7	8	他			
問一	話し合い活動の内容を正しく聞き取る力を見る。	1	×	内容の理解	97	3	0												
		2	○	〃	99	1	0												
		3	○	〃	93	7	0												
		イ	3		話し合いの工夫の理解	75	25	0											
		ウ	2		グラフと話の内容との関係	92	7	1											
問二	漢字の読字力・書字力を見る。 語句や文法に関する知識をみる。	1	ちぎよ	読字 音読み	74	14	12												
		2	ばいたい	〃	77	11	12												
		3	ぜんじ	〃	20	53	27												
		4	なま・ける	〃 訓読み	70	15	15												
		5	とうげ	〃	86	7	7												
		1	均衛	書字 音読み	19	45	36												
		2	水槽	〃	12	47	41												
		3	疲勞	〃	48	27	31												
		4	搾・る	〃 訓読み	15	23	62												
		5	塗・る	〃	38	20	42												
問三	俳句の鑑賞力を見る。	ウ	1	慣用句の理解	97	3	0												
		エ	3	形容動詞の理解	47	53	0												
		オ	2	熟語の構成	69	31	0												
		ア	4	表現技法の特色	50	50	0												
		イ	3	季節感の理解	30	70	0												
		A	7	内容の理解	79	20	1												
		B	5	〃	83	16	1												
		C	3	〃	68	31	1												
		D	6	〃	55	44	1												
		ア	1	内容の理解	56	44	0												
問四	文学的文章の内容や人物の心情を読み取る力を見る。	イ	3	心情の理解	81	18	1												
		ウ	ミキちへの会話	内容の理解	31	43	26												
		エ	2	心情の理解	50	50	0												
		オ	4	〃	48	51	1												
		カ	1	〃	84	15	1												
		キ	教本は～あった	内容の理解	37	35	28												
		ク	4	人物像の把握	61	38	1												
		ア	2	文章と資料の関係	54	44	2												
		イ	4	内容の理解	74	23	3												
		ウ	4	〃	61	37	2												
問五	説明的文章における内容の理解力を見る。	エ	1	〃	54	43	3												
		オ	3	段落の働き	78	19	3												
		カ	B	文章と資料の関係	64	32	4												
		キ	2	内容の把握	58	38	4												
		ア	4	内容の理解	63	33	4												
		イ	こうはなかせ	歴史的仮名遣いの理解	39	37	24												
		ウ	1	内容の理解	77	20	3												
		エ	桜の散ら～わびしき	会話文の識別	25	43	32												
		オ	3	内容の把握	38	57	5												
		問六	古典における内容の理解力を見る。	ア	こうはなかせ	歴史的仮名遣いの理解	39	37	24										
ウ	1			内容の理解	77	20	3												
エ	桜の散ら～わびしき			会話文の識別	25	43	32												
オ	3			内容の把握	38	57	5												
ア	こうはなかせ			歴史的仮名遣いの理解	39	37	24												
イ	こうはなかせ			歴史的仮名遣いの理解	39	37	24												
ウ	1			内容の理解	77	20	3												
エ	桜の散ら～わびしき			会話文の識別	25	43	32												
オ	3			内容の把握	38	57	5												
ア	こうはなかせ			歴史的仮名遣いの理解	39	37	24												

第3学年

(1) 聞き取り (問一)

今年度も、話し合いの内容を的確に聞き取ることができるかの問いであった。『科学の進歩』について3人が話し合う中、それぞれの役割や意見、話し合いの工夫をとらえられるか、また、昨年同様、話題とグラフの関係をとらえて聞く問いを取り入れた。全体的に高い通過率となり、内容がよくとらえられていた。

(平均通過率 91.2%)

(2) 言語事項 (問二)

ア 漢字の読み

3の「漸次(ぜんじ)」は、正答率20%に対して、誤答である「ざんじ(暫時)」が36%、無答が27%と顕著な結果となった。「漸次」と「暫時」は、読みとともに、意味・用法も機会をとらえて一度はきちんと指導をしたい。他は70%を超える通過率であった。ただ、無答がそれぞれ10%前後あり、問題文の文脈から類推する力や語彙力を高める工夫が必要である。

(平均通過率 65.4%)

イ 漢字の書き

各小問とも通過率が50%に届かず、1の「均衡」、2の「水槽」、4の「搾」については10%台にとどまった。誤答は多岐に渡り、無答率も全て30%以上であった。日常的に使うことばをまず定着させたいという思いはあるが、「日常的」の線引きは指導者によって差異が生じる。3の「疲労」の通過率が48%で無答率が31%であることをみても、既習の漢字をまんべんなく使って書く機会を増やし、習慣づけていく必要があると思われる。

(平均通過率 26.4%)

ウ～オ 語句や文法に関する知識

小問ウの慣用句の意味は、通過率97%と高い。ただ、小問オの熟語の構成になると、69%の通過率ではあるが、誤答も分散する。「構成・成り立ち」と問われて、「読書」＝「書を読む」という思考に結びつかなかったようである。また、小問エの用言(形容動詞)の活用については、誤答である2「学校に」に20%、4「楽しかつ」に22%と散らばった。「きれいな」は「きれいだ」という形容動詞が活用したものと理解できていないのだろう。文法は、1年からの積み上げを大切にし、繰り返し指導することを心掛けたい。

(平均通過率 71.0%)

(3) 俳句 (問三)

今年度も共通のテーマを絞らず、広く題材を集めた。小問アでは、表現上の特色(字余り)を問うたが、通過率50%にとどまった。俳句の基本である「五・七・五」という定型のリズムを定着させたい。また、小問イの季語・季節の理解だが、2の「小春日和」＝「冬」という知識がなかったためか、4の「春暁」があったにもかかわらず通過率30%より誤答「1」が57%と上回ってしまった。教科書に掲載されている俳句以外にも、便覧などを用いてさまざまな季語に触れる指導をしたい。内容理解と鑑賞については、俳句・鑑賞文ともに丁寧に読んだようで、通過率はいずれも高かった。

(平均通過率 60.8%)

(4) 文学的文章 (問四)

登場人物の心情や周囲の状況が丁寧に描かれたものであった。心情を読み取る小問イや小問カは、通過率が80%を超えたが、小問ア、エ、オ、クは、誤答率が21%~39%とやや高い。文章全体を読んだ上で、設問の選択肢を丁寧に読み比べる習慣をつけさせたい。また、条件にそって書き抜く小問ウと小問キは、それぞれ通過率が30%台にとどまり、無答は20%台と高い。「何が、どう問われているのか」を正確に理解する習慣をつけさせたい。

(平均通過率 56.0%)

(5) 説明的文章 (問五)

PISA型読解力を意識しつつも、出典は長く読み継がれている文章から取り、その中に独自の資料(表)を挿入して出題を試みた。全体として50%を割ることのない通過率となった。特に、段落相互の関係を問う小問オでは、78%と通過率が高い方である。ただ、誤答の分布を見ると、各選択肢に分散した傾向が見受けられる。小問アの資料に適切なことばを当てはめるものや、小問エの文中の空欄に適切なことばを当てはめるものは、それぞれ誤答「3」に31%と23%が集中する結果となった。文章全体を丁寧に読み、内容を正確に把握する習慣をつけさせたい。

(平均通過率 63.3%)

(6) 古典 (問六)

古典作品とはいえ、登場人物の価値観は現代に通じるものであった。ただ、その内容理解を問う小問オでは通過率38%で、反対の内容を記した誤答「2」に32%が集中した。注(※)を駆使して内容理解を正確に行っていく習慣をつけさせたい。また、小問イの歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題では、今年度は意味を答えている誤答はほとんどない。しかし、例年通り、答え方の理解が不十分と見受けられる。通過率は39%にとどまり、誤答は多岐に渡り、無答も24%に達する。同じように、小問エの会話文の識別も、通過率25%と低く、誤答は多岐に渡り、無答は通過率を超える32%であった。2年生で古典を学習してから間が空くとはいえ、文法や漢字と同様、積み重ねと反復指導を行っていきたい領域である。

(平均通過率 48.4%)

《出典》

- ・聞き取り …………… 作問委員による書き下ろし
- ・俳句 …………… 諸家作品
- ・文学的文章 …………… 『うさぎとトランペット』 中沢けい
- ・説明的文章 …………… 『法隆寺を支えた木』 西岡常一・小原二郎
- ・古典 …………… 『宇治拾遺物語』

4. まとめ

聞き取りについては、昨年度と同じくらいの放送時間となるように作問にあたった。また、3学年の出題は、単に聞き取るだけではなく、話し合いの際に提示した資料(グラフ)を選ぶという設問も用意し、話し合いの内容をより正確にとらえる出題となった。聞き取りの時間に関しては各学年特に問題はなかった。

各学年ともに高い通過率を示していることから、正しく情報を聞き取ることやよりよい伝え方(話し方)についての理解は定着していると判断ができる。

漢字の読み書きの問題については、既習の漢字からの出題としながらも、書字においては、なるべく日常生活の中で用いる漢字という点を意識して出題した。

総じて各学年とも書字の通過率が低く、「読める」が「書けない」という傾向が顕著に表れる結果となった。携帯電話・パソコンの普及により「書く」機会が減ってきていることを踏まえ、授業や日常生活の中で、既習漢字を使って文章を書く機会を意識して一層増やしていくことが必要になってくると思われる。

語句に関する知識については、各学年ともに概ね満足できる結果であった。1学年で言葉の単位(文)・部首・画数、2学年で言葉の単位(単語)・文節の働き(主語・述語)・対義語、3学年で慣用句・用言の活用・熟語の構成に関する出題であった。アンケートの中には、2年で学習する内容を3年で出題しているのではないかという意見(アンケートのまとめ【問題の妥当性】第3学年を参照)もあったが、履修済みという判断で出題した。来年度は、出題の範囲に「履修済みの範囲も含む」と明記する方向で検討できればと考えている。

書写は第1学年のみの出題で、行書の筆遣いの出題であった。「さんずい」の筆遣いについての問題は、予想よりもかなり通過率が高かった。今後も書写の時間の中で行書と楷書との筆遣い・筆順の違いをしっかりと丁寧に指導し、定着させていきたい。

詩歌に関する問題は、詩、短歌、俳句をそれぞれ1学年・2学年・3学年の問題の素材とする形は従来どおりである。1学年では、オ「内容の読み取り」・キ「主題の読み取り」での通過率が低かった。指導に当たっては、詩中での言葉(表現)の意味を的確に理解したり、作者の思いや心情に迫る授業の展開が今後の課題と言えよう。昨年度と同様に、2学年においては、表現技法や短歌を鑑賞する力に、3学年においては表現技法や季節感(季語)をとらえる力にそれぞれ課題が見られた。詩、短歌、俳句に対して、各学年の単元としての学習だけでなく、学年を問わず日常生活の中でそれぞれのジャンルに触れる機会を増やすことが必要なのではないだろうか。

文学的文章(小説)では、1・2学年では概ね満足できる通過率であった。しかし、1学年のク「表現上の特色」を問う問題では通過率が極端に低い。ストーリーを追うことはできても、細かな描写や表現上の工夫にまで読みが深まっていないことがわかる。また、3学年では1・2学年に比べやや通過率が低い結果となった。特にウ・キのような「本文から書き抜く」という設問についての誤答・無答が目立った。本文をよく読み、正答を自分で探し出すという作業を苦手とする、又はあきらめてしまうという生徒の実態がかいま見える。最後まであきらめることなく問題に取り組む根気強さ、ねばり強さを育てる指導を心がけたいものである。

説明的文章では、2・3学年素材に資料や図表を取り入れた。1学年ではあえて資料や図表は使わずに文章をしっかりと読み込んで解答するよう作問をした。1学年では全体とし

での通過率は高かったが、ア「内容の理解(文挿入)」の通過率が他の設問に比べて極端に低い。前後の文章を参考にし、推測して組み直し、全体として正しくとらえるという文章理解力を強化していく指導の必要性が表れている。段落相互の関係を問う問題では1学年75%・2学年54%・3学年78%の通過率となっている。各学年とも取り上げた題材の文章が比較的素直な組み立てであった事もあるが、これは例年より高い通過率で文章全体の構成をとらえながら読むことができていたと言える。今後も中心的内容をしっかりと読み込み込んでいく力を定着させていきたい。

古典(古文)は、2・3学年ともに、話のおもしろみ・内容理解について問う問題での通過率が低かった。歴史的仮名遣いや会話文の識別などの基礎的な知識やテクニク的な部分ではなく、全体の文章の意味をとらえ、登場人物のやりとりをつかむような力をつけさせたいと考える。

5. 「川崎市立中学校学習診断テストアンケート」のまとめ(抜粋)

「川崎市立中学校学習診断テストアンケート」へのご協力ありがとうございました。各校から寄せられたご意見を項目ごとにまとめました。特に△印で示したご意見につきましては、検討を要するものとして、来年度の作問の際に参考にさせていただきたいと考えております。

(1) 全般事項について

- 全体を通してバランスの良い問題であった。大きな変更がなかったことも生徒に安心感を与えた。
- PISA型で問われている読解力をみるような問題が増え作問者の工夫が窺えた。
- 聞き取りでは、日常生活の中で他者との対話を大切にしているか、また、身近なところで使用されている漢字が多く出題されているので、日頃からの意識付けをさせる指導を繰り返していく必要性を再確認することのできる工夫された作問だと思った。
- 1年生の問題がやや平易だったようにも感じるが、全体的によくできていると思った。特に題材選びがよいと感じた。

(2) 問題と時間との関係について

- 出題傾向及び設問数ともに、例年どおりで問題量に対する時間も適当であった。
- 説明的文章でも見開き2ページ分(3年生)であったので、適当な問題量であったと思う。

(3) 問題の妥当性について

【第1学年】

- 問三、毛筆(行書)の出題により、点画・筆順などに注意し、正しく整った文字を書く指導をより心掛けていきたい。
- △問二のエ、部首を知っていなければ答えられない生徒もいると思う。何を聞く(どんな力を試す)問題かをはっきりさせた方がいいと思う。
- △問六、問題が易しすぎると思う。(文章の構成を問う問題や、抜き出す問題を入れてはどうか。)
- △問四のオ、「バタつく」では文がねじれてしまうので答えにはならないが、その引っかけであれば問題としては少し難しいのではないか。
- △問四のオ、「よろこぶ」が正答だが、「大よろこび」という記述があり、その「よろこび」を誤答とするには動詞の概念が必要であり、未履修の1年生で誤答とするのはいかなものだろうか。

【第2学年】

- △問一のイとウ、共にインタビューの内容を問うものであり、発問の仕方を変えただけである。「出題のねらい」(2年①)から考えるとインタビューの方向性を問うのもよいのではないか。
- △問二、1年の範囲(~P 51まで)の中から、5問中2問の書き問題はどうか。

【第3学年】

- 問一、聞き取り問題について、資料を読み取らせようとする内容や意図がよかった。
- 問一、グラフとの関連の問題はPISA型を意識した問題でよかったと思う。
- 問五、文章と表を対比させる問題は今後もあってよいと思う。
- 問六、古典は文章が易しく読み取りもしやすいので良い箇所を問題にできたと感じる。ただし、内容を問う問題をもっと増やした方がいいと思う。
- △問二、読み書きの難易度に考慮すべき(正答率の予想)と思う。
- △問二のア、3「漸次」について現在あまり使われていないような表現の中から出題しない方がよいと思う。
- △問二のア、5「とうげ」できれば国字は出題を避けていただきたい。(外国籍の生徒が多いため)
- △問二のイ、4「しぼる」を漢字で書かせるのは妥当だろうか。
- △問二のエ、形容動詞は2年生で学習することではないのか。
- △問二のエ、「大きな」など本当に見分けが必要な語を選択肢の中に入れるべきではないか。
- △問二のオ、熟語の組み立てについて湯桶読み、重箱読みは2年生で学習する範囲ではないか。(出題範囲を)「漢字」だけでなく、全て過年度も含むとあれば理解できる。
- △問三のア、「リズムの特徴」という表現で「字余り」をイメージさせるのは難しいように思った。古典問題の難易度が低いと思う。
- △問四のオ、選択肢4の表現があいまいである。
- △問五のア、「チャンチン」(②)「香椿」を選択肢で選ばせる意味があるのか。
- △問六、文章中の※8現代語で「情けないことであるよ」と書くと、ここでの意味(趣深くない)よりも、そのまま「情けない」と取れてしまうのではないだろうか。
- △問六、古典の難易度が高すぎると感じた。

【全体】

- よく練られた問題で傾向も形式についても妥当であった。
- △各事項について網羅されていたが、品詞や文節などの「文法の窓」「ことばの発見」の項目を長文読解の中に組み入れて出題する方法も考えられると思う。
- △漢字(特に書字)は生活に密着した漢字の出題であって欲しい。(例年通りでいけばであるが)
- △2・3年の古文で現代仮名遣いに直す問題について
 - ①漢字が絡む部分をあえて取り出し、ひらがなで書かせる意味があるのだろうか。
 - ②特に3年では助詞の「は」がからむ部分を取り出しているため仮名遣いの理解よりも、内容を理解する必要がある。

(4) 配点の妥当性について

- 2点配点の問題で得点を上げていく生徒が多くいたが、解答欄の位置もよく、内容としても妥当だと思う。
- 難易度に合わせた配点となっており、全て妥当であった。

(5) その他

- 3年生の説明的文章では、「法隆寺を支えた木」が出題されていたが、保護者の世代でも国語の授業で学んでいる方が多くいらっしゃるはずであり、現在、奈良時代が注目されている時期でもあるので、話題性のある内容を取り上げている点がよかった。
- 3年間四(文学的文章)は、今年度も出題された箇所が続き読みたくなるような作品が使われており、作問者のご苦勞が窺われる。
- 各学年ともおもしろい題材でよかったと思う。
- △2年短歌・3年俳句では、まぎらわしくないように、問三のイのような問題の選択肢は、**1**~**4**と**ア**~**エ**のように別にしてもよいのではないか。
- △2年短歌 問三のウ鑑賞は**2**からではなく、**1**~**8**にすべきではないか。
- △古典の歴史的仮名遣いの問いは、全てひらがなにしないではいけないのだろうか。つまり、短歌や古典の所に見られる問題のパターンは、形式となっている分、受験テクニックの指導につながってしまうのではないか。それは、本質的な国語力とは言えないと思う。
- △ひらがなの採点は学校によって差が出るように思う。ある程度の採点基準を示して欲しい。
- △1・2年の問二のウについて、算用数字か漢字かを明記してほしい。もしくは、どちらでもいいのかわかるように示してほしい。

6. 来年度にむけて

今年度の結果から、今後の指導の中で育成していくべき力として、次のような課題が挙げられる。

- じっくり文章を読み解く習慣を確立すること。(1学年)
- 限られた時間の中でより深く、より正確に、よりスピーディーに文章を読み解く力を向上させること。(2・3学年)
- 資料や図表の意味や内容を、文章・作品との関係の中でより確実にとらえること。
- 文学作品(小説や詩歌)を、表現上の特徴を意識し、状況や場面を登場人物の気持ちや作者の立場に立った読み方を身につけること。
- 漢字のもつ意味や読みを確実に身につけ、文脈に沿って読んだり書いたりすること。特に書字についてはより多くの漢字を習得できるようにすること。

今後は、これらの力をみることのできる問題を引き続き出題の傾向として考えていくことが必要となろう。

また、今年度の作問過程で生じた疑問や各校から提出されたアンケートから、次のような課題も挙げておく。

- 漢字の読み・書き問題における難易度、また書字の出題範囲について。
- 前学年での既習事項の出題について。
- 文法問題のあり方、学年ごとの出題傾向について。
- 漢字の採点基準・許容、ひらがなの記述について。
- 2社の教科書採択に起因する出題調整の困難さについて。

新学習指導要領の実施が目前に迫ってきている今、来年度以降はその内容も意識した出題も取り入れていくことも検討課題となってくるはずである。

川崎市立中学校学習診断テストの新しい流れを期待する。

平成 21 年度

川崎市立中学校
学習診断テスト
社会科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
社会科調査委員会

1. 作問にあたって

- (1) 学習指導要領に示されている社会科の目標および内容の、基礎的・基本的な事項について、いかに生徒に定着しているかを、観点別に調査・診断することを意図して問題を作成した。
- (2) 作問は、本市使用の教科書を中心に行った。
- (3) 出題の傾向

第1学年は、学習指導要領に示されているもののうち、本年度4月から10月までの学習内容について出題した。

第2学年は、学習指導要領に示されているもののうち、前年度11月から本年度10月までの学習内容について出題した。地理的分野では、身近な地域（川崎市・神奈川県）と関連する内容について出題した。時事的事項も取り入れた。

第3学年は、学習指導要領に示されているもののうち、前年度11月から本年度10月までの学習内容について出題した。時事的事項も取り入れた。

なお、出題範囲の決定にあたり、各学校より提出された学習指導に関するアンケート調査の集計結果を参考にした。

問題用紙写真提供

福岡市博物館 / 宮内庁三の丸尚蔵館 / 真正極楽寺 / 慈照寺 / 時事通信社 / 税務大学校 / CPC /
サンフォト / アマナイメーجز / 厚生労働省 / 法務省 / 社団法人日本臓器移植ネットワーク /
「音楽のまち・かわさき」推進協議会 / 共同通信社 / 日本近代史研究会 / 毎日新聞社 /
ノーボスチ通信 / 水産航空 / 悠工房

2. 小問ごとの観点・ねらい・正答率

中学校第1学年社会

No	問題番号		正答		観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的現象についての知識・理解				
1	(ア)	3	○	◎	○	1世紀のわが国と東アジアとの関係について、資料を活用する力を問う。 東アジアにおこった宗教・思想について、正しく理解しているかを問う。	1世紀のわが国と東アジアとの関係について、資料を活用する力を問う。 東アジアにおこった宗教・思想について、正しく理解しているかを問う。	47	
2	(ウ)	4	○	◎	○	①原始・古代の日本と世界	縄文時代の生活について、適切に資料を選択する力を問う。 弥生時代のたものについて、正しく判断し理解しているかを問う。	69	
3	(エ)	4	◎	○	◎		邪馬台国／やまたいこく(漢字かなまじり可)	72	
4	(オ)	2	◎	◎	◎	②古代の日本と世界	邪馬台国について、正しく理解しているかを問う。	94	
5	(カ)	2	◎	◎	○		古墳時代の政治について、正しく判断し理解しているかを問う。 聖徳太子の政治について、正しく判断し理解しているかを問う。	77	
6	(キ)	1	◎	◎	◎		律令国家である唐について、正しく理解しているかを問う。 奈良時代の農民の生活について、正しく判断し理解しているかを問う。	93	
7	(ク)	3	◎	◎	◎		桓武天皇について、正しく理解しているかを問う。 摂関政治について、正しく理解しているかを問う。	79	
8	(ケ)	2	◎	◎	◎		平安時代の国風文化について、正しく理解しているかを問う。 源平の争乱について、正しく理解しているかを問う。	69	
9	(コ)	4	○	◎	◎		奈良時代の鎮護国家政策について、正しく理解しているかを問う。 平安時代の仏教について、正しく理解しているかを問う。	68	
10	(サ)	2	◎	◎	○		荘園の成立過程のできごとについて、正しい順に並び替えることができるかを問う。	53	
11	(シ)	4	◎	◎	◎		武家勢力の台頭について、適切に判断できるかを問う。 鎌倉幕府の封建制度について、正しく理解しているかを問う。	76	
12	(ス)	3	○	◎	◎		室町時代の社会のようすについて、正しく理解しているかを問う。 元の国家成立について、正しく理解しているかを問う。	43	
13	(セ)	2	○	◎	◎		永仁の徳政令について、正しく理解しているかを問う。 鎌倉仏教について、正しく判断し理解しているかを問う。	66	
14	(ソ)	3	◎	◎	◎		勘合貿易について、正しく判断し理解しているかを問う。 室町時代の文化について、資料を活用する力を問う。	59	
15	(タ)	1	◎	◎	◎		室町時代の産業のようすについて、正しく判断し理解しているかを問う。 地図上で実際より大きく表現されている島が判断できるかを問う。	86	
16	(チ)	4	◎	◎	○		資料から都市の緯度と経度が読み取れるかを問う。 資料から都市の位置を読み取り、簡単な時差が計算できるかを問う。	77	
17	(テ)	2	○	◎	◎		資料を読み取り、地球上の位置と季節の関係を判断できるかを問う。 資料の国が属している州を理解しているかを問う。	64	
18	(ト)	2	◎	◎	◎		資料の国が属している大陸を理解しているかを問う。 資料にあてはまる国を理解しているかを問う。	71	
19	(ト)	4	○	◎	◎		国境線の基準となるものについて、理解しているかを問う。 島国を資料から判断できるかを問う。	88	
20	(ニ)	3	◎	◎	◎		資料から国の面積を読み取れるかを問う。 資料を読み取り、パナカン市国について、理解しているかを問う。	67	
21	(ヒ)	1	◎	◎	◎		日本と同じくらい緯度にある国が判断できるかを問う。 資料を読み取り、太平洋について、理解しているかを問う。	46	
22	(フ)	2	○	◎	◎		日本の範囲を理解しているかを問う。 日本の南端の島の諸岸工事の理由が判断できるかを問う。	64	
23	(ヘ)	3	◎	◎	◎		資料から領空の範囲が読み取れるかを問う。 都道府県の位置を理解しているかを問う。	71	
24	(ヘ)	2	◎	◎	◎		都道府県名と都道府県庁所在地を理解しているかを問う。 都道府県が所属する地方区分を理解しているかを問う。	88	
25	(コ)	1	◎	◎	◎		資料を読み取り、都道府県の面積を理解しているかを問う。 地形図から地図記号を読み取れるかを問う。	66	
26	(カ)	2	◎	◎	◎		地形図から方位を読み取れるかを問う。 縮尺から実際の距離を計算できるかを問う。	78	
27	(キ)	4	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 地域調査の課題の調べ方について、判断できるかを問う。	62	
28	(ク)	3	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	76	
29	(ケ)	2	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	62	
30	(コ)	4	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	72	
31	(サ)	2	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	62	
32	(シ)	3	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	73	
33	(ス)	4	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	49	
34	(セ)	2	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	71	
35	(ソ)	3	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	63	
36	(タ)	4	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	82	
37	(チ)	2	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	32	
38	(テ)	3	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	78	
39	(ト)	4	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	66	
40	(ニ)	2	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	62	
41	(ヒ)	3	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	76	
42	(フ)	4	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	62	
43	(ヘ)	1	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	70	
44	(ヘ)	2	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	62	
45	(コ)	4	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	72	
46	(サ)	2	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	73	
47	(シ)	3	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	49	
48	(ス)	4	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	71	
49	(セ)	2	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	63	
50	(ソ)	3	◎	◎	◎		資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。	82	

◎…主たる観点

中学校第2学年社会

No	問題番号		正答	(選択式→番号, 記述式→言葉)	社会的な思 考・判断	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問				資料活用 の技能・表現	社会的現象 についての 知識・理解			
1	(ア)	3	◎				①安土・桃山時代	新航路を開拓した人物について、正しく理解しているかを問う。	40	
2	(イ)	4	◎					ヨーロッパ人がアジアに進出した目的について、正しく理解しているかを問う。	63	
3	(ウ)	1	◎					織田信長の政策について、内容を正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	60	
4	(エ)	2	◎					江戸幕府の位置を正しく理解し、地図の中から読み取れるかを問う。	76	
5	(オ)	3	◎					江戸時代における人口の割合について、適切に資料から読み取れるかを問う。	54	
6	(カ)	4	◎					江戸幕府のキリスト教の禁止による影響について、正しく理解しているかを問う。	83	
7	(イ)	2	◎					近代民主政治への動きについて、正しく理解しているかを問う。	61	
8	(ウ)	1	◎					江戸幕府の外交関係について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	69	
9	(ウ)	4	◎					江戸時代の蝦夷地との交易について、正しく理解しているかを問う。	42	
10	(エ)	3	◎				②江戸時代	享保の改革について、内容を正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	47	
11	(オ)	2	◎					天保の改革について、正しく理解しているかを問う。	46	
12	(カ)	1	◎					アメリカの独立戦争について、正しく理解しているかを問う。	76	
13	(キ)	南京／ナンキン(条約)(漢字かなまじり可)	◎					アヘン戦争について、正しく理解しているかを問う。	40	
14	(ク)	4	◎					欧米諸国の接近に対応した幕府の調査について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	47	
15	(ケ)	2	◎					産業革命を疑ったイギリスの社会のようすについて、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	57	
16	(コ)	3	◎					江戸時代の農林水産業や商業の発達について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	39	
17	(ア)	4	◎					日清戦争後の国内外のようすについて、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	30	
18	(イ)	3	◎					辛亥革命について、正しく理解しているかを問う。	54	
19	(ウ)	2	◎					尊王攘夷運動について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	63	
20	(エ)	1	◎					薩長同盟について、正しく理解しているかを問う。	80	
21	(オ)	4	◎				③明治時代	新政府の諸改革について、内容を正しく理解しているかを問う。	60	
22	(カ)	2	◎					自由民権運動に関するできごとについて、正しい順に並び替えることができるかを問う。	39	
23	(キ)	3	◎					明治時代の文学者について、正しく理解しているかを問う。	86	
24	(ク)	4	◎					地租改正について、適切に資料を選択できるかを問う。	74	
25	(ケ)	1	◎					下関条約について、内容を正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	52	
26	(ア)	3	◎					神奈川県が水利用について、資料が裏現していることを読み取れるかを問う。	66	
27	(イ)	4	◎					神奈川県が人口の特色について、資料が裏現していることを読み取れるかを問う。	66	
28	(ウ)	1	◎				④神奈川県	神奈川県が歴史について、資料が裏現していることを読み取れるかを問う。	68	
29	(エ)	3	◎					神奈川県に住む外国人について、資料を選択できるかを問う。	74	
30	(オ)	2	◎					神奈川県が農林水産物について、資料を選択できるかを問う。	70	
31	(カ)	川崎／かわさき(市)(漢字かなまじり可)	◎					神奈川県が工業のさまざまな地域の移り変わりについて、判断できるかを問う。	86	
32	(キ)		◎					資料にあてはまる都市の場所について、理解しているかを問う。	81	
33	(ア)	4	◎					三重県の地形と人口について、資料が裏現していることを読み取れるかを問う。	73	
34	(イ)	4	◎				⑤三重県	三重県の降水量について、資料を活用できるかを問う。	73	
35	(ウ)	1	◎					三重県の農業について、資料が裏現していることを読み取れるかを問う。	82	
36	(エ)	3	◎					三重県の工業について、資料が裏現していることを読み取れるかを問う。	76	
37	(オ)	3	◎					三重県の県庁所在地について、理解しているかを問う。	63	
38	(ア)	1	◎					中国の民族構成について、資料が裏現していることを読み取れるかを問う。	90	
39	(イ)	2	◎					アメリカの先住民について、理解しているかを問う。	65	
40	(ウ)	2	◎					中国の農業について、資料から読み取れるかを問う。	40	
41	(エ)	4	◎					アメリカの農業について、資料から読み取れるかを問う。	71	
42	(オ)	1	◎					中国の工業の特色について、判断できるかを問う。	46	
43	(カ)	2	◎				⑥中国とアメリカ	アメリカの鋳工業について、資料から読み取れるかを問う。	78	
44	(キ)	2	◎					中国の河川について、理解しているかを問う。	66	
45	(ク)	3	◎					アメリカの気候について、資料を選択できるかを問う。	54	
46	(ケ)	1	◎					中国の歴史について、理解しているかを問う。	86	
47	(コ)	オハバ(カタカナのみ可)	◎					アメリカの社会のようすについて、理解しているかを問う。	88	
48	(サ)	4	◎					中国と日本の結びつきについて、資料を選択できるかを問う。	47	
49	(シ)	3	◎					アメリカと日本の結びつきについて、資料が裏現していることを読み取れるかを問う。	84	
50	(ス)	2	◎					中国とアメリカについて、考察できるかを問う。	37	

◎…主たる観点

中学校第3学年社会

No	問題番号		正答	選択式・番号、記述式・言葉	社会的な思考・判断	資料活用 技能・表現	観点 社会的事象 についての 知識・理解	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問								
1	(ア)	2	○	○	◎	◎	①現代日本の歩みと私たちの生活	高度経済成長期について、資料から正しく読み取る力を問う。	87	
2	1	(イ)				◎		高度経済成長期の公害問題について、理解しているかを問う。	75	
3	3	(ウ)	◎	◎				日米の貿易問題について、内容を正しく判断しているかを問う。	84	
4	1	(ア)	○	◎				家庭での男女の役割分担について、資料から正しく読み取る力を問う。	95	
5	2	(イ)	◎	◎	○			年齢別にみた人口の割合について、資料から正しく読み取る力を問う。	95	
6	3	(ウ)	○	◎	◎			夫婦別姓について、資料から正しく読み取る力を問う。	93	
7	4	(ア)				◎		ワイマール憲法について、理解しているかを問う。	76	
8	1	(イ)	○	◎		◎		市民革命期の思想家について、資料から正しく読み取る力を問う。	80	
9	2	(ウ)				◎		大日本帝国憲法について、理解しているかを問う。	59	
10	2	(エ)	◎	◎	○		③人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	社会権について、内容を正しく判断する力を問う。	35	
11	1	(オ)				◎		平等権について、理解しているかを問う。	73	
12	1	(カ)			○	◎		公共の福祉について、理解しているかを問う。	79	
13	4	(キ)	◎	◎	○			平和主義について、内容を正しく判断する力を問う。	34	
14	3	(ク)	◎	◎	○			天皇の国事行為について、内容を正しく判断する力を問う。	33	
15	4	(ア)				◎		行政改革について、理解しているかを問う。	73	
16	2	(イ)	◎	◎	○			選挙制度の組み合わせについて、内容を正しく判断する力を問う。	50	
17	2	(ウ)				◎		衆議院の権限について、理解しているかを問う。	37	
18	3	(エ)	◎	◎	◎			国会の種類について、理解しているかを問う。	60	
19	1	(オ)				◎		国会の仕事について、内容を正しく判断する力を問う。	26	
20	4	(カ)			○	◎	④民主政治と政治参加	内閣について、理解しているかを問う。	32	
21	4	(キ)				◎		裁判の手続きについて、資料から正しく読み取る力を問う。	77	
22	1	(ク)				◎		地方公共団体の仕事について、理解しているかを問う。	77	
23	2	(ケ)				◎		地方公共団体のしくみについて、内容を正しく判断する力を問う。	53	
24	3	(コ)	◎	◎	○			地方公共団体のしくみについて、内容を正しく判断する力を問う。	53	
25	4	(サ)				◎		地方分権について、正しく理解しているかを問う。	41	
26	1	(ア)	◎	◎	○			第一次世界大戦までの世界の動きについて、適切に判断し、理解しているかを問う。	56	
27	4	(イ)	◎	◎	○			第一次世界大戦における日本の外交について、適切に判断し、理解しているかを問う。	13	
28	2	(ウ)				◎	⑤二つの世界大戦と日本	国際連盟の設立について、理解しているかを問う。	61	
29	4	(エ)	◎	◎	○			男子普通選挙について、適切に判断し、理解しているかを問う。	44	
30	3	(オ)				◎		軍部の台頭について、資料を読み取り、理解しているかを問う。	36	
31	4	(カ)				◎		太平洋戦争末期について、理解しているかを問う。	78	
32	1	(キ)				◎		国家総動員法について、資料を読み取り、理解しているかを問う。	40	
33	2	(ア)	○	◎	◎			戦後の民主化政策について、理解しているかを問う。	38	
34	3	(イ)	◎	◎	○			戦後の世界のごとくについて、正しい順に並び替えることができるかを問う。	33	
35	3	(ウ)	◎	◎	○			日本国憲法と閣内閣法について、適切に判断し、理解しているかを問う。	60	
36	1	(エ)	◎	◎	○			サンフランシスコ講和会議について、適切に判断し、理解しているかを問う。	48	
37	2	(オ)	◎	◎	○			日米安全保障条約について、資料を読み取り、適切に判断し、理解しているかを問う。	87	
38	1	(カ)	◎	◎	○			冷戦後の社会の流れについて、適切に判断し、理解しているかを問う。	45	
39	3	(ア)	○	◎	◎			世界の気候について、資料を読み取り、雨・温図を選択する力を問う。	59	
40	1	(イ)	○	◎	◎			世界の人口について、資料を読み取る力を問う。	67	
41	2	(ウ)	○	◎	◎			世界の宗教について、理解しているかを問う。	58	
42	4	(エ)				◎		特色ある地形について、理解しているかを問う。	76	
43	1	(オ)				◎		日本の気候の特色について、理解しているかを問う。	58	
44	1	(カ)	○	◎	◎		⑦世界と比べてみた日本	日本の交通について、資料を読み取る力を問う。	75	
45	3	(キ)	○	◎	◎			新しいエネルギーについて、理解しているかを問う。	98	
46	3	(ク)	○	◎	◎			日本の工業について、資料を読み取る力を問う。	81	
47	2	(ケ)	◎	◎	○			エネルギーと鉱産資源について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。	61	
48	2	(コ)	○	◎	◎			日本の農業について、資料を読み取る力を問う。	59	
49	1	(サ)	◎	◎	○			日本の食糧問題について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。	87	
50	4	(シ)	◎	◎	○			日本の林業について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。	84	

◎…主たる観点

3. 出題のねらい

平成21年度 川崎市立中学校学習診断テスト 出題のねらい

社会科（第1学年 歴史的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問1	ア		◎	○	・1世紀のわが国と東アジアとの関係について、資料を活用する力を問う。
	イ	○		◎	・東アジアにおこった宗教・思想について、正しく理解しているかを問う。
	ウ		◎	○	・縄文時代の生活について、適切に資料を選択する力を問う。
	エ	◎	○		・弥生時代のたてものについて、正しく判断し理解しているかを問う。
	オ			◎	・邪馬台国について、正しく理解しているかを問う。
	カ	◎		○	・古墳時代の政治について、正しく判断し理解しているかを問う。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 原始・古代までの日本と東アジアの特徴やできごとを、資料を読み取り、正しく判断し、理解しているかを見ることをねらいとしている。 </div>					
問2	ア	◎		○	・聖徳太子の政治について、正しく判断し理解しているかを問う。
	イ			◎	・律令国家である唐について、正しく理解しているかを問う。
	ウ	◎		○	・奈良時代の農民の生活について、正しく判断し理解しているかを問う。
	エ		◎		・桓武天皇について、正しく理解しているかを問う。
	オ		◎		・摂関政治について、正しく理解しているかを問う。
	カ	◎			・平安時代の国風文化について、正しく理解しているかを問う。
	キ		◎		・源平の争乱について、正しく理解しているかを問う。
	ク	○	◎		・奈良時代の鎮護国家政策について、正しく理解しているかを問う。
	ケ	○	◎		・平安時代の仏教について、正しく理解しているかを問う。
	コ	◎		○	・荘園の成立過程のできごとについて、正しい順に並び替えることができるかを問う。
	サ	◎		○	・武家勢力の台頭について、適切に判断できるかを問う。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 飛鳥時代から平安時代までの各時代の特徴やしぐみを、資料を読み取り、正しく判断し、理解しているかを見ることをねらいとしている。 </div>					
問3	ア	○		◎	・鎌倉幕府の封建制度について、正しく理解しているかを問う。
	イ	○		◎	・室町時代の社会のようすについて、正しく理解しているかを問う。
	ウ		○	◎	・元の国家成立について、正しく理解しているかを問う。
	エ	○		◎	・永仁の徳政令について、正しく理解しているかを問う。
	オ	◎		○	・鎌倉仏教について、正しく判断し理解しているかを問う。
	カ	◎		○	・勘合貿易について、正しく判断し理解しているかを問う。
	キ		◎	○	・室町時代の文化について、資料を活用する力を問う。
ク	◎		○	・室町時代の産業のようすについて、正しく判断し理解しているかを問う。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 武家の政治が展開された鎌倉時代と室町時代の特徴やしぐみを、資料を読み取り、正しく判断し、理解しているかを見ることをねらいとしている。 </div>					

社会科（第1学年 地理的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問4	ア	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・地図上で実際より大きく表現されている島が判断できるかを問う。 ・資料から都市の緯度と経度が読み取れるかを問う。 ・資料から都市の位置を読み取り、簡単な時差が計算できるかを問う。 ・資料を読み取り、地球上の位置と季節の関係を判断できるかを問う。
	イ		◎		
	ウ	○	◎		
	エ	◎	○		
<p>実際の面積と地図上に表現された大きさとの違い、緯度と経度、時差、地球上の位置と季節の関係についての、基礎的な知識や技能、考察する力をみることをねらいとしている。</p>					
問5	ア			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の国が属している州を理解しているかを問う。 ・資料の国が属している大陸を理解しているかを問う。 ・資料にあてはまる国を理解しているかを問う。 ・国境線の基準となるものについて理解しているかを問う。 ・島国を資料から判断できるかを問う。 ・資料から国の面積を読み取れるかを問う。 ・資料を読み取り、バチカン市国について理解しているかを問う。
	イ			◎	
	ウ	○		◎	
	エ		○	◎	
	オ	◎		○	
	カ	○	◎		
	キ		○	◎	
<p>世界の州と大陸、国々の構成、国境線、島国、統計資料の読み取りについての、基礎的な知識や技能、考察する力をみることをねらいとしている。</p>					
問6	ア	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と同じぐらいの経度にある国が判断できるかを問う。 ・資料を読み取り、太平洋について理解しているかを問う。 ・日本の範囲を理解しているかを問う。 ・日本の南端の島の護岸工事の理由が判断できるかを問う。 ・資料から領空の範囲が読み取れるかを問う。 ・都道府県の位置を理解しているかを問う。 ・都道府県名と都道府県庁所在地を理解しているかを問う。 ・都道府県が所属する地方区分を理解しているかを問う。 ・資料を読み取り、都道府県の面積を理解しているかを問う。
	イ		○	◎	
	ウ			◎	
	エ	◎		○	
	オ		◎	○	
	カ			◎	
	キ			◎	
	ク			◎	
	ケ		○	◎	
<p>日本の位置と範囲、領域と排他的経済水域、都道府県の構成と地方区分についての、基礎的な知識や技能、考察する力をみることをねらいとしている。</p>					
問7	ア		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地形図から地図記号を読み取れるかを問う。 ・地形図から方位を読み取れるかを問う。 ・縮尺から、実際の距離を計算できるかを問う。 ・資料を読み取り、適切な雨温図を選択できるかを問う。 ・地域調査の課題の調べ方について判断できるかを問う。
	イ		◎	○	
	ウ	○	◎		
	エ	○	◎		
	オ	◎			
<p>距離・方位・地図記号・土地利用など、地形図の基本的な読み取りと、雨温図、身近な地域の調査のすすめ方についての、基礎的な知識や技能、考察する力をみることをねらいとしている。</p>					

平成21年度 川崎市立中学校学習診断テスト 出題のねらい

社会科（第2学年 歴史的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問1	ア イ ウ エ オ カ	◎		◎	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・新航路を開拓した人物について、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・ヨーロッパ人がアジアに進出した目的について、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・織田信長の政策について、内容を正しく理解し、適切に判断できるかを問う。 ◎ ・江戸幕府の位置を正しく理解し、地図中から読み取れるかを問う。 ◎ ・江戸時代における人口の割合について、適切に資料から読み取れるかを問う。 ◎ ・江戸幕府のキリスト教の禁止による影響について、正しく理解しているかを問う。
近世の日本と世界について、政策や社会のようすを、正しく判断し、適切に資料を選択し、理解しているか をみることをねらいとしている。					
問2	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ	◎		◎	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・近代民主政治への動きについて、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・江戸幕府の外交関係について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。 ◎ ・江戸時代の蝦夷地との交易について、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・享保の改革について、内容を正しく理解し、適切に判断できるかを問う。 ◎ ・天保の改革について、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・アメリカの独立戦争について、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・アヘン戦争について、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・欧米諸国の接近に対応した幕府の調査について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。 ◎ ・産業革命を経たイギリスの社会のようすについて、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。 ◎ ・江戸時代の農林水産業や商業の発達について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。
17～19世紀の日本と世界について、政策や外交、社会のようすなどを、正しく判断し、理解しているか をみることをねらいとしている。					
問3	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ	◎		◎	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ・日清戦争後の国内外のようすについて、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。 ◎ ・辛亥革命について、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・尊王攘夷運動について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。 ◎ ・薩長同盟について、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・新政府の諸改革について、内容を正しく理解しているかを問う。 ◎ ・自由民権運動に関するできごとについて、正しい順に並び替えることができるかを問う。 ◎ ・明治時代の文学者について、正しく理解しているかを問う。 ◎ ・地租改正について、適切に資料を選択できるかを問う。 ◎ ・下関条約について、内容を正しく理解し、適切に判断できるかを問う。
近代日本の歩みについて、政策や外交、社会のようす、文化などを、正しく判断し、適切に資料を選択し、 理解しているかを見ることをねらいとしている。					

社会科（第2学年 地理的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問4	ア	◎	○		・神奈川県地形と水利用について、資料が表現していることを読み取れるかを問う。
	イ	◎	○		・神奈川県人口の特色について、資料が表現していることを読み取れるかを問う。
	ウ	◎		○	・神奈川県歴史について、資料が表現していることを読み取れるかを問う。
	エ	○	◎		・神奈川県に住む外国人について、資料を選択できるかを問う。
	オ		◎	○	・神奈川県農林水産物について、資料を選択できるかを問う。
	カ	◎		○	・神奈川県工業のさかんな地域の移り変わりについて、判断できるかを問う。
	キ			◎	・資料にあてはまる都市の場所について、理解しているかを問う。
神奈川県自然環境や歴史、産業について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問5	ア	◎	○		・三重県地形と人口について、資料が表現していることを読み取れるかを問う。
	イ		◎		・三重県降水量について、資料を活用できるかを問う。
	ウ	◎	○		・三重県農業について、資料が表現していることを読み取れるかを問う。
	エ	◎	○		・三重県工業について、資料が表現していることを読み取れるかを問う。
	オ			◎	・三重県県庁所在地について、理解しているかを問う。
三重県自然環境や産業、県特色について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問6	ア	◎	○		・中国民族構成について、資料が表現していることを読み取れるかを問う。
	イ			◎	・アメリカ先住民について、理解しているかを問う。
	ウ		◎	○	・中国農業について、資料から読み取れるかを問う。
	エ		◎		・アメリカ農業について、資料から読み取れるかを問う。
	オ	◎		○	・中国工業の特色について、判断できるかを問う。
	カ		◎		・アメリカ鋳工業について、資料から読み取れるかを問う。
	キ		○	◎	・中国河川について、理解しているかを問う。
	ク	○	◎		・アメリカ気候について、資料を選択できるかを問う。
	ケ		○	◎	・中国歴史について、理解しているかを問う。
	コ			◎	・アメリカ社会のようすについて、理解しているかを問う。
	サ		◎	○	・中国と日本の結びつきについて、資料を選択できるかを問う。
	シ	◎	○		・アメリカと日本の結びつきについて、資料が表現していることを読み取れるかを問う。
	ス	◎		○	・中国とアメリカについて、考察できるかを問う。
中国とアメリカ自然環境や歴史、産業や貿易について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解し、考察しているかをみることをねらいとしている。					

平成21年度 川崎市立中学校学習診断テスト 出題のねらい

社会科（第3学年 公民的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容	
問1	ア	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長について、資料から正しく読み取る力を問う。 ・高度経済成長期の公害問題について、理解しているかを問う。 ・日米の貿易問題について、内容を正しく判断しているかを問う。 	
	イ			◎		
	ウ	◎				
移り変わる社会とわたしたちの暮らしについて、高度経済成長・公害問題・日米貿易問題の内容を、適切に判断し理解しているかをみることをねらいとしている。						
問2	ア	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での男女の役割分担について、資料から正しく読み取る力を問う。 ・年齢別にみた人口の割合について、資料から正しく読み取る力を問う。 ・夫婦別姓について、資料から正しく読み取る力を問う。 	
	イ		◎	○		
	ウ	○	◎			
社会のなかで生きることについて、資料を正しく読み取り、理解しているかをみることをねらいとしている。						
問3	ア			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイマール憲法について、理解しているかを問う。 ・市民革命期の思想家について、資料から正しく読み取る力を問う。 ・大日本帝国憲法について、理解しているかを問う。 ・社会権について、内容を正しく判断する力を問う。 ・平等権について、理解しているかを問う。 ・公共の福祉について、理解しているかを問う。 ・平和主義について、内容を正しく判断する力を問う。 ・天皇の国事行為について、内容を正しく判断する力を問う。 	
	イ	○	◎			
	ウ			◎		
	エ	◎		○		
	オ			◎		
	カ		○	◎		
	キ	◎		○		
	ク	◎		○		
暮らしのなかで生きる憲法について、その内容を適切に判断し、資料の読み取りを通して、理解しているかをみることをねらいとしている。						
問4	ア			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・行政改革について、理解しているかを問う。 ・選挙制度の組み合わせについて、内容を正しく判断する力を問う。 ・衆議院の優越について、理解しているかを問う。 ・国会の種類について、理解しているかを問う。 ・国会の仕事について、内容を正しく判断する力を問う。 ・内閣について、理解しているかを問う。 ・裁判について、理解しているかを問う。 ・裁判の手続きについて、資料から正しく読み取る力を問う。 ・地方公共団体の仕事について、理解しているかを問う。 ・地方公共団体のしくみについて、内容を正しく判断する力を問う。 ・地方分権について、正しく理解しているかを問う。 	
	イ	◎	○			
	ウ			◎		
	エ			◎		
	オ	◎		○		
	カ		○	◎		
	キ			◎		
	ク		◎			
	ケ			◎		
	コ	◎		○		
サ			◎			
暮らしとつながる政治について、その内容を適切に判断し、資料の読み取りを通して、理解しているかをみることをねらいとしている。						

社会科（第3学年 歴史的分野・地理的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問5	ア	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦までの世界の動きについて、適切に判断し、理解しているかを問う。 ・第一次世界大戦における日本の外交について、適切に判断し、理解しているかを問う。 ・国際連盟の設立について、理解しているかを問う。 ・男子普通選挙について、適切に判断し、理解しているかを問う。 ・軍部の台頭について、資料を読み取り、理解しているかを問う。 ・太平洋戦争末期について、理解しているかを問う。 ・国家総動員法について、資料を読み取り、理解しているかを問う。
	イ	◎		○	
	ウ			◎	
	エ	◎		○	
	オ		◎	○	
	カ		○	◎	
	キ		◎	○	
第一次世界大戦から第二次世界大戦までの日本の動きを考察し、適切に判断し、資料を正しく読み取り、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問6	ア	○		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の民主化政策について、理解しているかを問う。 ・戦後の世界のできごとについて、正しい順に並び替えることができるかを問う。 ・日本国憲法と関連法令について、適切に判断し、理解しているかを問う。 ・サンフランシスコ講和会議について、適切に判断し、理解しているかを問う。 ・日米安全保障条約について、資料を読み取り、適切に判断できるかを問う。 ・冷戦後の社会の流れについて、適切に判断し、理解しているかを問う。
	イ	◎		○	
	ウ	◎		○	
	エ	◎		○	
	オ	◎		○	
	カ	◎		○	
第二次世界大戦後の日本のようすや国際社会について、正しく判断し、適切に考察し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問7	ア	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・世界の気候について、資料を読み取り、雨温図を選択する力を問う。 ・世界の人口について、資料を読み取る力を問う。 ・世界の宗教について、理解しているかを問う。 ・特色ある地形について、理解しているかを問う。 ・日本の気候の特色について、理解しているかを問う。 ・日本の交通について、資料を読み取る力を問う。 ・新しいエネルギーについて、理解しているかを問う。 ・日本の工業について、資料を読み取る力を問う。 ・エネルギーと鉱産資源について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。 ・日本の農業について、資料を読み取る力を問う。 ・日本の食糧問題について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。 ・日本の林業について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。
	イ	○	◎		
	ウ	○		◎	
	エ		○	◎	
	オ		○	◎	
	カ	○	◎		
	キ		○	◎	
	ク	○	◎		
	ケ	◎	○		
	コ	○	◎		
	サ	◎	○		
	シ	◎	○		
	日本の気候・交通・産業や、世界とくらべてみた日本について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。				

4. 誤答分析

第1学年 1 歴史的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
1	ア	1世紀の東アジア	38	7	(47)	7	1世紀の東アジアの外交について、資料を読み取る技能がやや不十分である。
	イ	古代中国の文明	4	23	4	(69)	古代中国の宗教・思想についての理解が、一応できている。
	ウ	縄文時代の生活	13	8	7	(72)	縄文時代の生活について、資料を読み取る技能が一応身につけている。
	エ	弥生時代の生活	0	2	4	(94)	弥生時代のたてものについての判断が、十分できている。
	オ	邪馬台国	邪馬台国 (77)	その他 18	無答 5		邪馬台国についての理解が、一応できている。 誤答例 倭国、漢字の誤字
	カ	古墳時代のわが国の政治	3	(93)	2	2	古墳時代の政治についての判断が、十分できている。
2	ア	聖徳太子の政治	13	(79)	6	2	聖徳太子の政治についての判断が、一応できている。
	イ	古代中国の国家	(69)	1	19	11	律令国家である唐についての理解が、一応できている。
	ウ	奈良時代の農民の生活	(48)	15	22	15	奈良時代の農民の生活について、判断がやや不十分である。
	エ	桓武天皇の政治	25	12	(53)	10	桓武天皇についての理解が、やや不十分である。
	オ	摂関政治	(76)	11	7	6	摂関政治についての理解が、一応できている。
	カ	国風文化	22	(47)	13	18	平安時代の国風文化についての理解が、やや不十分である。
	キ	源平の争い	7	10	(76)	7	源平の争乱についての理解が、一応できている。
	ク	奈良時代の仏教	19	26	2	(53)	奈良時代の鎮護国家政策についての理解が、やや不十分である。
	ケ	平安時代の密教	空海 (37)	その他 41	無答 22		平安時代の密教についての理解が、やや不十分である。誤答例 鑑真、小野妹子
	コ	荘園の成立	18	(43)	21	18	荘園の成立過程についての判断が、やや不十分である。
サ	平氏政権	3	8	22	(66)	武家勢力の台頭についての判断が、一応できている。	
3	ア	鎌倉幕府の封建制度	33	2	(59)	6	鎌倉幕府の封建制度についての理解が、やや不十分である。
	イ	下剋上の風潮	(86)	7	5	2	室町時代の社会の様子についての理解が、十分できている。
	ウ	元寇	7	(77)	15	1	元の国家成立についての理解が、一応できている。
	エ	御家人と徳政令	2	23	6	(69)	永仁の徳政令についての理解が、一応できている。
	オ	鎌倉仏教	15	14	(57)	14	鎌倉仏教についての判断が、やや不十分である。
	カ	室町幕府の勘合貿易	(56)	6	16	22	勘合貿易についての判断が、やや不十分である。
	キ	室町時代の文化	(86)	2	4	8	室町時代の文化について、資料を読み取る技能が十分身につけている。
	ク	室町時代の産業	6	27	(40)	27	室町時代の産業の様子についての判断が、やや不十分である。

第1学年 2 地理的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
4	ア	地図の特性	3	78	3	(16)	地図上で実際よりも大きく表現されている島についての判断が、不十分である。
	イ	緯度と経度	37	5	(50)	8	地図から緯度と経度を読み取る技能が、やや不十分である。
	ウ	時差	12	(67)	5	16	地図から読み取った経度をもとにした時差の計算が、一応できている。
	エ	地球上の位置と季節の関係	16	5	(46)	32	地球上の都市の位置と季節の関係についての判断が、やや不十分である。
5	ア	国の属する州	11	(64)	8	17	国の属する州の理解が、一応できている。
	イ	国の属する大陸	(71)	8	14	7	国の属する大陸の理解が、一応できている。
	ウ	国名	7	4	1	(88)	資料にあてはまる国の理解が、十分できている。
	エ	国境線	7	11	(68)	14	国境線の基準となるものについての理解が、一応できている。
	オ	島国	I (83)	II 5	III 5	IV 6	島国についての判断が、十分できている。
	カ	統計資料の読み取り	I 33	II (57)	III 4	IV 6	統計資料から国の面積を読み取る技能が、やや不十分である。
	キ	バチカン市国	バチカン市 (65)	その他 18	無答 17		バチカン市国についての理解が、一応できている。 誤答例 バチカン王国
6	ア	日本と同経度の国	7	31	(49)	12	日本と同経度の国についての判断が、やや不十分である。
	イ	日本の東にある海洋	太平洋 (71)	その他 23	無答 6		太平洋についての理解が、一応できている。 誤答例 大平洋、大西洋
	ウ	日本の範囲	16	14	7	(63)	日本の範囲についての理解が、一応できている。
	エ	沖ノ鳥島の護岸工事	5	(82)	11	2	沖ノ鳥島の護岸工事の理由についての判断が、十分できている。
	オ	領空	38	15	(32)	15	資料から領空の範囲を読み取る技能が、やや不十分である。
	カ	都道府県の位置	1	8	(78)	13	都道府県の位置の理解が、一応できている。
	キ	都道府県の庁所在地	9	10	15	(66)	都道府県と庁所在地の組み合わせについての理解が、一応できている。
	ク	都道府県の属する地方区分	(52)	19	20	9	都道府県の属する地方区分についての理解が、やや不十分である。
7	ケ	都道府県の面積	(76)	6	4	14	都道府県の面積についての理解が、一応できている。
	ア	地図記号の読み取り	12	(62)	13	13	地形図から地図記号を読み取る技能が、一応身についている。
	イ	方位	(70)	23	5	2	地形図から方位を読み取る技能が、一応身についている。
	ウ	縮尺	6	(62)	19	13	縮尺から実際の距離を計算する技能が、一応身についている。
	エ	雨温図	10	3	15	(72)	資料をもとに適切な雨温図を選択する技能が、一応身についている。
オ	地域調査のすすめ方	17	3	7	(73)	地域調査の課題の調べ方についての判断が、一応できている。	

第2学年 1 歴史的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
1	ア	新航路の開拓	14	42	④0	4	新航路を開拓した人物の理解が、やや不十分である。
	イ	ヨーロッパ人の進出	21	12	3	⑥3	ヨーロッパ人がアジアに進出した目的の理解が、一応できている。
	ウ	織田信長の政策	⑥0	11	14	15	織田信長の政策についての判断が、一応できている。
	エ	江戸幕府の位置	1	⑦6	19	3	江戸幕府の位置について、資料を読み取る技能が、一応身についている。
	オ	江戸時代の人口	21	17	⑤4	7	江戸時代における人口の割合について、資料を読み取る技能が、やや不十分である。
	カ	キリスト教の禁止の影響	6	5	6	⑧3	江戸幕府のキリスト教の禁止による影響の理解が、十分できている。
2	ア	近代民主政治	27	⑥1	8	4	近代民主政治への動きの理解が、一応できている。
	イ	江戸幕府の外交	⑥9	15	10	6	江戸幕府の外交関係についての判断が、一応できている。
	ウ	蝦夷地との交易	14	31	12	④2	江戸時代の蝦夷地との交易の理解が、やや不十分である。
	エ	享保の改革	26	10	④7	16	享保の改革の内容についての判断が、やや不十分である。
	オ	天保の改革	14	④6	21	19	天保の改革の理解が、やや不十分である。
	カ	アメリカの独立戦争	⑦6	12	6	6	アメリカの独立戦争の理解が、一応できている。
	キ	アヘン戦争	南京 ④0	その他 40	無答 21		アヘン戦争の理解が、やや不十分である。 誤答例 ポーツマス、ベルサイユ
	ク	欧米諸国の接近	15	10	28	④7	欧米諸国の接近に対応した幕府の調査についての判断が、やや不十分である。
	ケ	イギリスの産業革命	19	⑤7	14	9	産業革命を経たイギリスの社会の様子についての判断が、やや不十分である。
	コ	江戸時代の諸産業	17	22	③9	21	農林水産業や商業の発達についての判断が、やや不十分である。
3	ア	日清戦争の影響	27	20	22	③0	日清戦争後の国内外の様子についての判断が、やや不十分である。
	イ	辛亥革命	7	26	⑤4	13	辛亥革命の理解が、やや不十分である。
	ウ	尊王攘夷運動	7	⑥3	13	16	尊王攘夷運動についての判断が、一応できている。
	エ	薩長同盟	⑧0	2	9	9	薩長同盟の理解が、十分できている。
	オ	新政府の諸改革	11	6	22	⑥0	新政府の諸改革の内容の理解が、一応できている。
	カ	自由民権運動	22	③9	20	18	自由民権運動の全国的な広まりについての判断が、やや不十分である。
	キ	明治時代の文学	4	2	⑧6	7	明治時代の文学者の理解が、十分できている。
	ク	地租改正	9	9	8	⑦4	地租改正について、資料を読み取る技能が、一応身についている。
	ケ	下関条約	⑤2	23	12	12	下関条約についての判断が、やや不十分である。

第2学年 2 地理的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
4	ア	神奈川県の水利用	9	19	(66)	6	地形と水利用について、資料をもとに判断することが、一応できている。
	イ	神奈川県の人ロ	11	7	15	(66)	人口の特色について、資料をもとに判断することが、一応できている。
	ウ	神奈川県の人史	(68)	16	4	12	歴史について、資料をもとに判断することが、一応できている。
	エ	神奈川県に住む外国人	18	4	(74)	3	神奈川県に住む外国人について、資料を選択する技能が、一応身についている。
	オ	神奈川県の人林水産物	9	(70)	10	10	人林水産物について、資料を選択する技能が、一応身についている。
	カ	神奈川県の人業	(86)	5	6	2	人業のさかんな地域の移り変わりについての判断が、十分できている。
	キ	都市の場所	川崎 (81)	その他 12	無答 7		資料にあてはまる都市の場所についての理解が、十分できている。誤答例 横浜市
5	ア	三重州の人形と人口	7	10	9	(73)	地形と人口について、資料をもとに判断することが、一応できている。
	イ	三重州の人降水量	6	10	11	(73)	降水量について、資料を活用する技能が、一応身についている。
	ウ	三重州の人農業	(82)	5	6	5	農業について、資料をもとに判断することが、十分できている。
	エ	三重州の人業	12	7	(76)	4	人業について、資料をもとに判断することが、一応できている。
	オ	三重州の州庁所在地	10	12	(63)	15	州庁所在地についての理解が、一応できている。
6	ア	中国の人族構成	(90)	4	3	3	民族構成について、資料をもとに判断することが、十分できている。
	イ	アメリカの先住民	10	(65)	9	16	先住民についての理解が、一応できている。
	ウ	中国の人業	28	(40)	13	18	中国の人業について、資料から読み取る技能が、やや不十分である。
	エ	アメリカの人業	4	17	7	(71)	アメリカの人業について、資料から読み取る技能が、一応身についている。
	オ	中国の人業	(46)	15	25	13	人業の特色についての判断が、やや不十分である。
	カ	アメリカの鉱人業	8	(78)	7	6	鉱人業について、資料から読み取る技能が、一応身についている。
	キ	中国の人川	26	(66)	4	4	人川についての理解が、一応できている。
	ク	アメリカの人候	11	14	(54)	18	人候についての資料を選択する技能が、やや不十分である。
	ケ	中国の人史	(86)	2	6	3	歴史についての理解が、十分できている。
	コ	アメリカの社会の様子	オバマ (88)	その他 8	無答 4		社会の様子についての理解が、十分できている。誤答例 ブッシュ
	サ	中国と日本の結びつき	7	15	29	(47)	中国と日本の結びつきについての資料を選択する技能が、やや不十分である。
シ	アメリカと日本の結びつき	4	5	(84)	6	アメリカと日本の結びつきについて、資料をもとに判断することが、十分できている。	
ス	中国とアメリカの比較	22	(37)	19	21	中国とアメリカについての考察が、やや不十分である。	

第3学年 1 公民的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
1	ア	高度経済成長	10	(87)	2	1	高度経済成長について、資料を読み取る技能が、十分身についている。
	イ	高度経済成長期の公害問題	5	17	3	(75)	高度経済成長期の公害問題についての理解が、一応できている。
	ウ	日米の貿易問題	6	1	(84)	9	日米の貿易問題について、内容を正しく判断する力が、十分できている。
2	ア	家庭での役割分担	(95)	1	2	2	家庭での男女の役割分担について、資料を読み取る技能が、十分身についている。
	イ	年齢別人口の割合	2	3	(95)	0	年齢別人口の割合について、資料を読み取る技能が、十分身についている。
	ウ	夫婦別姓	1	1	(93)	5	夫婦別姓について、資料を読み取る技能が、十分身についている。
3	ア	ワイマール憲法	9	5	10	(76)	ワイマール憲法についての理解が、一応できている。
	イ	市民革命期の思想家	(80)	17	2	1	市民革命期の思想家について、資料を読み取る技能が、十分身についている。
	ウ	大日本帝国憲法	21	(59)	18	2	大日本帝国憲法についての理解が、やや不十分である。
	エ	社会権	28	(35)	12	25	社会権について、内容を正しく判断する力が、やや不十分である。
	オ	平等権	(73)	8	5	14	平等権の内容についての理解が、一応できている。
	カ	公共の福祉	公共 (79)	その他 11	無答 10		公共の福祉についての理解が、一応できている。 誤答例 国会、社会
	キ	平和主義	16	34	16	(34)	平和主義について、内容を正しく判断する力が、やや不十分である。
	ク	天皇の国事行為	12	31	(33)	24	天皇の国事行為について、内容を正しく判断する力が、やや不十分である。
4	ア	行政改革	10	3	14	(73)	行政改革についての理解が、一応できている。
	イ	選挙制度	26	(50)	12	12	選挙制度の組み合わせにについて、内容を正しく判断する力が、やや不十分である。
	ウ	衆議院の優越	8	(37)	13	42	衆議院の優越についての理解が、やや不十分である。
	エ	国会の種類	9	28	(60)	3	国会の種類についての理解が、一応できている。
	オ	国会の仕事	(26)	39	17	18	国会の仕事について、内容を正しく判断する力が、不十分である。
	カ	議院内閣制	議院内閣 (32)	その他 35	無答 32		議院内閣制についての理解が、やや不十分である。 誤答例 議員内閣、連帯責任
	キ	裁判制度	2	7	14	(77)	裁判制度についての理解が、一応できている。
	ク	裁判の手続き	(77)	13	6	4	裁判の手続きについて、資料を読み取る技能が、一応身についている。
	ケ	地方公共団体の仕事	6	(53)	21	20	地方公共団体の仕事についての理解が、やや不十分である。
コ	地方公共団体のしくみ	13	22	(53)	12	地方公共団体のしくみについて、内容を正しく判断する力が、やや不十分である。	
サ	地方分権	34	10	15	(41)	地方分権についての理解が、やや不十分である。	

第3学年 2 歴史的分野・地理的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
5	ア	第一次世界大戦までの世界の動き	(56)	19	13	13	第一次世界大戦までの世界の動きについての判断が、やや不十分である。
	イ	第一次世界大戦における日本の外交	9	56	23	(13)	第一次世界大戦における日本の外交についての判断が、不十分である。
	ウ	国際連盟の設立	18	(61)	11	11	国際連盟についての理解が、一応できている。
	エ	男子普通選挙	12	13	31	(44)	男子普通選挙の実施時期についての判断が、やや不十分である。
	オ	軍部の台頭	14	25	(36)	25	軍部の台頭について、資料を読み取る技能が、やや不十分である。
	カ	太平洋戦争	6	6	10	(78)	太平洋戦争末期の戦況についての理解が、一応できている。
	キ	国家総動員法	(40)	21	21	19	国家総動員法について、資料を読み取る技能が、やや不十分である。
6	ア	戦後の民主化政策	17	(38)	19	26	戦後の民主化政策についての理解が、やや不十分である。
	イ	戦後の世界の出来事	22	24	(33)	22	戦後の世界の出来事についての判断が、やや不十分である。
	ウ	日本国憲法と関連法令	12	10	(60)	19	日本国憲法と関連法令についての判断が、一応できている。
	エ	サンフランシスコ講和会議	(48)	15	20	18	サンフランシスコ講和会議の内容についての判断が、やや不十分である。
	オ	日米安全保障条約	4	(87)	5	4	日米安全保障条約の内容についての判断が、十分できている。
	カ	冷戦後の社会の流れ	(45)	8	25	23	冷戦後の社会の流れについての判断が、やや不十分である。
7	ア	世界の気候	10	18	(59)	14	世界の気候について、資料を読み取る技能が、やや不十分である。
	イ	世界の人口	(67)	15	12	7	世界の人口について、資料を読み取る技能が、一応身についている。
	ウ	世界の宗教	13	(58)	5	24	世界の宗教についての理解が、やや不十分である。
	エ	特色ある地形	3	1	20	(76)	特色ある地形についての理解が、一応できている。
	オ	日本の気候の特色	季節風 (58)	その他 17	無答 25		日本の気候の特色についての理解が、やや不十分である。誤答例 偏西風、台風
	カ	日本の交通	(75)	6	9	11	日本の交通について、資料を読み取る技能が、一応身についている。
	キ	新しいエネルギー	0	2	(98)	0	新しいエネルギーについての理解が、十分できている。
	ク	日本の工業	5	8	(81)	6	日本の工業について、資料を読み取る技能が、十分身についている。
	ケ	エネルギーと鉱産資源	27	(61)	5	6	エネルギーと鉱産資源についての判断が、一応できている。
	コ	日本の米の生産量と在庫量の変化	5	(59)	15	21	日本の米の生産量と在庫量の変化について、資料を読み取る技能が、やや不十分である。
サ	日本の食糧問題	(87)	3	4	5	日本の食糧問題についての判断が、十分できている。	
シ	日本の林業	4	6	5	(84)	日本の林業についての判断が、十分できている。	

5. 各分野の作問の意図と考察

第1学年

歴史的分野

「原始・古代の日本と世界」に関して、各時代の特徴や社会のしくみについて、カード形式の略地図や資料をもとに出題した。各時代を特徴づける資料を読み取る問題について、縄文時代については一応できているが、略地図と資料から外交関係を読み取る問題については正答率がやや低かった。また弥生時代や古墳時代について、思考・判断を必要とする問題では正答率が高かった。

「古代の日本と世界」に関しては、各時代の特色や社会の様子について、略年表をもとに、正しく判断し理解しているかをみることをねらいとして出題した。各時代の政治についての知識は定着しているものの、奈良時代から平安時代に政治が移行する部分については理解がやや不十分であった。また奈良時代の農民の生活や荘園の成立過程についての判断はやや不十分であった。さらに、仏教を中心とする文化については、その理解が不十分であることがわかった。

「中世の日本と世界」に関しては、鎌倉時代と室町時代についての二つの資料をもとに、その時代の特色やしくみについて正しく理解し、判断しているかをみることをねらいとして出題した。元寇や下剋上の風潮についての理解は比較的正答率が高かったが、鎌倉幕府の封建制度についての理解はやや不十分であった。鎌倉仏教や室町時代の貿易・産業について判断する問題では、正答率がやや低かった。

全体的に各時代を特徴づける道具・建造物・人物などの知識を問う問題は、概ね理解されているが、奈良時代から平安時代、平安時代から鎌倉時代といったような時代の転換に関わる問題、産業や土地制度について判断する力を問う問題の正答率が低かった。また、特に仏教を中心とした文化面の知識についてもやや不十分であることがわかった。

平成24年度に全面実施される学習指導要領において、歴史的分野では、『その時代を大観』し『焦点や脈絡を持った自分の言葉で表現』することが求められる。また、『事象間や地域間の関連』『宗教に関する一般的な教養』『具体的な事柄を通じて受け継がれてきた伝統や文化への関心』といった学習内容も重視されている。これらを踏まえ、より精選された複数の資料を相互に関連づけながら、政治面にとどまらない経済面などの時代背景や条件まで絡めて考え、『つまりこの時代は』『この時代を代表するものは』と、言葉や図などで表したり、互いに意見交換したりする学習活動をすすめる必要があると考えられる。

地理的分野

「世界の地域構成」では、実際の面積と地図上に表現された大きさとの違い、緯度と経度、時差、地球上の位置と季節の関係についての基礎的な知識や技能、考察する力をみることをねらいとして出題した。時差を計算する技能は概ね定着していると思われるが、緯度と経度の読み取りや、季節との関係を判断する力がやや不十分であった。地図の特性や活用の仕方についての理解が不十分であると言える。

「国々の構成と地域区分」では、世界の州と大陸、国々の構成、国境線、島国、統計資料の読み取りについての基礎的な知識や技能、考察する力をみることをねらいとして出題した。基礎的な知識は概ね定着していると思われるが、統計資料から必要な情報を読み取り、活用する技能がやや不十分であった。

「日本の姿」では、日本の位置と範囲、領域と排他的経済水域、都道府県の構成と地方区分についての基礎的な知識や技能、考察する力をみることをねらいとして出題した。日本の範囲や都道府県についての知識は概ね定着していると思われるが、緯度・経度からみた日本の位置と、領空についての理解がやや不十分であった。

「身近な地域」では、地形図の基本的な読み取りと、雨温図、身近な地域の調査のすすめ方についての基礎的な知識や技能、考察する力をみることをねらいとして出題したが、概ね定着していると思われる。

地理的分野では、基礎的な知識は概ね定着しているが、世界全体を大観しつつ、諸地域を「地球上の一地点」としてとらえる経験が不足していると思われる。また、地図や資料から必要な情報を読み取る技能や、他の知識・情報と結びつけて判断する力が不十分であると思われる。早い段階から、地図と地球儀をセットにして活用させたり、「北」が「上」になっていない地図や統計資料、写真資料などの多様な教材を用いたりするなど、複数の資料や情報、知識を結びつけて多面的・多角的に考え判断させる場面を、授業展開の中に組み込んでいく必要があると思われる。

第2学年

歴史的分野

「近世の日本と世界」に関しては、各時代の特色やしぐみについて、資料などと結びつけて正しく判断し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。歴史的事象についての知識は概ね定着しているが、新航路の開拓、江戸時代の人口分布に関する理解や資料の読み取りについては、正答率が低く今後の課題となった。

「17～19世紀の日本と世界のできごと」に関しては、略年表をもとに、政策や外交、社会の様子などを正しく判断し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。江戸時代の改革や諸産業の発達、アヘン戦争後の影響に関する理解について、正答率が低かった。

「近代日本の歩み」に関しては、明治時代の諸政策や外交関係について正しく理解し、判断しているかをみることをねらいとして出題した。尊王攘夷運動や新政府の諸改革についての知識は概ね定着しているものの、外交関係に関して思考・判断を必要とする問題では理解がやや不十分であった。

全般的に歴史的事象についての基礎的・基本的な知識を問う問題は、概ね理解されている。しかし、因果関係やその後の影響、また諸外国との関係などを相互に関連づけ、歴史の流れを大観しながら、時代の特色を多面的にとらえる視点にやや欠けている結果となって現れた。学習課題にせまる精選された資料の読み取りから、歴史的事象について一人一人の生徒が考え判断し、話し合い活動を通して前史との相違やその後のつながりなどを、地図を用いて考察させたり、関連図を作成し表現する活動を行ったりするなど、互いの考えを深める学習をより多く取り入れていく必要があると考えられる。

地理的分野

地理的分野については、都道府県や世界の国々について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることに重点をおいた。

日本地理に関しては、「神奈川県」、「三重県」を取り上げた。

「神奈川県」については、各問において正答率が高く、資料選択・読み取りや理解が一応できていることから、「神奈川県」についての基礎的・基本的な知識が定着し、資料を読み取る力がついていることがわかる。

「三重県」については、県庁所在地についての理解が他の問題と比べて正答率が低かったものの、自然環境や産業の特色についての資料の読み取りが一応できている。

世界地理に関しては、「中国」、「アメリカ」を取り上げ、比較できるような出題をした。

「中国」については、農業・工業・日本との結びつきを資料から読み取る問題の正答率が低かった。一方で、民族構成や歴史についての理解や資料の読み取りは十分にできていた。

「アメリカ」については、気候を資料から読み取る問題の正答率が低かった。一方で、アメリカ大統領の名を問う問題の正答率は高く、マスコミの影響もあるだろうが、アメリカ社会の様子について興味関心が高いことを示している。

二か国を比較し考察する問題の正答率が低かった。一か国で理解できていることでも、複雑な思考が必要となると、容易ではないことがわかる。

全体を通しては、一つの資料から読み取ることはできても、複数の資料から判断する問題になると正答率が低くなる。また、資料の中でも地図から読み取る力が低いため、空間的な把握に欠けているのではないかとと思われる。

今後の授業では、小テストなどを活用して基礎的・基本的な知識の定着をはかるとともに、一つの題材に対し複数の資料を使って資料の見方を身につけ、さらにそこから発展させ調べて発表する活動を取り入れ、お互いに調べたことの相違点やその理由を考えさせるなど、複数の要素を関連づけて思考させていくことが大切である。

第3学年

公民的分野

「移り変わる社会とわたしたちの暮らし」について、高度経済成長、公害問題、日米貿易問題の内容を適切に判断し理解しているかをみることをねらいとして出題した。よく理解されていた。

「社会のなかで生きる」について、資料を正しく読み取り、理解しているかをみることをねらいとして出題した。資料の表現している内容を読み取る技能が、十分身についていた。

「暮らしのなかで生きる憲法」について、その内容を適切に判断し、資料の読み取りを通して、理解しているかをみることをねらいとして出題した。市民革命期の思想家は十分理解できており、ワイマール憲法、平等権、公共の福祉などの語句の暗記は一応理解ができているが、大日本帝国憲法、社会権、平和主義、天皇の国事行為のように、内容を問う問題に対して正しく理解することが、やや不十分であった。

「暮らしとつながる政治」について、その内容を適切に判断し、資料の読み取りを通して、理解しているかをみることをねらいとして出題した。ここでも行政改革、国会の種類、裁判制度、裁判の手続きなどの語句の暗記と資料の読み取りは一応理解し、身につけているが、選挙制度、衆議院の優越、議院内閣制、地方公共団体の仕事としくみ、地方分権のように内容を問う問題に対して正しく理解することが、やや不十分であった。国会の仕事については、語句を正しく理解することができず、不十分であった。

全体的に資料の読み取りや語句を問う問題では、正答率が高くなるが、内容を問う問題やすでに学んだ知識を応用し解く問題では、正答率が低くなる傾向がみられた。今後は、語句の暗記で終わらせるのではなく、実際の生活の中で起こる出来事を新聞や地域の広報誌から教材として取り上げ、生徒にとって覚えた語句が身近な社会でどのように使われているかを、まとめ整理させる必要があると考えられる。

歴史的分野

「二つの世界大戦と日本」について、世界や日本の動きを考察し、資料から読み取り、正しく理解しているかをみることをねらいとして出題した。知識を問う問題は一応理解されているようだが、時代の流れや時代背景を問う問題については理解が不十分であった。

「現代の日本と世界」について、戦後の日本の様子や国際社会について、正しく判断し、適切に考察し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。戦後の民主化政策や世界の出来事、サンフランシスコ講和会議や冷戦後の社会の流れについての理解が不十分であった。

全体的に知識を問う問題では一応理解されているが、資料にもとづいて時代の流れや時代背景、歴史的な出来事を問う問題では正答率が高くない。

そのことを克服していくためには、それぞれの時代の特色をつかむ授業構成が重要になると思われる。具体的な例として、前の時代との比較の中で時代の特色を考える学習や、前の時代との違いや転換点をとらえる学習を取り入れていくことが考えられる。

地理的分野

「世界と比べてみた日本」について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。世界の気候に雨温図や宗教の分布、エネルギーと鉱産資源についての理解がやや不十分であった。

日本を気候・人口密度・交通からみて、資料を正しく読み取り、理解しているかをみることをねらいとして出題した。日本の気候の特色についての理解が不十分であった。

日本の農業について、資料を正しく読み取り、理解しているかをみることをねらいとして出題した。日本の米の生産量と在庫量の変化についての理解が不十分であった。

全体的には、資料を読み取ることができているが、複数の資料を関連づけて読み取る力がやや不十分であるように思われる。

日常の授業においては資料をていねいに読み取らせ、さまざまな角度から資料の表していることを考えさせる学習を展開していくことが重要になると思われる。

6. 指導にあたって

平成 21 年度の学習診断テストの結果を分析して、学習指導の課題として見えてくると、その改善のための指導の留意点を、分野別に記したい。

(歴史的分野)

全学年を通して、一問一答形式などによる歴史的事象を問う問題は、概ねよくできている。しかし、歴史の流れや、時代の特色をつかむ問題、諸外国との関係から歴史の流れや特色をつかむ問題の正答率が低かったように思われる。

指導の留意点としては、時代の流れや特色をつかむための指導の工夫をはかることがあげられる。具体的には、前の時代との比較の中で時代の特色を考える学習や、前の時代との相違点や転換点を調べて考察する学習などが考えられる。また、比較的政治史に対する理解はできているが、人々の生活の様子の変り変わりや、文化の特色に対する理解ができていない傾向にあるように思われる。時代の特色をつかむ学習を展開する際に、そうした視点も盛り込んでいながら、いろいろな角度から見ていく必要があると考える。

作問においても、時代の枠をこえたテーマ史に関する問題や、政治と経済をからめた問題を出題することによって、さまざまな視点から時代の特色をつかむ学習活動を意識したものを取り入れていきたい。

(地理的分野)

1 年生では地球儀と地図の違いや、それらからさまざまな情報を読み取る技能が、2 年生では複数の資料を関連づけて情報を読み取る技能が不足しているように思われる。

指導の留意点としては、まず 1 年生では、小学校の地理学習との連携を踏まえながら、中学校の社会科学習の入り口として、地図や地球儀などを十分活用することによって、地図を使いこなす技能や、資料から必要な情報を読み取る技能など、3 年間の基礎となる力を身につけさせる学習活動が必要になってくると考えられる。2 年生では、複数の資料から共通点や相違点を発見する学習活動などを通して、さまざまな資料や情報を関連づけて地理的な見方や考え方を身につけさせる学習活動を取り入れたい。そして、問題解決的な学習形態を取り入れ、課題を追求する過程でそれまで学習してきたいろいろな情報を結びつけていく学習活動を展開していきたい。

作問においても、地理的な見方や考え方が身につくような資料や地図を精選して出題していきたい。

(公民的分野)

語句そのものを問う問題はよくできているが、語句が意味している内容を問う問題になると、正答率が低下する傾向がみられた。例えば、「社会権」という語句は答えられるが、「社会権」の事例にあてはまるものを選ぶ問題になると、正答率が低下するということである。

指導の留意点としては、実際の社会生活の中で学習課題を設定して、知識としてだけではなく、実生活に結びつけた問題としてとらえるような学習活動を展開していくことが大切になってくる。そのためには、社会でおきているさまざまな出来事を教材化する工夫が必要になると思われる。また、新聞やニュースなどを活用したり、身近な地域の問題を取り上げる学習が有効になってくると考えられる。

作問においても、時事的な事象を取り上げながら、社会でおきていることを身近なものとしてとらえることのできる問題を出題していきたい。

平成 21 年度

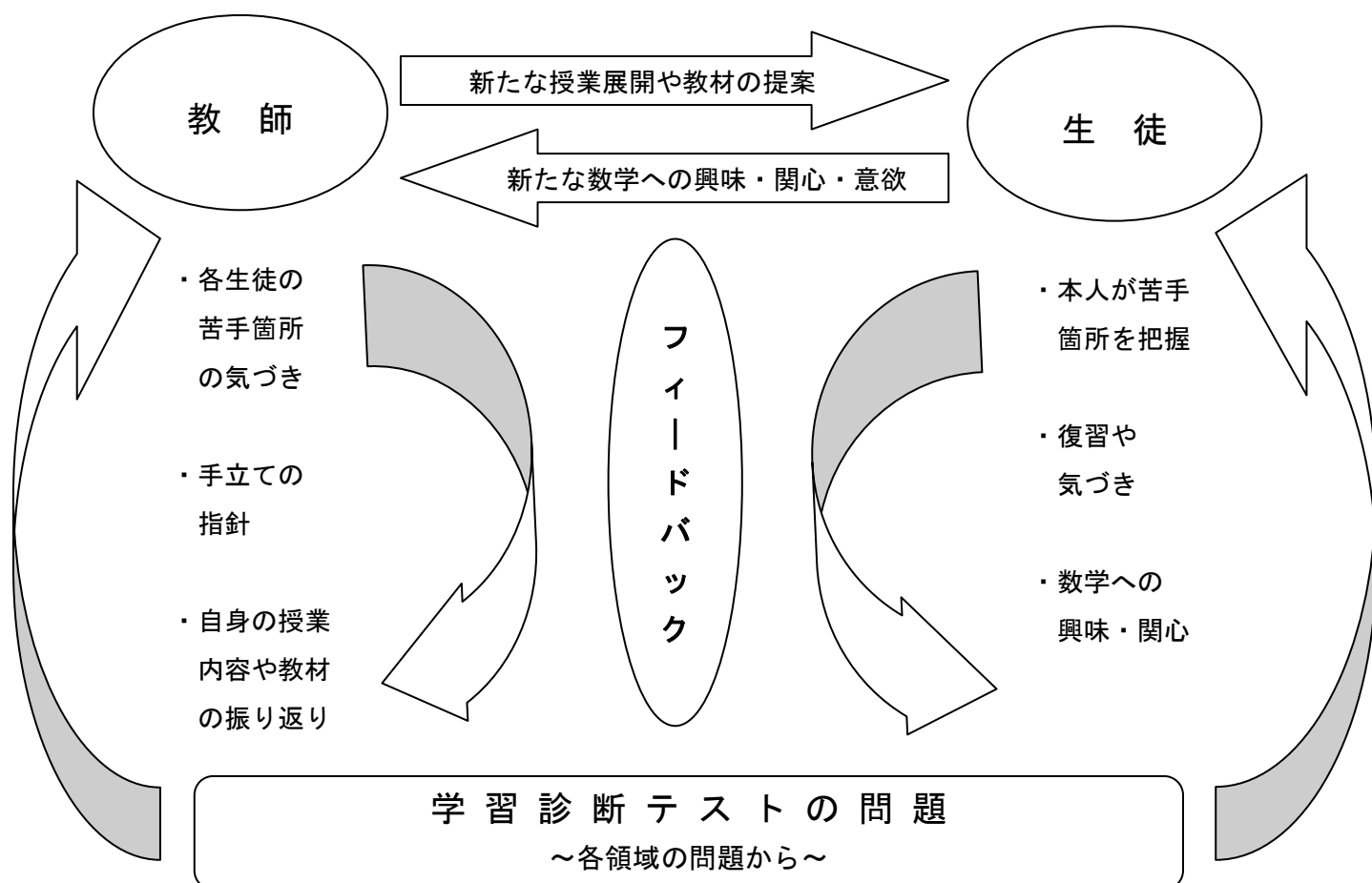
川崎市立中学校 学習診断テスト 数 学 科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
数学科調査委員会

1. 作問にあたって

- 学習診断テストの趣旨をふまえて現学習指導要領にある各領域の内容について、
 - ①基本的な事項がどの程度理解されているのか、
 - ②理解が不十分であるならば、どこで、どのようなつまずきがあるのか、
 の、上記2点が教師と本人の双方が診断できるよう留意した。
- 問題の難易度については幅広く出題し、単に知識として覚えているからできるというものではなく、なぜそのようになるのかと理論や理屈も大事にし、数学的な見方や考え方がどの程度自らの言葉で表現・処理できるのかも見られるようにした。
- 形式については、今までの傾向を重んじながらも新学習指導要領も意識しながら、今現在求められている数学の力が身につけられるようにした。また、文章表現については、現在使用の教科書に準ずることにした。
- 範囲については、例年と同様に前学年の既習事項と現学年の履修事項とし、無理なく各学校で学習できるようにした。
- 数学への関心・意欲・態度については、試験の答案からのみ評価するのは困難と考え、出題や観点へ加えなかった。
- 復習用の手立てのプリントも作成して、年度内に再度定着できるようにした。



2. 出題のねらい

問題	1 年	2 年	3 年
問 1	【正の数・負の数の計算】 ・正の数・負の数の四則計算をすることができる。〔表現・処理〕	【文字式の計算】 ・単項式や多項式の四則計算ができる。〔表現・処理〕	【展開】 ・乗法公式を使って、式を展開することができる。〔表現・処理〕
問 2	【数の大小・絶対値】 ・正の数・負の数の大小関係を、不等号を用いて表すことができる。〔表現・処理〕 ・絶対値の意味を理解している。〔知識・理解〕 【数の集合】 ・数の集合と四則計算の可能性を理解している。〔知識・理解〕	【等式の変形・式の値】 ・数量の間の関係を表す式を目的に応じて変形することができる。〔表現・処理〕 ・与えられた文字式を的確に処理し、式の値を求めることができる。〔表現・処理〕	【因数分解】 ・式の形に着目して、共通因数による因数分解・公式による因数分解、及びその利用ができる。〔表現・処理〕
問 3	【正の数・負の数の意味】 ・正の数・負の数の表す意味を、日常生活の具体的な場面と結びつけて理解している。〔知識・理解〕	【連立方程式の解法】 ・加減法や代入法を用いて、連立方程式を解くことができる。〔表現・処理〕	【平方根の計算】 ・平方根の四則計算ができる。 ・分母に根号を含む式を、分母に根号を含まない形に直すことができる。〔表現・処理〕
問 4	【文字式の約束】 ・文字を用いた式を約束にしたがって適切に表すことができる。〔知識・理解〕	【連立方程式の利用】 ・文章問題から2元1次方程式を立式することができる。〔見方や考え方〕 ・2元1次方程式において、与えられた条件に適した解を求めることができる。〔表現・処理〕 ・立式した連立方程式を解き、その解が問題に適しているか判断し、問題を解決することができる。〔見方や考え方〕	【2次方程式の解き方】 ・2次方程式を、平方根の考えや因数分解を使って、問題に適した方法で解くことができる。〔表現・処理〕
問 5	【文字式の計算】 ・文字式の四則計算ができる。〔表現・処理〕	【中1の内容－比例・反比例】 ・比例、反比例の関係を表・式・グラフに表すことができる。〔表現・処理〕 ・比例、反比例の特徴を表・式・グラフを関連づけて考えることができる。〔見方や考え方〕	【2次方程式の利用】 ・文章題から数量の間の関係を2次方程式に表すことができる。〔見方や考え方〕 ・2次方程式の解の適否を説明し、問題を解決することができる。〔見方や考え方〕
問 6	【文字式の立式】 ・事象の中にある数量や、数量の関係を見出し、それを文字式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。〔表現・処理〕	【中1の内容－空間図形・平面図形】 ・基本的な立体の体積を求めることができる。〔知識・理解〕 ・空間図形を平面図形上に表現して性質を読み取ること。〔見方や考え方〕 ・基本的な作図のしかたとその性質を理解し問題解決に活用できる。〔見方や考え方〕	【中2の内容－円周角と中心角】 ・円周角と中心角の関係をj用いて、角の大きさの求め方を見出すことができる。〔見方や考え方〕 ・円周角と中心角の関係を理解している。〔知識・理解〕
問 7	【式の値】 ・式の値の意味や代入の意味を理解している。〔知識・理解〕 ・式の値を求めることができる。〔表現・処理〕	【平行線と角・多角形の角】 ・平行線や三角形の角、多角形の角に関する性質を利用して、角の大きさを求めることができる。〔表現・処理〕	【中2の内容－確率】 ・樹形図や表を利用して、場合の数を順序よく整理し、簡単な場合について確率を求めることができる。〔表現・処理〕
問 8	【1次方程式の解法】 ・等式の性質を使って、1次方程式を解くことができる。〔表現・処理〕	【三角形の合同】 ・三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であることを証明することができる。〔見方や考え方〕	【中2の内容－1次関数の利用】 ・1次関数のグラフを的確に読み取ることができる。〔知識・理解〕 ・1次関数のグラフから具体的な事象を読み取ることができる。〔見方や考え方〕 ・1次関数で表される事象を、グラフで表すことができる。〔表現・処理〕
問 9	【1次方程式の利用】 ・文章題から1次方程式を立式することができる。〔見方や考え方〕 ・解が問題に適しているか判断し、問題の答えが求められる。〔見方や考え方〕	【課題学習（読解力を問う問題）】 ・与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価する。〔見方や考え方〕 ・数学的な表現を用いて、自分の考えを述べるることができる。〔見方や考え方〕	【中2の内容－平行四辺形に関する論証】 ・平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。〔見方や考え方〕
問 10	【小学校－比例・図形の計量】 ・比例関係にある2つの数量について、それらの関係を考察することができる。〔表現・処理〕 ・比例のグラフをかくことができる。〔表現・処理〕 ・基本的な図形の面積の求め方を理解し、それを用いて図形の面積を求めることができる。〔表現・処理〕		【相似な図形】 ・円の性質を用いて、2つの三角形が相似であることを証明することができる。〔見方や考え方〕 ・相似な図形の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。〔表現・処理〕
問 11	【課題学習（読解力を問う問題）】 ・与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価する。〔見方や考え方〕 ・数学的な表現を用いて、自分の考えを述べるることができる。〔見方や考え方〕		【課題学習（読解力を問う問題）】 ・与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価する。〔見方や考え方〕 ・数学的な表現を用いて、自分の考えを述べるることができる。〔見方や考え方〕

3. 小問ごとの観点・ねらい・正答率

中学校第1学年数学

No	問題番号		正答 (選択式・番号、記述式・言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	中間		小問	数学的な見方 や考え方	数学的な表現・処理			
1		①	-4			◎	①正の数・負の数の計算		83
2		②	-7			◎		正の数負の数の四則計算をすることができる。	87
3	1	③	9			◎			38
4		④	26			◎			55
5		⑤	-15/2			◎			58
6		①	-6/5>-1.5			◎		正の数負の数の大小関係を、不等号を用いて表すことができる。 絶対値の意味を理解している。	62
7	2	②	B, C, A			◎		数の集合と四則計算の可能性を理解している。	83
8		③	工			◎			63
9		④	B			◎			55
10		①	13(人)			◎		正の数・負の数の表す意味を、日常生活の具体的な場面と結びつけて理解している。	77
11	3	②	サッカー(部)			◎			87
12		③	-3			◎			56
13	4	①	-a ² b			◎		文字を用いた式を約束にしたがって適切に表すことができる。	59
14		②	x/4+3y			◎			67
15		①	-3x+7			◎		文字式の四則計算ができる。	68
16	5	②	-4x+6			◎			43
17		③	5x-2			◎			50
18		①	3x			◎		算数の中にある数量や、数量の関係を見出し、それを文字式で表したり、式の意味を読み取りたりすることができる。	47
19	6	②	120x+600-y			◎			66
20		③	7			◎		式の値の意味や代入の意味を理解している。 式の値を求めることができる。	48
21	7	①	10			◎			64
22		②	1020(ヘクトパスカル)			◎			27
23		①	x=-5			◎			82
24		②	x=3/4			◎			60
25	8	③	x=-2			◎		等式の性質を使って、1次方程式を解くことができる。	72
26		④	両辺に4をかける 2(3x-1)=x+3 6x-2=x+3 6x-x=3+2 5x=5 x=1			◎			54
27	9	①	Aさん…x+(x-12)=138 Bさん…(x+12)+x=138			◎		文章題から1次方程式を立式することができる。 解が問題に適しているか判断し、問題の答えが求められる。	34
28		②	(和食)75(人)、(洋食)63(人)			◎			49
29		7	60			◎		比例関係にある2つの数量について、それらの関係を考察することができる。 比例のグラフをかくことができる。	79
30	10	①	25			◎		基本的な図形の面積の求め方を理解し、それを用いて図形の面積を求めることができる。	81
31		グラフ	(グラフ略)			◎			81
32		②	86(cm ²)			◎			58
33	11	①	武蔵小杉(駅から)府中本町(駅まで)			◎		与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価する。 数学的な表現を用いて、自分の考えを述べることができる。	75
34		②	20.4 (説明略)			◎			38

◎…主たる観点

中学校第2学年数学

No	問題番号		正答 (選択式→番号、記述式→言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	中間		小問	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理			
1		①	$5x^2+7x$			◎	①文字式の計算	単項式や多項式の四則計算ができる。	84
2	1	②	$x+5y$			◎			80
3		③	$18x^2$			◎			62
4		④	$1/2$			◎			33
5		①	$(a=7+3b)/2$			◎	②等式の変形・式の値	数量の間の関係を表す式を目的に応じて変形することができる。 与えられた文字式を的確に処理し、式の値を求めることができる。	62
6	②	-32			◎			43	
7		①	$(x=2)(y=3)$			◎	③連立方程式の解法	加減法や代入法を用いて、連立方程式を解くことができる。	81
8	3	②	$(x=1)(y=2)$			◎			71
9		③	$(x=)-5(y=8)$			◎			63
10		①	$2x+3y=118$			◎	④連立方程式の利用	文章題から2元1次方程式を立式することができる。 2元1次方程式において、与えられた条件に適した解を求めることができる。 立式した連立方程式を解き、その解が問題に適しているかを判断し、問題を解決することができる。	67
11	4	②	50(本)			◎			79
12		③	(左から)4(本)、12(本)			◎			57
13		①	$(y=-2x)$			◎			47
14		(1)	(略)			◎	⑤比例・反比例	比例、反比例の関係を表・式・グラフに表すことができる。 比例、反比例の特徴を表・式・グラフを関連づけて考えることができる。	64
15	5	①	$(7)-4(-1)6$			◎			85
16		②	-6			◎			51
17		①	3(倍)			◎	⑥空間図形・平面図形	基本的な立体の体積を求めることができる。 空間図形を平面図形上に表現して性質を読み取ること。 基本的な作図のしかたとその性質を理解し、問題解決に活用できる。	52
18	6	②	7			◎			83
19		③	(略)			◎			34
20	7	①	38(度)			◎	⑦平行線と角・多角形の角	平行線や三角形の角、多角形の角に関する性質を利用して、角の大きさを求めることができる。	63
21		②	36(度)			◎			50
22	8	①	1 BA=BD			◎	⑧三角形の合同	三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であることを証明することができる。	46
23		②	1			◎			49
24	9	①	5.9			◎	⑨課題学習	与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価する。 数学的な表現を用いて、自分の考えを述べる。	34
25		②	280 (考え方略)			◎			12

◎…主たる観点

中学校第3学年数学

No	問題番号		正答 (選択式・番号、記述式・言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		数学的な見方 や考え方	数学的な表現・処理	数量・図形など についての知識・理解			
1		①	$2ab + 2a - 3b - 3$		◎		展開	乗法公式を使って、式を展開することができる。	89
2	1	②	$9x^2 - 12xy + 4y^2$		◎		①展開		83
3		③	$4x - 15$		◎				73
4		①	$2a(5a - 4b)$		◎		②因数分解	式の形に着目して、共通因数による因数分解・公式による因数分解、及びその利用ができる。	83
5	2	②	$(x-4)(x+6)$		◎	○			86
6		③	$3(2x-1)(2x+1)$		◎	○			43
7		①	$-\sqrt{5}$		◎		③平方根の計算	平方根の四則計算ができる。 分母に根号を含む式を、分母に根号を含まない形に直すことができる。	78
8		②	$5\sqrt{2}$		◎				76
9	3	③	$2\sqrt{21}$		◎				57
10		④	$2\sqrt{6}$		◎				70
11		①	$x = \sqrt{7}, x = -\sqrt{7}$ (x=がなくても可)		◎				69
12		②	$x = 0, x = 5$ (x=がなくても可)		◎		④2次方程式の解き方	2次方程式を、平方根の考えや因数分解を使って、問題に適した方法で解くことができる。	61
13	4	③	$x = -2, x = 3$ (x=がなくても可)		◎				71
14		④	$x = -3 \pm \sqrt{5}$ (x=がなくても可)		◎				64
15		①	ㄱ		◎				41
16		(1)	$(x-10)(x-2)$ または $x^2 - 12x + 20$		◎		⑤2次方程式の利用	文章題から数量の間の関係を2次方程式に直すことができる。 2次方程式の解の適否を説明し、問題を解決することができる。	33
17		理由	(略)		◎				
18		答え	20(cm)		◎				47
19	6		25(度)		◎	○	⑥円周角と中心角	円周角と中心角の関係を用いて、角の大きさの求め方を見出すことができる。 円周角と中心角の関係を理解している。	38
20		①	10(通り)		◎		⑦確率	樹形図や表を利用して、場合の数を順序よく整理し、簡単な場合について確率を求めることができる。	31
21		②	3/5		◎	○			23
22		①	1200(m)		○	◎	⑧1次関数の利用	1次関数のグラフを的確に読み取ることができる。 1次関数のグラフから具体的な事象を読み取ることができる。 1次関数で表される事象を、グラフで表すことができる。	55
23		②	(略)		◎	○			55
24		③	1500(m)		◎	○			42
25		a	$\angle ADM = \angle EOM$		◎	○			49
26		理由I	ㄱ		◎	○	⑨平行四辺形に関する論証	平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	50
27		b	AM=EM		◎	○			53
28		理由II	ㄱ		◎	○			60
29		①	(略)		◎	○	⑩相似な図形	円の性質を用いて、2つの三角形が相似であることを証明することができる。 相似な図形の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。	30
30		②	4(cm)		◎				63
31		①	イ、1250(円)		◎		⑪課題学習	与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価する。 数学的な表現を用いて、自分の考えを述べるることができる。	36
32		②	町田と厚木の距離(が)7.7(km長い) (理由略)		◎				

◎…主たる観点

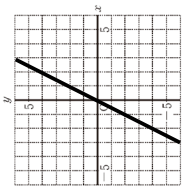
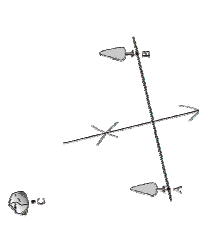
4. 誤答分析と考察 1学年

問	問小	正 率 答	誤 率 答	無 誤 率 答	誤答例	%	誤答例の考察
1	①	83	16	1	-8	8	(-6)+(-2)の考えで計算している。減法の計算の仕方を理解していない。
	②	87	12	1	-3	5	-5+(9-7)の考えで計算している。計算の順序及び、その符号について混同している。
	③	38	58	4	-9	32	(-3 ²)=9 と計算している。累乗の計算の符号を理解していない。 他に、(-3 ²)=6 とする誤答も見られた。
	④	55	42	3	-6	13	(8-6)×(-3)の考えで計算している。計算の順序を理解していない。
	⑤	58	26	16	$\frac{30}{-4}$	9	約分をしていない。その他、符号の誤りによる誤答が目立った。
2	①	62	30	8	$-\frac{6}{5} < -1.5$	11	負の項同士の大小関係を理解していない。分数を小数に直す方法を理解していない。
	②	83	14	3	CBA	5	絶対値ではなく、数の大きい順に並べている。その逆のABCとした誤答は4%いた。
	③	63	35	2	ウ	17	不等号「>」の意味や使い方、表記の仕方を理解していない。イとした誤答は16%いた。
	④	55	42	3	C	24	「整数」「自然数」の用語の意味やベン図での表現の仕方を理解していない。 Aとした誤答は18%いた。
3	①	77	19	4	5	4	野球部の昨年度の表の数値をそのまま書いている。 バスケットボール部の人数を基準としていることを理解していない。
	②	87	12	1	野球	10	符号にだけ注目し、昨年度と今年度とともにプラスである野球部を選んでいる。
	③	56	40	4	3	12	過不足を表す場合の、-の符号をつける意味を理解していない。
4	①	59	34	7	$-1a^2b$	27	文字式の表し方(1は表記しない)の約束を理解していない。
	②	67	22	11	$\frac{x+3y}{4}$	8	除法の分数での表し方を理解していない。他に、割る数を分子にする誤答例が多く見られた。
5	①	68	24	8	4x	11	$-3x+7=4x$ としている。
	②	43	45	12	$-4x-6$	10	割る際の符号を正確に処理できていない。 $8x-12 \div (-2)=8x+6$ は9%、 約分していない $-\frac{8x-12}{2}$ は7%いた。
	③	50	36	14	$5x+8$	13	分配法則や-()のここの処理を理解していない。 また、 $3(2x+1)=x+5$ として、方程式の解を答えているものが見られた。

											正方形の周の長さを答えている。 他に、 $3 \times x = x^3$ としているのが8%いる。 等式が作れていない。他に、「 \times 」をかいで等式の約束が守れていない式や、600を60とすするなど表記の誤りが見られた。
6	①	47	39	14	$4x$	10					
	②	66	21	13	$120x + 600y$	7					
	③	48	46	6	イ	32					
7	①	64	26	10	-1	8					代入した式を $-3-2+4$ として計算している。文字式の表わし方を理解していない。
	②	27	48	25	910	6					目についた数字と式を適当に組み合わせ $900+1000 \div 100$ を計算している。 問題の文章を読み取ることができない。
8	①	82	12	6	-9	4					$x = -7-2$ として計算している。移項した時に符号をそのままにしている。
	②	60	33	7	-1	13					$x = 3-4$ (移項のようなことをしている)として計算している。 等式の性質を理解していない。
	③	72	21	7	2	12					x の係数が負の数の場合に符号を無視している。
	④	54	32	14	解は正しいが途中式間違え	5					解く手順は理解しているが、途中の式を正しく書くことができない。
9	①	34	35	31	$x - 12 = 138$	15					(和食を希望した生徒) + (洋食を希望した生徒) = 138という数量関係を理解していない。 等式が作れず、左辺だけの式や、題意を理解していない $12x$ や $138x$ という式も見られた。
	②	49	28	23	和食69人 洋食57人	5					和食の人数を $138 \div 2 = 69$ 、洋食の人数を $69 - 12 = 57$ としている。 その他、和食と洋食の人数を逆に答えている生徒が4%いた。
10	①	79	13	8	120	4					表のアの右側の数値が $\dots 180 \dots 300$ となっていてるので、それらの数の差の120としている。 とも変わる2つの変数に着目していない。
	イ	81	12	7	20	9					表のイの左側の数値が $\dots 5 \dots 15$ とあるので、その数を足して20としている。 とも変わる2つの変数に着目していない。
	グラフ	81	10	9	折れ線にしている	4					ア、イを間違えたため、グラフが折れ線になっている。座標の点は取れている。
	②	58	22	20	面積の公式間違い、 小数の計算ミス など						正方形や円の面積の求め方を理解できていない。
11	①	75	18	7	武蔵小杉～登戸	5					表が意味することを読み取れていない。
	②	38	36	26	距離は正しいが説明不足 ①正答だが②は誤答	7					自分の考えを整理し、示すことができない。 表の枠がどの駅からどの駅の距離を表しているのか理解しているのが、表の数値が示す意味を理解できていない。

2学年

問	小問	正答率	誤答率	無答率	誤答例	%	誤答例の考察
1	①	84	13	3	$5x + 7x$	3	2乗をつけ忘れている。
	②	80	16	4	$x + 3y$	7	$-(x-y)$ を計算する際に、 y の項の符号を間違えている。
	③	62	33	5	$18xy$	12	$(-3y)^2$ において、指数計算の間違いをしている。
	④	33	48	19	$\frac{3}{6}$	8	約分を忘れている。
2	①	62	23	15	$a = \frac{7-3b}{2}$	5	$-3b$ を移項したときに、符号を変えていない。
	②	43	37	19	32	7	符号を忘れている。
3	①	81	14	6	$x=6, y=6$	3	x の値を求めるときに、 $6x=12$ から、 $x=6$ と計算間違いをしている。
	②	71	17	12	$x=7, y=4$	2	代入をしたときに、計算間違いをしている。
	③	63	28	10	$x=-1, y=2$	6	y の係数をそろえたあと、 y を消去するときの計算で間違いをしている。
4	①	67	19	14	$x+y=118$	6	P、Qから入る点数（2点、3点）を考えていない。
	②	79	12	9	13	2	問題の意味が理解されていない
	③	57	24	19	P : 12本, Q : 41本	2	PとQの点数を逆に書いた。

5	(1) ①	47	34	19	$y = 2x$	7	比例定数を求めるときに、符号を間違えている。
	②	64	24	12		4	符号を間違えて、グラフをかいている。
6	(2) ①	85	9	6	ア : 4, イ : 6	3	符号を間違えている。
	②	51	27	22	$x = -5$	10	対応表から考えて、計算ミスをしている。
	①	52	40	8	2	16	錐体の体積を理解していない。
	②	83	14	3	ウ	5	展開図を理解していない。
7	③	34	52	14		10	岩から5mの位置をどう表しているか理解していない。
	①	63	31	7	44度	4	平行線における錯角を理解していない。三角形の内角の和が180°を理解していない。
	②	50	33	17	45度	5	多角形の内角の和を理解していない。
8	①	47	46	7	ウ	20	共通な辺を理解していない。
	②	49	45	6	ウ	12	見た目で判断している。
9	①	34	47	20	6.5	11	すぐ下の値とその横の値を足してしまっている。(表を理解していない)
	②	33	28	39	240	10	単純に40円を足してしまっている。
	②の 考え	12	54	33	・距離と運賃は比例しているから。 ・40円ずつ上がっているから。 など		・比例の意味がわかっていない。 ・表を単純に見ている。

3学年

問	小問	正答率	誤答率	無答率	誤答例	%	誤答例の考察
1	①	89	10	1	$2ab + 2a - 3b - 2$	2	展開の最後の -3 と $+1$ との乗法を、加法とする。
	②	83	16	1	$9x^2 - 12xy + 4y$	4	最後の2乗を付け忘れている。
	③	73	24	3	-15	7	符号を間違えてしまって x の同類項を消去している。
2	①	83	10	7	$a(10a - 8b)$	2	共通因数を最後までくっつけていない。
	②	86	8	6	$(x - 6)(x + 4)$	4	符号を間違えている。
	③	43	38	19	$3(4x^2 - 1)$	16	因数分解の途中で終わっている。
3	①	78	17	5	$3\sqrt{5}$	5	平方根の計算が理解されていない。
	②	76	16	8	$2\sqrt{2}$	4	平方根の計算が理解されていない。
	③	57	25	18	$18\sqrt{21}$	4	根号部分 $\sqrt{15} \div \sqrt{5} \times \sqrt{7}$ と整数部分 3×6 をそれぞれ計算し、それを並べている。
	④	70	14	16	$3\sqrt{6}$	4	$\frac{18}{\sqrt{6}}$ の分母の有理化だけ行い、後半の $-\sqrt{6}$ の部分の計算を忘れている。
4	①	69	21	10	$x = \sqrt{7}$	4	2つの解があることを理解していない。
	②	61	21	18	$x = 5$	9	$x = 0$ も解であることを理解していない。
	③	71	15	14	$(x - 3)(x + 2)$	5	左辺の因数分解で終わっている。
	④	64	20	16	$x = 3 \pm \sqrt{5}$	4	最後の3を移項するところで間違えている。
5	(1)	41	48	11	ア	13	(容積) = (底面積) × (高さ)の公式をよく理解せずに選択している。
	①				イ	26	
					ウ	9	
6	②	33	30	37	$x(x + 8)$ または $x^2 + 8x$	6	題意より全体の長方形の(縦 x cmと横 $(x + 8)$ cm)の面積を計算している。
	(2)	47	16	37	紙に対して20cmは長い。 紙に対して-8cmは短い。	5	求めた解に対して、解を吟味するというところより感覚的に適するかどうか判断している。
6		38	44	18	30度	18	中心角60度を2で割っただけ。

7	①	31	65	4	20通り	9	重複するものも数えている。
	②	23	66	11	$\frac{1}{5}$	9	5教科の中から数学を選ぶ確率を求めている。
8	①	55	27	18	1600m	4	グラフを読めていない。
	②	55	29	16		10	Bさんは家に戻るのだが、距離が進んで、グラフの中でBさんの家を把握できていない。
	③	42	26	32	1200m	2	グラフを読めていない。
9	a	49	42	9	AM = EM	8	平行四辺形の性質を述べている。
	理由 I	50	44	6	イ	25	三角形の合同条件を理解できていない。
	b	53	30	17	DM = CM	6	仮定が何かを理解できていない。
	理由 II	60	30	10	カ	6	平行四辺形になるための条件が理解できていない。
10	①	30	46	24	根拠の(1)か(2)が正しく書けていない。または、書かれていない。	20	根拠を正しく説明できていない。
	②	63	17	20	5cm	8	計算を間違えている。
11	①	36	44	20	エ	9	問題文を理解できていない。
	②	1	42	57	「町田～厚木が7.7km長い」ができていて、理由がかけていない。	3	自分の考え方を文章で表すことができていない。

5. 全体的な考察

全体的には例年の傾向を無視せずに作成をし、難易度も変えずに出題した。難問・奇問やいわゆるひっかけ問題を出し、どこでひっかかったかを調べるのではなく、数学的にどこで・何につまずいているのかが診断でき、何をすればいいのか、何が分かればいいのかをフィードバックできるような問題にした。

これは生徒だけではなく、そのつまづきを見た教師が過去の授業を振り返り、今後どのような授業をしていくべきか、何に気をつけて授業を行うべきなのかの指針になるようにした。そこで、普段の授業で解説をするときにそのまま題材や教材として使用できるようにも配慮した。

また、最後の読解力を問う問題では各学年同様のものとし、他学年でも使用できるようにして、どの学年から取り組んでもいいように縦の繋がりも大事にした。

指導が重要と思われる事項について、各学年でまとめてみた。

1 学年

- ・計算順序、文字式の表し方、符号など、計算に必要な知識を定着すること
- ・問題の文章の意味を理解すること
- ・数学的な表現を用いて自分の考えを述べること（途中の式を正しく書くことや説明できることも）
- ・なぜそうなるのかが説明できること
- ・文章からだけではなく、式や表から数学的に読み取ること

2 学年

- ・指数や累乗の計算、等式の変形、代入ができること
- ・問題の文章の意味を理解すること
- ・関数の意味が理解できること
- ・作図の根拠が理解できること
- ・平行線の錯角や多角形の角などを用いて、角度を求めること
- ・数学的な表現を用いて自分の考えを述べること（途中の式を正しく書くことや説明できることも）
- ・なぜそうなるのかが説明できること
- ・文章からだけではなく、式や表から数学的に読み取ること

3 学年

- ・分配法則、因数分解、展開等、計算を定着すること
- ・2次方程式において解を吟味すること
- ・確率の考え方を理解すること
- ・関数については、表・式・グラフの3つのどれからも同様に読み取れること
- ・証明する際に根拠を示す必要性を理解すること
- ・数学的な表現を用いて自分の考えを述べること（途中の式を正しく書くことや説明できることも）
- ・なぜそうなるのかが説明できること
- ・文章からだけではなく、式や表から数学的に読み取ること

いずれの学年においても、単に「計算ができる」「公式を使える」という指導だけでなく、「数学的に物事をとらえ、表現する」ことを大切にされた授業作りが求められる。

6. 指導にあたって

指導にあたっての留意点

- ・基本的な計算（四則・累乗・指数・文字の演算）は繰り返し復習することで定着を図りたい。
- ・分配法則・展開・因数分解・方程式等も同様に定着させたい。
- ・単に計算ができる，公式を覚えればよい，機械的に手順を踏めばよい等，数学的な理屈や理論から離れずに授業を展開し，なぜそうなるのか，なぜそれが必要なのか，どうしてそうなるのか，どうしてそれが成り立つのか等，考えさせて納得できるような時間を授業中につくりたい。
- ・授業では教えることも大事だが，題材から自ら学ぶこと，感じることも同様に大事にしてもらいたい。
- ・知識がある，というだけでは解けない問題，または数学的な学力が十分ではない生徒にも対応できる問題を常に取り扱いたい。
- ・身の回りにある事柄と数学を結び付け，数学的に表現する活動を授業のなかに取り入れたい。
- ・評価の観点である「数学における関心・意欲・態度」を見とれるようなテスト問題を作成することによって，知識だけに頼らない力をつけさせたい。

指導事例

- ・基本的には，全ての問題から指導案が作れ，診断テストの解説をすることがそのまま授業に活かせるようにした。
特に文章問題はそのまま授業で扱い，細かな疑問や理論を解説してもらいたい。
- ・読解力を問う問題では，学年を問わず扱えるように配慮した。また，身の回りにも「数学的に考察する」ことができるような問題があると気づいてもらいたい。
- ・年度内に再度定着を図れるように，各学年用に手立ての復習プリントを作成した。
- ・証明の「間違い探し」のように，「書く」から「読む」ことでもより深い理解と読解力が身につくと考える。
- ・新指導要領にも目を向けてもらえるように補助テキストからも出題し，授業で詳しく扱ってもらえるようにした。
- ・式や表のあらわす意味を図や言葉で説明したり，数学的に表現することを授業でもたくさん扱ってもらいたい。

平成 21 年度

川崎市立中学校 学習診断テスト 理 科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
理科調査委員会

1. 作問にあたって

- (1) 学習診断テストの趣旨をふまえ、学習指導要領に示されている内容の基礎的・基本的事項が理解されているかどうか、また、どこにつまずきがあるかを判断できる問題になるよう努めた。
- (2) 基本的な科学概念や自然のしくみの理解について、わかりやすい表現で診断できる問題となるよう心がけた。
- (3) 「自然事象についての知識・理解」、「科学的な思考」、「観察・実験の技能・表現」、「自然事象に対する関心・意欲・態度」の4つの観点について、それぞれの「基礎・基本」について診断できる問題づくりに努め、「知識・理解」に偏ることのないように配慮した。
- (4) 観察・実験の技能・表現に関して、器具や操作についての知識だけを問う問題にならないように配慮し、実際の観察・実験が想起できるような展開になるよう努めた。
- (5) 科学概念と身近な現象や日常での体験の関連を意識し、獲得した概念の応用、適用という観点から思考力をみる問題の作成に努めた。
- (6) 各単元の学習内容、順序に配慮し、下位概念から無理なく問題に取り組めるようストーリー性をもった問題になるよう心がけた。
- (7) 国際学力調査（PISA・TIMSS）の結果を受け、「読解力」について診断できる問題を出題した。
- (8) 学習診断テストの趣旨をふまえ、各学校におけるこれからの学習指導の見直しに役立てることのできる問題づくりに努めた。
- (9) 各単元の内容量、学習配当時間を考慮し、幅広くほぼ全内容を網羅するように問題数を調整した。なお、出題範囲は各学年とも前年度11月から1年間（10月まで）の学習内容とした。
- (10) 小問どうしが関連し、連続的に正解をしないと解答できないような出題を避け、各小問が独立した問題となるように工夫した。
- (11) 新学習指導要領への移行期間になり、第1学年と第3学年で新しい指導内容が追加されたことをふまえ、追加項目は出題するように心がけた。

2. 出題のねらい

問題	1 年	2 年	3 年
問1	【光による不思議な現象】 ・光の反射や屈折の規則性を理解しているか。	【いろいろな物質とその性質】 ・いろいろな物質を区別することができるか。	【化学変化の規則性】 ・化学変化に関する物質の質量を測定する実験から、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを理解しているか。
問2	【光による不思議な現象】 ・凸レンズの性質や焦点、焦点距離の関係を理解しているか。	【いろいろな気体とその性質】 ・いろいろな気体の性質とその発生方法について理解しているか。	【力と運動】 ・記録タイマーを使って、運動の様子の調べ方を理解しているか。
問3	【音による不思議な現象】 ・音は空気中を振動して伝わることや、音の大きさや高さや振動のしかたの関係を理解しているか。	【物質の状態変化】 ・物質の状態変化について理解しているか。	【力と運動】 ・力と運動の関係について理解しているか。
問4	【力による不思議な現象】 ・力の種類と力がはたらいっているときの状態を理解しているか。	【水溶液の性質】 ・いろいろな水溶液の性質について理解しているか。	【仕事とエネルギー】 ・力学的な仕事や単位時間あたりの仕事（仕事率）について理解しているか。
問5	【力による不思議な現象】 ・ばねと加わる力は比例することを理解しているか。	【電気の性質】 ・異なる種類の物質どうしをまさつすると、静電気が発生することを理解しているか。	【仕事とエネルギー】 ・エネルギーについて、保存や変換を理解しているか。
問6	【力による不思議な現象】 ・大気圧や水圧は空気や水の重さによって生じるしゅみを理解しているか。	【電流の性質】 ・電流や電圧の性質について理解しているか。	【化学変化とエネルギー】 ・熱エネルギーが燃焼以外の化学反応で発生することを理解しているか。
問7	(全問削除)	【電流の利用】 ・電流のはたらきについて理解しているか。	【金属資源と酸素の化学変化】 ・金属元素と酸素の結びつきと、もともとの元素に戻す方法について理解しているか。
問8	【なかまをふやすしくみ】 ・身の回りの生物を観察することで、環境による生物の生活場所の違いと観察器具の使い方や記録のしかたを理解しているか。	【大地が火をふく】 ・火山の形、活動の様子およびその噴出物が、マグマの性質の違いからくることを理解しているか。	【水溶液とイオン】 ・電解質水溶液と2種類の金属を用いた化学電池について理解しているか。また、その際にイオンが関係していることを理解しているか。
問9	【なかまをふやすしくみ】 ・花のつくりとはたらきを理解し、なかまのふやし方や被子植物と裸子植物の違いを理解しているか。	【大地は語る】 ・地層の成因や堆積環境、生成年代などを推定することを通して、大地が変化していることを理解しているか。	【大気中の水】 ・雲のでき方や湿度について理解しているか。
問10	【栄養分をつくるしくみ】 ・根、茎、葉のつくりとそのはたらきについて理解しているか。	【大地がゆれる】 ・地震のメカニズムについて理解しているか。	【大気の動き】 ・気圧と天気に関連性を理解しているか。
問11	【水や栄養分を運ぶしくみ】 ・光合成の実験や、光合成について理解しているか。	【いろいろな生物】 ・セキツイ動物の特徴を理解しているか。	【大気の動きと天気の変化】 ・前線と天気に関連性や、天気の予測について理解しているか。
問12	【植物のなかまわけ】 ・植物を様々な特徴からなかま分けすることができるか。	【感覚と運動のしくみ】 ・消化と吸収のしくみについて理解しているか。	【細胞と生物の成長】 ・細胞のつくりと生物の成長について理解しているか。
問13		【生命を維持するはたらき】 ・血液の循環と血液中の成分の移動について理解しているか。	【生物のふえ方】 ・植物の有性生殖や無性生殖について理解しているか。
問14		【生命を維持するはたらき】 ・ヒトの感覚器官について理解しているか。	【遺伝の規則性と遺伝子】 ・遺伝の決まりや遺伝子について理解しているか。

3. 小問ごとの観点・ねらい・正答率と誤答分析 中学校第1学年理科

No.	問題番号		正答 (選択式一番号、記述式一言葉)	科学的な 思考	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問			観察・実 験の技 能・表現	自然事象 について の知識・ 理解			
1	a	2	2		◎		①光の性質	入射角と反射角の関係を理解しているか。 光が鏡ではね返るときの規則性を理解しているか。 異なる物質の境界面での光の進み方の規則性を理解しているか。	84
2	b	4	4	◎	◎				52
3	c	2	2	◎					26
4	d	光が全反射をおこしたため、屈折して空気 に出ていく光がなくなってしまうため。							30
5	a	20(cm)		◎					36
6	b	2		◎					46
7	c	(図略)		◎					40
8	a	1		◎			②音の性質	振動のしかたと音の関係を理解しているか。 音の大きさは物体の振幅に関係していることを理解しているか。 まさつ力があれば、いたときの状態を理解しているか。	56
9	b	3		◎					54
10	a	3(N)		◎			③力の種類	抗力がはたらいたときの状態を理解しているか。	20
11	b	机が元に戻ろうとして、物体に垂直に押し戻 そうとする重さと同じ大きさの抗力がはたら いたから。		◎					18
12	c	(図略)		◎					44
13	a	(図略)		◎					44
14	b	12~12.6(cm)		◎			④力の性質	はねの伸びと力の関係をグラフに表すことができるか。 フックの法則について正しく理解しているか。 質量と重さについて正しく理解しているか。	62
15	c	3		◎					44
16	a	缶の内側の気圧が下がり、外側との気圧の 差で缶がつぶれた。		◎			⑤圧力の性質	空気の重さによって、大気に圧力があることを理解しているか。 大気の圧力の大きさを求めることができるか。 水圧について正しく理解しているか。	28
17	b	2		◎					26
18	c	2		◎					48
19	a								
20	b								
21	c								
22	d								
23	a	1, 4		◎			⑥身近な植物の 観察	図から様々な生物が様々な場所で生活していることを読み取ることができるか。 ルーペの使用方法を理解しているか。	50
24	b	1, 2		◎					58
25	c	影をつけていない。 二重書きしていない。 点と細い線だけで書いている。		◎					76
26	a	5		◎					20
27	b	種子		◎			⑦種子植物の つくり	被子植物と裸子植物の花のつくりを理解しているか。 受粉後の胚珠の変化を理解しているか。	32
28	c	10(倍)		◎					56
29	d	風で(遠くに)運ばれやすくなるため。		◎					52
30	e	2		◎					70
31	a	葉の全面で日光を受ける。 ・日光が当たる面積を増やすため。 ・たくさん日光を受けるため。		◎				植物の葉のつき方と日光を受けやすくなっていることとの関連性を見いだすことができるか。	76
32	b	網状脈		◎					54
33	c	4		◎			⑧光養分をつく るしくみ	葉脈の様子から網状脈と判断できるか。 気孔は一般に葉の裏側に多いこととその役割を理解しているか。 被子植物の根と茎のつくりについて、理解しているか。	50
34	d	1		◎					42
35	e	4		◎					56
36	f	表面積を上げて水や養分を効率よく吸収す るのに役立っている。		◎					42
37	a	1		◎			⑨栄養分を運ぶ しくみ	光合成が葉のどこで行われているかを確かめるための実験操作を理解しているか。 実験内容を理解し、光合成が葉のどの部分で行われるかを考察できるか。 光合成や呼吸による気体の出入りについて理解しているか。	70
38	b	(図略)		◎					64
39	c	1		◎					58
40	d	3		◎					60
41	a	孢子		◎				シダ植物とコケ植物は孢子でふえることを理解しているか。	38
42	b			◎			⑩植物のなかま 分け	種子葉類と裸子植物の特徴を理解し、仲間分けをすることができるか。 イヌワラビの茎がどこであるかを理解しているか。 シダ植物とコケ植物のからだのつくりの違いを理解しているか。	34
43	c	6		◎					36
44	d	3		◎					36
45	e	8		◎					28

◎…主たる観点

第1学年					
大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
1	a	2	84	4 {入射角と反射角が等しくない} (12)	入射角と反射角が等しくなるという、基本的な反射の仕組みについては、十分理解がされている。また、屈折については学んだことを活用して結果を推論する力が十分ではない。全反射について言葉で説明する問題については、用語の意味を理解し、言葉を活用する力が不十分であるといえる。
	b	4	52	1 (16) 3 (18)	
	c	2	26	1 {ずれて見える方向が逆} (44)	
	d	光が全反射をおこしたため。屈折して空気に出て行く光がなくなってしまったため。	30	無答(42) 「屈折」の意味を間違えて説明しているもの(10)	
2	a	20 (cm)	36	40cm(16)	実験結果から、物体と同じ大きさの実像ができるときは、焦点距離の2倍の位置に物体があることへの理解が不十分である。実像の大きさと物体とレンズの距離の関係性についても理解が十分とはいえない。作図問題については無答が目立ち、虚像のでき方についての理解が十分とはいえない。
	b	2	46	1 (16) 3 (18) 4 (18)	
	c	(作図) 作図の線が正しく引けている点Aの位置が正しく表記	40	無答(20) 光の道すじの作図ミス(40)	
3	a	1	56	2 {はじく部分を長くするほど音は低くなる} (28)	aのはじく部分と音の高さの関係の問題は思ったよりも正答率が低かった。Bの音の波形についてもほぼ半数の理解であった。
	b	3	54	2 {横が長くなり、縦が短くなる} (29)	
4	a	3 (N)	20	5N (38) 2N (12)	まさつ力は、物体と物体がふれあう面ではたらき、物体の動きを止める向きにはたらく事について理解が必要である。また、抗力という力の意味を理解することも必要である。矢印で力を表す作図の問題についても矢印の長さが異なる解答が目立ち、正答率が50%を下回った。
	b	机が元に戻ろうとして、物体に垂直に押し戻そうとする重力と同じ大きさの抗力がはたらいたから。	18	無答(34) 作用点が異なる(10)	
	c	(作図) 矢印の向きと長さ	44	矢印の長さが異なる(38)	
5	a	(作図) グラフを正しく書き、測定点を記入する	44	グラフの延伸無し(22) 値の記入間違い(14)	グラフを書く問題については、線が短かったり、測定値の記入ミスが目立った。これは1年生で実験の数を重ねていないことも原因の1つと考えられる。力の大きさとばねののびとの関係は概ね理解がされている。重さと質量の違いについては理解が十分ではない。
	b	12~12.6 (cm)	62	11cm(6) 無答(6)	
	c	3	44	2 {重力・質量ともに変わらない} (28)	
6	a	缶の内側の気圧が下がり、外側との気圧の差でつぶれたことを説明する	28	「大気圧」等の語句の意味を間違えて使っている(28)	aの文章で説明をする問題は、「大気圧」や「気圧」を正しく用いていない誤答が目立っていた。また、 cm^3 から m^3 の変換など実際の測定値の計算に必要な力も理解が不足している。水圧のかかり方については理解が十分とはいえない。
	b	2	26	3 {800000N} (44) 4 {80000000N} (22)	
	c	2	48	1 {上が大きく凹む} (16) 3 {上下が大きく凹む} (28)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
8	a	1、4	50	1、2 {タンポポ、オオイヌノフグリ} (12) 1 {タンポポ} (8) 1、5 {タンポポ、オカダンゴムシ} (6)	図の読み取りはほぼ正解していたが、図中の多くの情報から総合して解答を導く力が不足している。スケッチのしかたの良い点の記述問題では、正答率は高いが、文章の表現力が足りないために減点となっているものもあった。ループの使用法は、概ね定着している。
	b	1、2	58	1 (16) 1、3 (6) 3 (4)	
	c	・二重書きしていない。 ・影をつけていない。 ・点と細い線だけで書いている。	76	・分かりやすいところだけかいている ・大まかにかいている ・中や外見が分かりやすい ・無答(6)	
9	a	5	20	3 (22) 4 (18) 2 (16)	種子植物の花のつくりの違いについて、言葉での知識は概ね定着しているが、その一方で、被子植物、裸子植物の図から、花のつくりの違いを判断する力が不足している。実物の植物の観察を通して知識を定着させていくことが重要である。 また、顕微鏡の拡大倍率についての正答率は50%を超えているが、光学機器等の活用を増やし、興味関心を深めさせたいところである。マツの花粉の空気袋については、裸子植物の花のつくりと、受粉する際の工夫という点を関連させて指導する必要がある。
	b	種子	32	・無答(16) ・果実(14) ・まつかさ(8)	
	c	10 (倍)	56	・100(8) ・2250(6) ・30(4)	
	d	風で (遠くに) 運ばれやすくするため。	52	・無答(26) ・花粉を入れるため ・くっつきやすいから ・空気中に長くいられるから	
	e	2	70	1 {被子植物は胚珠が子房に包まれていて、裸子植物は胚珠がない} (16) 3 (6) 4 (4)	
10	a	・葉の全面で日光を受ける。 ・日光が当たる面積を増やすため。 ・たくさんの日光を受けるため。	76	・無答(16) ・日光を均等に当てないと葉の大きさがバラつくから ・葉に栄養を均等に回しているから	植物の葉の付き方と日光を受けやすくすることの関連性は、よく理解できている。葉脈の名前や気孔のはたらき、道管の役割と位置についても、約半数が正解していた。被子植物の根と茎のつくりの違いについては、双子葉類と単子葉類の根と茎の組み合わせは理解しているが、ハウセンカがどちらのなかまに分けられるかでの誤答が20%となっていた。葉、根、茎の組み合わせで知識を定着させることが大切である。根毛についての正答率は低く、表面積を拡げることの利点を理解させ、科学的思考力を高めたい。
	b	網状脈	54	・無答(14) ・誤字(12) ・平行脈(10)	
	c	4	50	2 {気孔は葉の裏に多く、酸素や二酸化炭素、水蒸気の入出力口となっている} (24) 3 (10) 1 (8)	
	d	1	42	4 (20) 3 (12) 2 (10)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
10	e	4	56	2 (14) 3 (12) 無答 (12)	
	f	表面積を拡げて水や養分を効率よく吸収するのに役立っている。	42	・無答 (22) ・根を傷つけにくくする (8) ・虫などから守る (6) ・土の中にいる虫を追い払う (2)	
11	a	1	70	4 {葉をやわらかくするため} (18) 2 (6) 3 (4)	光合成を調べる実験において、エタノールに葉をつける実験操作の理解度は高かった。また、光合成が行われている部分と、それによりできるものについては約60%が理解していた。また、実験操作と実験結果から考察する力については、概ね理解できているといえる。さらに、光合成に関する知識から、実験結果がどうなるか考察する力が不十分である。定着した知識を考察する力へと結びつけ、科学的思考力を高めたい。
	b	(図略)	64	・アルミはくのかぶせてある部分 (12) ・アルミはくのかぶせていないふの部分 (8) ・無答 (4)	
	c	1	58	3 {光合成は日光があたっている緑色の部分で行われ、デンプンと酸素ができることが分かった} (20) 5 (10) 2 (6)	
	d	3	60	1 {昼間は光合成のみを行っているので酸素を、夜間は呼吸のみを行っているので二酸化炭素を出している} (16) 2 (12) 4 (8)	
12	a	孢子	38	・無答 (24) ・花粉 (6) ・受粉 (6) ・胚珠 (4)	シダ植物やコケ植物は孢子でなかまをふやすという、基礎的な知識が定着していない。イヌワラビの茎の識別の正答と葉柄の誤答の選択率は、ほぼ近い割合である。シダ植物のからだのつくりを確実に覚えさせる必要がある。また、シダ植物とコケ植物のからだのつくりのちがいで正答率が低かったのは、維管束の有無の部分の誤答で18%となっていた。からだのつくりのちがいを確実に理解させたい。コケ植物、シダ植物の、維管束や葉緑体の有無、孢子、孢子囊の観察は欠かせないところである。
	b	(問題削除)			
	c	6	34	2 (22) 4 (14) 1 (10)	
	d	3	36	2 (32) 1 (12) 無答 (8)	
	e	8	28	6 (18) 4 (14) 5 (10)	

中学校第2学年理科

No	問題番号		正答		科学的な思考	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	中間 小問	(選択式→番号, 記述式→言葉)	観察・実験の技能・表現		自然事象についての知識・理解				
1	a	6						有機物の性質について理解しているか。	64	
2	1	2, 3						金属の性質について理解しているか。	37	
3	c	2			◎			密度について理解しているか。	36	
4	a	手であおぐようにしてかぐ。直接かがない。				◎		気体のおいのかぎ方について理解しているか。	85	
5	2	3, 5						特定の気体の発生方法を理解しているか。	10	
6	c	3						酸性和アルカリ性について理解しているか。	38	
7	d	2						特定の気体の性質を理解しているか。	41	
8	a	4						エタノールの状態変化について理解しているか。	66	
9	b	燃えやすい性質だから。引火性があるため。				◎		可燃性の物質の加熱方法について理解しているか。	13	
10	3	5			◎			グラフから物質の状態を読み取ることができるか。	32	
11	d	3			◎			沸点を利用して純粋な物質が得られることを理解しているか。	41	
12	e	蒸留						沸点の違いにより物質を分ける方法を理解しているか。	28	
13	a	156(g)			◎			溶質を水に溶かす前と溶かした後の水溶液の質量について理解しているか。	36	
14	b	2			◎			溶解度について理解しているか。	29	
15	a	2			◎			同じ種類の電気はしりぞけ合い、異なる種類は引き合うことを理解しているか。	63	
16	b	放電				◎		電気が空間を移動したり、たまっていた電気が流れ出す現象が放電であることを理解しているか。	54	
17	a	4.0(V)				◎		電圧計を正しく読むことができるか。	76	
18	b	(略)				◎		グラフを正しく理解しているか。	40	
19	6							オームの法則について理解しているか。	29	
20	c	ウ、ア、イ						並列回路を流れる電流について理解しているか。	45	
21	a	1				◎		磁石がつくる磁界と電流がつくる磁界を理解しているか。	38	
22	b	4			◎			電流が磁界から受ける力について理解しているか。	31	
23	c	1			◎			誘導電流について理解しているか。	49	
24	d	3				◎		電磁誘導を利用しているものについて理解しているか。	29	
25	a	2			◎			火山の形と活動の様子との関係を理解しているか。	72	
26	b	1			◎			噴出物に含まれる鉱物から、火山が考察できるか。	26	
27	c	A				◎		火山岩のつくりについて理解しているか。	25	
28	B	はん晶 石基				◎		火山岩のつくりについて理解しているか。	29	
29	a	1				◎		地層の向きを理解しているか。	38	
30	b	2			◎			地層のつながりを理解しているか。	36	
31	c	3			◎			地層の中のれき岩の様子を理解しているか。	66	
32	d	2				◎		採取した化石から地層のできた地質時代を推定することができるか。	58	
33	a	3				◎		震央からの距離とゆれが伝わるのにかかる時間、ゆれの大きさととの関係を理解しているか。	65	
34	b	1				◎		初期微動継続時間と震源からの距離の関係を理解しているか。	70	
35	c	2, 6						世界の地震の震源や火山の分布と、地球のプレートとの動きを理解しているか。	19	
36	d	2				◎		日本付近の震源の分布や傾向を理解しているか。	34	
37	a	4				◎		セキツイ動物を体表のようすで分類することができるか。	68	
38	b	3			◎			セキツイ動物を分類する条件を理解しているか。	59	
39	a	2				◎		だ液のはたらきを調べる実験の方法を理解しているか。	50	
40	b	5				◎		ヨウ素液やペネシト液のはたらきについて、正しく理解しているか。	46	
41	c	糖			◎			だ液のはたらきについて考察することができるか。	65	
42	a	3				◎		赤血球のはたらきを理解しているか。	70	
43	b	組織液				◎		赤血球のはたらきを理解しているか。	29	
44	c	1				◎		肺循環について理解しているか。	39	
45	a	名前 番号				◎		虹彩のはたらきについて理解しているか。	40	
46	b	2				◎		鼻のしくみを理解しているか。	70	
47	14	1				◎		刺激の伝わり方を理解しているか。	72	
48	c	5				◎		刺激の伝わり方を理解しているか。	52	
49	d	3, 4				◎		反射について理解しているか。	29	

◎…主たる観点

第2学年					
大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
1	a	6	64	3 (12) その他 (25)	有機物の性質についてはほぼ理解できているが、ガラスが有機物であると考えた生徒が若干いた。金属の性質では、金属はすべて磁石につくと考えている生徒が多い。密度については、質量と体積の関係から考えることができていない。
	b	2、3	37	その他 (63)	
	c	2	36	3 (39) 1 (15) 4 (9)	
2	a	手であおぐようにしてかぐ。 直接かかない。	84	無答 (4)	気体のにおいのかぎ方についてはほぼ理解できているが、ある特定の気体を発生させる方法については理解されていない。気体を水に溶かし、BTB溶液を加えたときの色の変化については酸性とアルカリ性の色を混同している生徒が多かった。気体ウを二酸化炭素と間違えている生徒が多かった。
	b	3、5	10	無答 (2)	
	c	3	38	2 (30) 4 (11) 5 (7)	
	d	2	42	1 (41) 3 (10)	
3	a	4	66	3 (14) 1 (11) 2 (7)	エタノールの状態変化については、温度が下がってもエタノールが気体のままだと考えている生徒が若干いた。エタノールの加熱方法はほとんどの生徒が理解していなかった。また、グラフからエタノールの状態を説明することはできていない。蒸留の結果、出てきた液体にマッチの火を近づけたときの様子は、その液体がエタノールであることが理解できていない生徒が多かった。せつかく実験をしても結果だけに終わらず、グラフの書き方も指導し、考察する必要がある。
	b	燃えやすい性質だから。 引火性があるため。	14	無答 (18)	
	c	5	32	3 (37) 1 (16) 4 (7)	
	d	3	41	2 (24) 4 (20) 1 (12)	
	e	蒸留	28	無答 (37)	
4	a	156 (g)	36	無答 (10)	溶質を溶かした後の質量について理解できていない生徒が多い。また、溶解度についてもグラフを使って求めることができていない生徒が多い。
	b	2	29	1 (43) 3 (18) 4 (7)	
5	a	2	63	3 (19) 4 (9) 1 (7)	こすり合わせたティッシュペーパーとストローAが異なる種類の電気を帯びていることは理解されている。雷という自然現象が放電という現象の一種であることはあまり理解されていない。
	b	放電	54	無答 (17)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
6	a	4.0 (V)	76	無答(4)	電圧計の使い方はほぼ理解されている。グラフを正しく書く方法はあまり理解されていない。実験を行うときに書く必要を感じる。オームの法則についてはmAをAになおして公式にあてはめることを理解していない生徒や、抵抗器Xと抵抗器Yを混同している生徒が多かった。並列回路に流れる電流の強さに関しては、抵抗器Xと抵抗器Yに流れる電流をたした合計が全体の電流であることがあまり理解されていない。
	b	(略)	40	無答(13)	
	c	3	29	1 (31) 4 (20)	
	d	ウ、ア、イ	45	無答(5)	
7	a	1	38	2 (25) 3 (25) 4 (9)	電流が磁界から受ける力についてもあまり理解されておらず、したがって電流や磁界の向きを変えることで受ける力の向きが変わることも理解されていない。実験などを通して確認する必要がある。また、検流計が誘導電流を調べるものであることは理解されているが、電磁誘導を利用しているものについては理解されていない。また、bの問題では、番号以外で答えた生徒が34%もあり、日頃から問題文をよく読んで答えさせるよう指導を行いたい。
	b	4	31	2 (22) 3 (7) 1 (6) 番号以外(34)	
	c	1	49	2 (27) 3 (17) 4 (5)	
	d	3	29	1 (55) 2 (8) 4 (5)	
8	a	2	72	4 (12) 1 (8) 3 (5)	マグマのねばりけと噴火の様子については正答率が高く、火山の形との関係がよく理解されていた。一方、キ石・カンラン石などが有色鉱物であることは知識として知っているものの、それと火山の形との関係についての認識ができていない生徒が多くみられた。はん晶・石基は覚えていない生徒が多く、かなりの数の無答が見られた。
	b	1	26	3 (36) 2 (20) 4 (15)	
	c	はん晶 石基	26 29	無答 (31) 無答 (32)	
9	a	1	38	2 (31) 4 (15) 3 (14)	河口付近から堆積する土砂が重いものから順になるということを理解している生徒が少なく、れきが遠くまで運ばれるという誤答をする生徒が多く見られた。bの問題では、地層のつながりが東西方向に斜めになっていることは、図から理解するもののどちらかに傾いているか理解に乏しく、誤答の1も正答と同じぐらいの割合の答が見られた。れき岩の侵食については多くの生徒が理解しているように思われる。また、化石と地質時代の関係についても高い知識・理解度が示された。
	b	2	36	1 (40) 3 (13) 4 (8)	
	c	3	66	4 (11) 5 (9)	
	d	2	58	3 (21) 1 (10) 4 (9)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
10	a	3	65	4 (15) 2 (14) 1 (5)	地震の震央との距離やゆれの大きさ・時間の関係などよく理解されていた。海嶺や海溝といった地球規模のプレートの動きについての認識が不十分で、今後の指導に活かしていただきたい。dの問題で地震がプレートの境目でかならず起こるといように誤解しているような答が見られた。
	b	1	70	2 (19) 3 (6) 4 (4)	
	c	2、6	19	その他(81)	
	d	2	34	4 (26) 3 (20) 1 (16)	
11	a	4	68	2 (15) 無答(3)	動物の体表の様子は、図やことばから高い理解度が示された。卵生・胎生についてはセキツイ動物を理解している生徒が多く見られたが、両生類は一生えらで呼吸しない点を間違える答が若干見られた。
	b	3	59	4 (20) 1 (10) 2 (6)	
12	a	2	50	1 (33) 4 (8) 3 (7)	ベネジクト液の反応には加熱が必要だという点が分かっていない生徒が3分の1ほど見られた。実験の結果については、認知度は非常に高かったものの、結果を反対にしてしまう答が4分の1ほど見られた。だ液の実験については、デンプンが糖に変化することは概ね理解されていたことから、実験・観察が授業において非常に重要であると考えられる。
	b	5	46	1 (26)	
	c	糖	65	無答(11)	
13	a	3	70	2 (11) 4 (9) 1 (8)	赤血球のはたらきはよく理解されていた。組織液は無答以外に『血液』『血しょう』などの答が多く見られた。肺循環については、血管内の酸素の多さや動脈・静脈などの理解が不足していると思われる。
	b	組織液	29	無答(21)	
	c	1	39	3 (27) 4 (18) 2 (12)	
14	a	こうさい	40	無答(20)	目の構造は、こうさいの仕組みは理解しているものの、その名前がでてこない生徒の解答が多かった。鼻のつくり、刺激の伝わり方はよく理解している生徒が多かった。反射については、正答以外の答は様々で、もう少し具体的な事例を挙げて指導した方が良いと思われる。
		2	70	3 (12)	
	b	イ	72	無答(4)	
	c	5	52	4 (15) 1 (12)	
	d	3、4	29	無答(3)	

中学校第3学年理科

問題番号		正答		観点		問題の内容		出題のねらい		正答率(%)	
No	大問:小問	(選択式→番号, 記述式→言葉)	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)			
1	a	17.5(g)	◎	◎	◎	①化学変化の規則性	酸素と銅の結びつきについて規則性を理解しているか。	52			
2	b	(略)	◎	◎	◎	①化学変化の規則性	酸素と銅の反応実験からグラフの作成ができるか。	42			
3	c	(X) = (Y)	◎	◎	◎	①化学変化の規則性	質量保存について理解しているか。	38			
4	a	60(cm/秒)	◎	◎	◎	②力と運動	記録タイマーの結果から、平均の速さを導き出すことができるか。	42			
5	b	4	◎	◎	◎	②力と運動	等速直線運動について理解しているか。	30			
6	c	3	◎	◎	◎	②力と運動	記録タイマーの結果から、物体の運動を考察することができるか。	56			
7	a	1	◎	◎	◎	②力と運動	慣性について理解しているか。	72			
8	b	(略)	◎	◎	◎	②力と運動	作用・反作用について理解しているか。	68			
9	a	480(J)	◎	◎	◎	③仕事とエネルギー	消車を使用した実験から、仕事の量を求めることができるか。	30			
10	b	1	◎	◎	◎	③仕事とエネルギー	消車を使用した実験から、仕事の原理について正しく理解しているか。	58			
11	c	360(W)	◎	◎	◎	③仕事とエネルギー	仕事率について理解しているか。	22			
12	a	(位置エネルギー)4 (運動エネルギー)2	◎	◎	◎	③仕事とエネルギー	振り子の運動から位置エネルギーや運動エネルギーについて理解しているか。	70			
13	b	3	◎	◎	◎	③仕事とエネルギー	力学的エネルギーの保存について正しく指摘することができるか。	72			
14	c	2	◎	◎	◎	③仕事とエネルギー	エネルギーの変換について理解しているか。	74			
15	a	2	◎	◎	◎	④化学変化とエネルギー	熱の発生について、吸熱反応や発熱反応を理解しているか。	64			
16	b	1	◎	◎	◎	④化学変化とエネルギー	熱の発生を利用例について理解しているか。	82			
17	a	石灰水の逆流を防ぐため。	◎	◎	◎	⑤金属資源と酸素の化学変化	実験手順を正しく理解しているか。	58			
18	b	$2\text{Cu} + \text{O}_2 \rightarrow 2\text{CuO} + \text{CO}_2$	◎	◎	◎	⑤金属資源と酸素の化学変化	還元という言葉を理解しているか。	24			
19	c	還元	◎	◎	◎	⑤金属資源と酸素の化学変化	還元という言葉を理解しているか。	40			
20	a	2	◎	◎	◎	⑥水溶液とイオン	電解質水溶液では、電気が流れることを理解しているか。	76			
21	b	4	◎	◎	◎	⑥水溶液とイオン	電解質水溶液中でイオンがどのように動くかを理解しているか。	48			
22	c	3	◎	◎	◎	⑥水溶液とイオン	電池のしくみを理解しているか。	50			
23	a	2	◎	◎	◎	⑦大気中の水	雲がどのようにしてできるかを説明できるか。	48			
24	b	4	◎	◎	◎	⑦大気中の水	雲の発生する状態を理解しているか。	64			
25	c	3	◎	◎	◎	⑦大気中の水	雲が雨になる過程を理解しているか。	54			
26	d	3	◎	◎	◎	⑦大気中の水	湿度を空気中の水蒸気量や飽和水蒸気量、露点と関連づけて理解しているか。	56			
27	a	ア:高, イ:低	◎	◎	◎	⑧大気の動き	天気図から気圧配置を読み取ることができるか。	74			
28	b	1	◎	◎	◎	⑧大気の動き	天気図から風向や風の強さを考えることができるか。	58			
29	c	1	◎	◎	◎	⑧大気の動き	大気の動きを立体的にとらえ、天気との関連を理解しているか。	58			
30	d	気温:16(°C)、湿度:69(%)	◎	◎	◎	⑧大気の動き	気象観測の方法を知り、器具を使って正しく観測することができるか。	56			
31	a	前線名:寒冷前線、番号:2	◎	◎	◎	⑨大気の動きと天気の変化	前線のでき方、種類、その特徴を理解しているか。	32			
32	b	3	◎	◎	◎	⑨大気の動きと天気の変化	気象要素の変化から、前線の種類や通過の様子を読み取ることができるか。	56			
33	c	西(から)東(へ)	◎	◎	◎	⑨大気の動きと天気の変化	連続した天気図から、低気圧や高気圧の移動の方向や速さを見いだすことができるか。	46			
34	d	(約)1200(km)	◎	◎	◎	⑨大気の動きと天気の変化	連続した天気図から、低気圧や高気圧の移動の方向や速さを考察することができるか。	42			
35	a	部分名:核、記号:ウ、ク	◎	◎	◎	⑩細胞と生物の成長	低気圧や高気圧の動きの特徴から、天気の移り変わりを考察することができるか。	62			
36	b	3	◎	◎	◎	⑩細胞と生物の成長	いろいろな細胞の観察をもとに、細胞のつくりを理解しているか。	62			
37	c	記号:S、番号:1	◎	◎	◎	⑩細胞と生物の成長	生物の体の基本単位は細胞であり、多細胞生物と単細胞生物がいることを理解しているか。	66			
38	d	(分裂して)ふえた細胞が大きくなる。	◎	◎	◎	⑩細胞と生物の成長	いろいろな分裂様から、細胞分裂の連続的なつながりを指摘することができるか。	62			
39	a	減数分裂	◎	◎	◎	⑪生物のふえ方	細胞分裂のしかたと細胞分裂と個体の成長との関連を理解しているか。	64			
40	b	4	◎	◎	◎	⑪生物のふえ方	被子植物の受精と発生の過程を理解しているか。	58			
41	c	2	◎	◎	◎	⑪生物のふえ方	例をあげて無性生殖について説明することができるか。	20			
42	d	4	◎	◎	◎	⑪生物のふえ方	染色体から、有性生殖と無性生殖の違いについて説明することができるか。	70			
43	a	1	◎	◎	◎	⑪生物のふえ方	減数分裂を理解しているか。	60			
44	b	4	◎	◎	◎	⑪生物のふえ方	実験結果から遺伝のきまりを導き出すことができるか。	76			
45	c	分離(の法則)	◎	◎	◎	⑪生物のふえ方	分離の法則を理解しているか。	20			
46	d	DNA	◎	◎	◎	⑪生物のふえ方	遺伝子によって、遺伝のきまりを説明することができるか。	56			
47	a	DNA	◎	◎	◎	⑪生物のふえ方	遺伝子の本体がDNAであることを理解しているか。	82			

◎…主たる観点

第3学年					
大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
1	a	17.5 (g)	52	1.75 (12) 無答 (8)	酸素と銅の結びつきについて、実際の実験結果を活用して、数的関係で理解させたい。グラフの作成は不十分である。質量保存の法則について、実験前後の質量関係が理解されていない。
	b	(作図)	42	縦軸0.5~2.5 (36) 測定点ミス (8)	
	c	(X) = (Y)	38	< (32) > (14) その他の記号 (14)	
2	a	60 (cm/秒)	42	6 (20) 3 (10)	平均の速さを記録タイマーの結果から導くことができていない。等速直線運動について加わる力と速さの関係の理解も不十分である。実験などを通じて、結果の考察も定着させたい。
	b	4	30	2 (34) 1 (26) 3 (10)	
	c	3	56	4 (24) 2 (18)	
3	a	1	72	3 (18) 2 (10)	慣性の法則については、概ね理解されている。作用反作用の現象と力を矢印で表す際に作用点が必要であることを理解させたい。
	b	(作図)	68	作図の始点 (20) 矢印の長さ (6)	
4	a	480 (J)	30	48 (40) 30 (18)	滑車を使った仕事に対して、仕事の量を求めることが理解できていない。滑車を使用した実験から、仕事の原理の理解についても定着させたい。仕事率の求め方が理解されていない。
	b	1	58	3 (22) 2 (14)	
	c	360 (W)	22	180 (28) 無答 (12) 36 (6)	
5	a	(位置エネルギー) 4 (運動エネルギー) 2	70	2 4 運動エネルギーのみ (10)	振り子の運動における位置エネルギーと運動エネルギーの移り変わり、力学的エネルギーの保存、さまざまなエネルギーの移り変わりにおけるエネルギーの保存をそれぞれほぼ理解している。
	b	3	72	2 (10) 4 (10)	
	c	2	74	1 (14) 4 (8)	
6	a	2	64	3 (18) 1 (10)	実際の実験を通して、吸熱反応と発熱反応の具体例を定着させていきたい。生活での発熱反応の利用例はよく理解されている。
	b	1	82	3 (8) 2 (4) 無答 (4)	
7	a	石灰水の逆流を防ぐため。	58	酸素を入れないため (14) 無答 (10)	実験手順の定着をさせたい。還元の化学反応式について、仕組みや作成の手順が理解されていない。また、還元という言葉とその意味も定着させたい。
	b	$2\text{CuO} + \text{C} \rightarrow 2\text{Cu} + \text{CO}_2$	24	無答 (36) 係数違い (10) 記号違い (8)	
	c	還元	40	無答 (22) 環 (12) 酸化 (10)	
8	a	2	76	1 (14) 4 (6)	電解質水溶液では、電気が流れるということがほぼ理解されている。電解質水溶液中でどのようにイオンができるのか理解されていない。電池の仕組みについて、実験結果の考察を利用し定着させていきたい。
	b	4	48	1 (28) 3 (16)	
	c	3	50	1 (20) 4 (20)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
9	a	2	48	1 (24) 4 (16) 無答 (0)	ペットボトル内の空気が膨張して温度が下がることの正答率が低い。連動して起こる現象と理解できていない。雲ができる時のようすは概ね理解できている。雲の粒が落ちてこない理由は、ほぼ的確な説明ができていたが、記述式のためか無答も多かった。湿度の計算は選択問題であったため、無答はなかったが、正答率は高くなく、計算問題にとりくむ姿勢が身についたとは言いがたい。
	b	4	64	3 (22) 2 (10) 無答 (0)	
	c	雲の粒は、雨や雪の粒に比べて非常に小さい (軽い) ため。	54	雲は水蒸気だから (6) 空気より軽いから (4) 無答 (28)	
	d	3	56	2 (20) 4 (18) 無答 (0)	
10	a	ア：高、イ：低	74	ア：低、イ：高 (20) ア：高、イ：高 (4) 無答 (2)	高気圧・低気圧の中心については、よく理解できている。低気圧の周辺の風向や等圧線の幅と風力の関係については、どちらかの理解しかできていない傾向が見られる。また、高気圧・低気圧と風の吹き方の関係については、下降気流を低気圧と考える誤答も多い。気温と湿度を読み取る問題では、乾球の温度が気温であることはよく理解できているが湿度の読み取りに対する理解が十分でない。また、無答も多かった。
	b	1	58	2 (20) 3 (14) 無答 (0)	
	c	1	58	4 (26) 3 (10) 無答 (0)	
	d	気温：16 (°C) 湿度：69 (%)	56	気温16 (°C)湿度 気温16 (°C)湿度89 (%) (8) 無答 (12)	
11	a	前線名：寒冷前線 番号：2	32	寒冷前線、番号2以外 その他 (34) 無答 (4)	前線名とそのでき方については、記号は概ね理解できているが、でき方に対する理解は不十分である。グラフから前線の通過時刻と天気の特徴を読み取る問題では、通過時刻は読み取れるが、天気の特徴は読み取られていない。低気圧の移動方向と1日の移動距離については、正答率が両方ともに50%に届かず、十分な理解ができていないことがうかがえる。天気の移り変わりについては概ね理解しているが、記述式の無答が多かった。また、この問題以降、記述式、選択式に関わらず、全問無答が出ている。
	b	3	56	4 (22) 2 (10) 無答 (4)	
	c-A	西 (から) 東 (へ) (南西から北東へ)	46 (8)	南から北 (14) その他 (24) 無答 (16)	
	c-B	(約) 1200 (km)	42	その他 (30) 無答 (28)	
	d	2	62	3 (18) 無答 (8)	
12	a	部分名：核 記号：ウ、ク	62	核、記号：ウ・ク以外 部分名核以外、ウ・ク (6) 無答 (6)	細胞の染色された部分の名前は概ね理解できているが、場所は十分とは言えない。単細胞生物と多細胞生物については、概ね理解できているが、ミジンコを単細胞生物とする誤答も目立った。細胞分裂がさかんな場所と細胞分裂の順番については、細胞分裂の順番についてしっかり理解できていない。生物の成長と細胞の成長の関係については、記述式のためか無答も多い。
	b	3	66	1 (20) 4 (6) 無答 (4)	
	c	記号：S、番号：1	62	S、番号：1以外 (12) その他 (22) 無答 (4)	
	d	(分裂して) ふえた細胞が大きくなる。	64	細胞同士がくっつく (4) その他 (10) 無答 (22)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
13	a	4	58	3 (34) 2 (4) 無答 (4)	植物の有性生殖について、受粉と胚と受精卵の違いの理解は十分とは言えない。生殖での染色体と形質の関係については、染色体の伝わり方には十分な理解が見られた。減数分裂という言葉は概ね理解できているが、記述式のため無答が多いという傾向は変わらなかった。
	b	4	20	2 (44) 1 (20) 無答 (4)	
	c	2	70	1 (14) 4 (8) 無答 (4)	
	d	減数分裂	60	体細胞分裂 (4) その他 (16) 無答 (20)	
14	a	1	76	2 (10) 3 (6) 無答 (4)	形質については十分理解できているが、分離の法則について、優性の法則やその他の誤答、無答が多かった。孫の遺伝子の対とその割合については、正答率はよいが、誤答の傾向に「優性：劣性＝3：1」という知識の影響がうかがえる。DNAについてはよく理解できていたが、無答も多かった。
	b	分離 (の法則)	20	優性の法則 (24) その他 (36) 無答 (20)	
	c	4	56	2 (18) 1 (12) 無答 (4)	
	d	DNA	82	その他 (4) 無答 (14)	

4. 全般的考察

- ・記述問題では、用語を答える問題で正答率が高いものもある。
(1年 問10b、2年 問12c、3年 問14d)
- ・説明をとまなう記述問題については、正答率が低いものが多く、無答率も高い。
- ・観察・実験に関する問題においては、実験方法を考えたり、選んだりする問題の正答率が低い。
- ・計算や作図の正答率が低く、無答率も高い。計算をすることを苦手とする生徒が問題に取り組まずにあきらめてしまうことが考えられる。
- ・グラフの作成では、データを写す作業は比較的できているが、必要なデータを選び出したり、グラフから傾向を読み取るなどの活用はできていない。
- ・資料を読み取って判断する問いの正答率が低い。文章の表現力や読解力が不足していることとも関連していると思われる。
- ・地学的分野(地質・天気)の正答率が低く、無答率も高い。年間指導計画の最後に配置することが多く、授業時数に余裕のない中で指導しているのも一因と考えられる。

5. 各単元についての考察

(1) 第1分野

①身近で起こる不思議な現象

光については、用語の意味を正しく理解していない。凸レンズを通る光が屈折して進む様子の作図についても、理解は不十分であり、無答率も高い。作図作業を反復して行わせたい。音については、具体的な作業と結びつけて音の変化を理解させたい。力については、グラフを書くことを苦手になっている。作業に不慣れであることもあるので、継続的に作業させたい。また、矢印での力の図示も、力の3要素との関連を意識づけながら繰り返し作業していくようにしたい。大気圧もまだ理解はできていない。単位の変換など、計算にも注意しながら機会を増やしたい。

②身のまわりの物質

物質の状態については、有機物の性質はよく理解しているが、個々の物質の特徴を混同している様子もみられる。実験などの直接的な体験から理解を深めたい。今後プラスチックや密度なども加わるので、具体的に学習することが求められる。気体の性質を間違えて理解している者が多く見られる。エタノールの状態変化では、結果のグラフから状態を読み取るなどのデータ処理ができていない。安全面にも配慮しつつ、多くの実験結果から性質や状態を読み取ることに力を入れたい。

③電流とその利用

電気の性質と具体的な電気の事象とが関連づいていない。電流の流れ方などを、目に見えるモデルなどを実際に扱って理解を深めたい。電気測定器具の扱いには慣れてきたようである。今後実験作業を通じて習得させたい。コイルに流れる電流の性質や電磁誘導についての理解は不十分である。具体例を含めて、実験などで体験的に理解させたい。

④化学変化と原子・分子

質量保存の法則については、式やグラフなどの手段を用いて質量がどのように変化したかを実験より求めたい。金属と酸素の反応についても、具体的な資料をもとに数値から結合比を求めることに重点をおきたい。グラフの作成については、正しい目盛りのふり方から傾向を示す線のとり方まで、グラフを最初から作成できるような力を育てたい。

⑤運動とエネルギー

運動については、記録タイマーの結果から速さを求める作業を実験の実験から理解させたい。また運動と力のはたらき方の関係についても、力の分野の復習も含めて正しく理解させたい。滑車を用いた仕事や仕事率については、新たに追加された内容である。物体の質量を重力に換算することを間違える誤答も多く見られるので、力の分野の復習も含めて指導の改善が求められる。エネルギー保存については大変よく理解されている。

⑥化学変化とその利用

発熱、吸熱反応については基本的な内容で、よく理解されている。酸化銅の還元については、基本的な内容だが、実験の内容や化学反応式に不十分な解答が多い。実験結果だけでなく、そのしくみや安全対策なども十分に理解させたい。水溶液とイオンについては、新たに追加された内容で正答率が低い。電池のしくみをイオンから説明することなどに指導の改善の余地がある。

(2) 第2分野

①植物のくらしとなかま

野外観察については、生息環境と植物の種類についての理解が不十分である。スケッチの仕方やルーペの使い方などは比較的よく理解されている。種子植物の花のつくりについては、言葉での知識は定着しているが、観察を通して判断する力はまだ不十分である。光合成のしくみや各部のはたらきについては、半数前後の正答率である。断片的な知識の習得にとどまらず、植物全体のつながりまで意識した学習を展開したい。孢子植物については、まだ理解も認知度も大変不十分である。観察を中心に積極的に取り上げたい。

②活きている地球

火山とマグマについては、よく理解されている。知識として火成岩を理解はできていても、火山の形や色との関係は理解が不十分である。鉱物についてはかなり正答率が下がるので注意が必要である。堆積岩についてもでき方が理解できていない。地層の様子についても、資料から状況を把握できていない。地震については、基本的な用語や関係はよく理解されていた。地震がプレートと連動するだけではないことも、ふれておきたい事項である。

③動物のくらしとなかま

動物の体のつくりについては、よく理解されている。両生類の呼吸だけがやや正答率が低い。消化については、試薬の使い方や実験結果の読み取り方の理解が不足しているが、概ね良好である。血液のはたらきはよく理解されているが、血液中の酸素量や血管のしくみに注意が必要である。感覚器官については、比較的よく理解されている。反射の説明が具体的に表現できないことが多かったので、配慮したい。

④天気の変化

雲のでき方については、概ね内容は理解しているものの、全体像を正確に把握していないようすもうかがえる。記述による説明も、表現力が不足していることによる誤答が多い。高気圧や低気圧についてはそのつくりや特徴を混同している誤答も多い。乾湿計の扱いにも習熟したい。前線についてはでき方の理解が不十分である。天気の移り変わりについては概ね理解されている。

⑤生物の細胞と生殖

細胞のつくりと細胞分裂については、概ね理解されているが、分裂の順序は正答率が低い。生殖については、染色体の伝わり方はよく理解されている。無性生殖の誤答が多かったので、有性生殖と同様に理解を深めたい。遺伝については新たに追加された内容である。比較的正答率はよかった。分離の法則について、教科書の内容と異なる解説をしている文献があるためか、多少混乱して理解されている可能性がある。指導には十分注意をしたい。

6. 各観点についての考察

(1) 科学的な思考

資料や学んだ知識を活用して特徴を見つけ出すなどの思考力を問う問題での正答率が低い。記述で理由を説明する問題も理解が不十分である。レポートや発表を通じて、表現力を養うことも視野に入れて指導していく必要がある。関係や全体像を把握して答える問いにも誤りが多い。断片的な知識でなく、知識を関連づける作業を加えていくことも、今後の学習方法としては必要である。

(2) 観察・実験の技能・表現

グラフの作成について各学年で出題したが、正答率は十分ではない。書き方は理解されているが、グラフを用いて傾向を読み取るなどの利用ができていない。実験の方法や目的を問う問題での正答率が低いので、指導で配慮したい。図示をする問題では、細かい部分でのミスがまだまだ多い。実験や観察を重ねる中で、体験的に習得させたい。

(3) 自然事象についての知識・理解

用語などは比較的理解されているが、その意味を誤って理解していることが多く見られるので注意したい。

7. 類似問題についての経年観察およびその考察

平成18年度から平成21年度について、類似している問題の正答率を比較して考察した。

〈1 学年〉

内容

凸レンズの作図による 光の屈折の作図	H18	H20	H21
	問2c	問3c	問2c
	28%	42%	40%

考察

○ 出題への慣れもあり、正答率は上昇傾向だったが昨年度からはあまり変わっていない。作図で屈折した光を求める学習を深めたい。

力の作図	H18	H20	H21
	問5c	問6b	問4c
	38%	26%	44%

○ 重力の作図だったが、比較的良くできている。重力は馴染みのある力であり、作用点もよく知られていることも要因と考えられる。

ルーペの使い方	H20	→	H21
	問8a		問8b
	58%		58%

○ 正答率はあまり変わらない。比較的確実に習得されている項目である。

〈2 学年〉

内容

電流計の読み	H19	H20	H21
	問6b	問7a	問6a
	64%	74%	76%

考察

○ 21年度は電圧計の読みであったが、電流計同様によく理解されている。実験で目盛りを読むことが増え、基本動作が身につけていると考えられる。

初期微動	H18	H20	H21
	問10a	問11a	問10b
	68%	70%	70%

○ 18、20年度は理科用語の問題、21年度は初期微動継続時間と関連しての出題だが、ほぼ同率で正解している。グラフの理解を含めて地震波の内容がよく理解されている。

〈3 学年〉

内容

記録テープの長さから 速さを求める	H19	H20	H21
	問4a	問3a	問2a
	54%	72%	42%

考察

○ 実験で取り扱う作業だが、計算を苦手とする生徒がまだ多くいると考えられる。実験作業を通して計算にも多く取り組ませたい。

ミジンコは多細胞生物	H18	H20	H21
	問11d	問11e	問12b
	34%	38%	66%

○ 概ね理解されているが、ミジンコが単細胞生物であるとする答えも多い。プランクトンにも多細胞生物がいることをおさえない。

8. 改善すべき点および提案事項

(1) 改善すべき点

- ・ 解答用紙については、今年度A4サイズで各教科統一するとの指示があり、指示に従って作成した。理科においては困難である要素も当初より予想されたが、紙面の制約上、やむなく裏面に作図問題の解答部分を集約する形になった。どのような形式がよいかについては、今回のご意見を参考に今後検討したい。
- ・ 記述や作図の問題が多く、解答時間が足りないとの意見があった。時間と問題量との関連は考慮しなければいけないが、単元内容からすると、どうしても作図等が増えるものもある。内容と時間との兼ね合いについては再度検討したい。
- ・ 小問ごとの独立性は確保したが、小問内で複数の解答を組み合わせで選択する出題をしたところ、正答率が下がる傾向があった。限られた設問数で広い範囲からまんべんなく出題するために取っている方法だが、問題量とのバランスを考えて、負担が大きくなりすぎないように配慮したい。
- ・ 出題範囲と解答内容に誤りがあり、1学年で削除する問題があった。今後はチェック方法を改善し、同様のミスを繰り返さないようにしたい。

(2) 提案事項・その他

- ・ PISAの結果をふまえ、今後も記述式の問題を各学年各分野に出題したい。
- ・ 解答の許容および部分点については、正答表で指示のない限り、各校で指導された学習内容をもとに、各校で判断していただきたい。
- ・ 科学の広場等コラム記事からの出題については、その内容を問うものではなく、資料として活用できるような出題をしていきたい。
- ・ 時事的問題についても、中学校で学習する内容に関係の深い事項で、その年に話題になった事項について、出題する可能性があるものとしたい。
- ・ 基礎的、基本的事項が理解されているかを問う出題を今後も続けたいが、基本事項が確かなものかを確認するには応用力を試すのも有効である。得た知識を活用して科学的思考を問う出題なども加えていきたい。
- ・ 疑義やアンケートでいただいた意見を踏まえて、今後の作問に活かしたい。
- ・ 新学習指導要領への移行に伴い、今後も追加指導項目についてはできるだけ出題し、理解の定着度を調べていきたい。

9. 指導にあたって

〈第1学年〉

- ・ 実験後の発表等を通じて、学習した定理や用語を使って正しく説明することを習慣づけたい。
- ・ 圧力の実験では単位の変換が必要になる。導入の時間の前半を使って、単位の変換や算数の復習を計画的に行いたい。
- ・ グラフの書き方については、今後も繰り返し指導する中で、改善されていくと思われる。
- ・ モノコードの実験については教科書でも取り上げられているが、生徒にとっては非日常的な道具であり、関心を持ちにくい。ギターやバイオリンなどの楽器を導入するなどして、音や音楽を身近にしていく工夫をしたい。
- ・ 学習して身につけた知識を用いて、実験結果からその事象を考察する力をつけることが重要である。

- ・植物はできる限り実物に触れさせ、ルーペや光学顕微鏡、双眼実体顕微鏡などを利用して観察させる機会を増やす必要がある。特に、コケ植物、シダ植物については、維管束の有無を確認させたり、孢子、孢子嚢を実物を使って観察させるのは欠かせないところである。
- ・自然現象において「なぜこうなるのか」という科学的な興味関心を深めさせることが大切で、その物事が起きている「理由」や「工夫」を考えさせていくことが重要である。
- ・文章での表現力を身につけさせる必要がある。そのためには、授業内での話し合い活動や発表活動を多く取り入れて充実させることが重要である。また、ノートの取り方の工夫などをさせ、指導者側がきめこまやかに支援をしていくことが大切である。また、理科という教科だけに収まらず、他教科との連携を図っていくことも大切にしたい。

〈第2学年〉

- ・実験の結果をグラフに書くことを通し、科学的に考察するよう心がけたい。
- ・丸暗記して覚えるのではなく、日頃から実験・観察などを通して、知識をきちんと定着させるようにしたい。
- ・きちんと問題文を読み、記号で答えるのか番号で答えるのかを間違えないように指導することが必要である。
- ・火山と地震についての問題に対しては、海嶺や海溝といった地球規模のプレートの動きについての認識が不十分である。授業時間の関係はあるものの、モデルなどをつかい慎重に生徒の理解を深めたい。
- ・地層の分野では、れき・砂・泥など粒の大きさの違いで河口から堆積する場所が変わる様子を、演示を用いるなどして、確実に理解させたい。
- ・だ液の実験の結果や地震の仕組みなどについては、基本をおさえてよく理解できている。
- ・動物の体のはたらきの問題では、『反射』についての誤答は様々である。もう少し具体的な例を示して、身近なこととして考えさせるようにしたい。

〈第3学年〉

- ・実験結果を式にして表すことが必要である。結果のグラフ化や考察の時間を十分に確保して、法則の発見や科学的思考力の向上に結びつけたい。
- ・物体の運動と力のはたらき方の関係を誤解している生徒が多い。1年次の力の復習も含めて、力の有無と運動の変化との関係をわかりやすく示したい。
- ・滑車を使った仕事や仕事率について、計算を正しくさせたい。質量から重力の大きさに換算する方法などの復習を交えて、単位の変換や関連に着目した指導を展開したい。
- ・化学反応式の書き方で→を用いることを強調して指導したい。原子の種類と数が化学反応の前後で変わらないことから、分子の係数をそろえることについても、繰り返し作業することで習熟させたい。
- ・「天気の変化」や「細胞と遺伝」の単元では、実験・観察が少ないこともあり、知識を正確に習得することが必要である。繰り返し学習するなどの工夫を考えたい。
- ・問14bの分離の法則を答えさせる問題について、実際の分離の法則と意味が違うのではないかという指摘があった。教科書や指導書では出題通りの意味であったが、さまざまな文献をあたったところ、教科書等とは異なる説明をしているものもあり、分離の法則については2種類の解釈が存在するようである。今後の指導においては、指導者は両方の解釈を念頭に指導する必要がある。
- ・基礎基本を問う出題を心がけたので、8割近くの問題は正答率が50%を超えた。正答率が50%を超える問題に答えられない生徒には、個別の支援が必要であろう。
- ・記述式問題の多くで無答率が10%を超え、昨年度からの傾向は変わらなかった。普段の授業や定期テストにおいても、文章で考え、答えさせる指導を継続的にやりたい。
- ・後半の問題を無答にしていることも多く見られた。選択問題に先に取り組むなどの工夫や、あきらめずに最後まで取り組む重要性なども再度確認したい。

〈全体を通して〉

- ・分析は正答率が70%以上のものを「理解している」、30%以下のものを「不十分である」とすることを目安としているが、各校においてもこの基準を参考に、指導の定着度をはかる目安としていただきたい。
- ・実験の方法や目的を問う問題の正答率は低かった。また知識として知っていても、活用することはまだ不十分である。観察実験などの直接的体験の機会を多く設け、実感を伴う知識の定着を図りたい。

平成 21 年度

川崎市立中学校 学習診断テスト 英語科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
英語科調査委員会

1. 作問にあたって

- (1) 学習診断テストの目的・主旨にそって、学習指導要領に示されている各観点の基本事項について、10月末までの学習の定着状況が把握できるように出題の範囲やバランスを十分に考慮して問題を作成した。
- (2) 問題の形式と整列を検討し、基本的な知識・理解を問うよう、より妥当性の高い形式にて作問した。
- (3) 総合的かつ統合的に思慮する能力を判断できるようにした。
- (4) 共通の言語材料を検討し、より公平に診断できる標準的なテストの作成を目指した。
- (5) 聞きとりテストは、音声の聞きとり能力とともに、より自然な英語が聞きとれるかどうかも診断できるよう工夫した。
- (6) 「表現の能力に関する問題」については、一言表現や自由作文形式に近い形の出題をし、より観点のねらいを明確にした作問を工夫した。
- (7) 2年生では、「自己確認用紙」を作成し、各生徒が課題を確認できるよう工夫した。

2. 出題のねらい

問題	1年生	2年生	3年生
問1	絵を見て、場面にあった適切な応答を選択することができる。	絵を見て状況を判断し、場面にあった適切な応答を選択することができる。	絵を見て状況を判断し、場面にあった適切な応答を選択することができる。
問2	絵を見て、場面や状況を理解し、それぞれの質問に対して、適切な答えを選択することができる。	英文を読みとり、日本文にあった語を、与えられた最初の文字から判断し正しい綴りで書くことができる。	英文を読みとり、日本文にあった語を、与えられた最初の文字から判断し正しい綴りで書くことができる。
問3	場面や状況に合わせて文脈を読みとり、適切な代名詞を選択することができる。	会話文の内容を読みとり、それにあてはまる適切な語句を選択することができる。	場面や状況に合わせて文脈を読みとり、適切な語句を選択することができる。
問4	場面や状況に合わせて文脈を読みとって、適切な動詞を選択することができる。	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。文型による語順の違いを理解できる。	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。文型による語順の違いを理解できる。
問5	文の応答や日本語から判断し、その文に合った単語を最初に与えられた文字から判断し、正しい綴りで書くことができる。	会話の流れに注意しながら、その選択肢の内容を十分に理解し、その場面にあった対話を組み立てることができる。	会話の流れを理解するとともに、その選択肢の内容を十分に理解し、その場面にあった対話を組み立てることができる。
問6	それぞれの語の意味と性質をつかみ、日本語に合うように文を組み立てることができる。慣用的な言い方による語順の違いを理解できる。	説明文やパンフレットに書かれている文章や情報を読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する語や絵を選ぶことができる。	絵や表などを活用しながら、説明文やメールの文章などを読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文や絵を選ぶことができる。
問7	会話文を読みとり、適切な絵やグラフを選ぶことができる。	文章の内容を読みとることができる。文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとることができる。	文章の内容を読みとることができる。文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとることができる。
問8	会話文の流れから適切な語を選んだり、話者の意図を読みとることができる。	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。
問9	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書くことができる。	与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書くことができる。
問10	与えられた条件を満たし、ねらいに沿って文章を正しく書くことができる。		
放送1	短い文章を聞きとり、その内容を把握し適切な絵を選択することができる。	短い会話文を聞きとり、その内容を把握して、適切な絵を選択することができる。	短い英文を聞きとり、その内容を表す絵を選択することができる。
放送2	対話を聞き、その場面や状況にあった絵を選択することができる。	短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選択することができる。	短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選択することができる。
放送3	対話を聞き、その対話の流れから続く適切な表現を選択することができる。	短い会話文を聞き、その会話内容に対する質問の答えとなる適切な絵を選択することができる。	会話文の内容を理解し、その内容に対する質問に適切に答えることができる。
放送4	複数の文章が示す情報を理解、整理しそれに当てはまる絵を選択することができる。	まとまった長い英文を聞き、その内容と同じ内容を示す日本語を選択することができる。	まとまった長い英文を聞き、その内容と同じ内容を示す日本語を選択することができる。
放送5	対話文を聞き、その内容を理解することができる。		

3. 小問ごとの観点・ねらい・正答率

第1学年

No	問題番号		正答		観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問	(選択式→番号, 記述式→言葉)	正答	表現の能力	理解の能力			
1		a	3			◎	会話の運用1	絵を見て、場面にあった適切な応答を選択することができる。	81
2	1	b	2			◎	会話の運用1		94
3		c	1			◎	会話の運用2	絵を見て、場面や状況を理解し、それぞれの質問に対して、適切な答えを選択することができる。	91
4	2	a	1			◎	会話の運用2		94
5		b	3			◎	会話の運用2		83
6		c	4			◎	会話の運用2		92
7		①	3			◎	語の運用1 (代名詞)	場面や状況に合わせて文脈を読みとり、適切な代名詞を選択することができる。	55
8	3	②	1			◎	語の運用1 (代名詞)		63
9		③	2			◎	語の運用1 (代名詞)		75
10		a	4			◎	語の運用2 (動詞)	場面や状況に合わせて文脈を読みとって、適切な動詞を選択することができる。	55
11	4	b	7			◎	語の運用2 (動詞)		54
12		c	3			◎	語の運用2 (動詞)		56
13		a	Thursday			◎	語の運用3 (綴り)	文の応答や日本語から判断し、その文に合った単語を最初に与えられた文字から判断し、正しい綴りで書くことができる。	37
14	5	b	friend			◎	語の運用3 (綴り)		61
15		c	read			◎	語の運用3 (綴り)		60
16		d	welcome			◎	語の運用3 (綴り)		59
17		a	(左から)2, 3, 1, 4			◎	文の構成 (語順)	それぞれの語の意味と性質をつかみ、日本語に合うように文を組み立てることができる。慣用的な言い方による語順の違いを理解できる。	81
18	6	b	(左から)1, 4, 3, 2			◎	文の構成 (語順)		48
19		c	(左から)4, 2, 1, 3			◎	文の構成 (語順)		51
20		d	(左から)3, 4, 1, 2			◎	文の構成 (語順)		33
21		a	3			◎	文章の理解	会話を読みとり、適切な絵やグラフを選ぶことができる。	83
22	7	b	4			◎	文章の理解		78
23		c	1			◎	文章の理解		66
24		A	3			◎	文章の理解		82
25		B	2			◎	文章の理解		68
26	8	C	4			◎	文章の理解	会話文の流れから適切な語を選んだり、話者の意図を読みとることができる。	62
27		D	2 (順不同可)			◎	文章の理解		53
28			6 (順不同可)			◎	文章の理解		65
29		a	Pardon?			◎	英作文1	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	62
30		b	Good bye.			◎	英作文1		65
31			I'm Kawasaki Taro.			◎	英作文2	与えられた条件を満たし、ねらいに沿って文章を正しく書くことができる。	77
32	10		I like music.			◎	英作文2		
33			I play the guitar every day.			◎	英作文2		
34		a	4			◎	聞きとり (場面)	短い文章を聞きとり、その内容を把握し適切な絵を選択することができる。	91
35	放送1	b	2			◎	聞きとり (場面)		72
36		c	1			◎	聞きとり (場面)		55
37		a	2			◎	聞きとり (会話)	対話を聞き、その場面や状況にあった絵を選択することができる。	39
38	放送2	b	3			◎	聞きとり (会話)		72
39		c	5			◎	聞きとり (会話)		88
40		a	3			◎	聞きとり (応答)	対話を聞き、その対話の流れから続く適切な表現を選択することができる。	75
41	放送3	b	2			◎	聞きとり (応答)		68
42		c	4			◎	聞きとり (応答)		60
43		a	8			◎	聞きとり (説明)	複数の文章が示す情報を理解、整理しそれに当てはまる絵を選択することができる。	59
44	放送4	b	1			◎	聞きとり (説明)		94
45		c	5			◎	聞きとり (説明)		89
46	放送5		1 (順不同可)			◎	聞きとり (内容理解)	対話を聞き、その内容を理解することができる。	75
47			4 (順不同可)			◎	聞きとり (内容理解)		77

◎…主たる観点

第2学年

No	問題番号		正答		観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問	(選択式→番号, 記述式→言葉)	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解				
1		a	2			◎	①会話文の組み立て	絵を見て状況を判断し、場面にあった適切な応答を選択することができる。	88	
2	1	b	1			◎			69	
3		c	3			◎			89	
4		①	during			◎			45	
5	2	②	station			◎		英文を読みとり、日本語にあった語を、与えられた最初の文字から判断し正しい綴りで書くことができる。	58	
6		③	wonderful			◎			40	
7		④	together			◎	②語彙の知識		42	
8		a	1			◎		会話文の内容を読みとり、それにあてはまる適切な語句を選択することができる。	78	
9		b	2			◎			76	
10	3	c	4			◎			74	
11		d	1			◎			62	
12		e	2			◎			57	
13		a	(左から)3, 1, 4, 2, 5			◎			72	
14		b	(左から)2, 1, 4, 5, 3			◎	③単語の並び替え	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。文型による語順の違いを理解できる。	32	
15	4	c	(左から)4, 2, 1, 5, 3			◎			65	
16		d	(左から)2, 5, 4, 1, 3			◎			17	
17		e	(左から)3, 5, 1, 2, 4			◎			63	
18		a	1			◎	①会話文の組み立て	会話の流れに注意しながら、その選択肢の内容を十分に理解し、その場面にあった対話を組み立てることができる。	68	
19		b	2			◎			77	
20	5	c	3			◎			45	
21		d	1			◎			72	
22		a	3			◎	④説明や対話文の読み取り	説明文やパンフレットに書かれている文章や情報を読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する語や絵を選ぶことができる。	63	
23	6	b	1			◎			52	
24		c	3			◎			23	
25		A	3			◎			51	
26		B	4			◎			80	
27		C	2			◎	⑤長い文章の読み取り	文章の内容を読みとることができる。文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとることができる。	40	
28	7	D	1			◎			54	
29		E	2(順不同可)			◎			48	
30			6(順不同可)			◎			54	
31	8	a	May I ask you some questions?			◎		与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	20	
32		b	Where do you want to go?			◎			33	
33		①	I went to TDL with my friends.			◎	⑥英作文	与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書くことができる。	39	
34	9	②	We took many pictures.			◎			33	
35		③	We had a great time.			◎			37	
36		a	3			◎	⑦リスニング(絵を選ぶ)	短い会話文を聞きとり、その内容を把握して、適切な絵を選択することができる。	74	
37	放送1	b	4			◎			77	
38		c	3			◎			85	
39	放送2	a	1			◎	⑧リスニング(会話内容)	短い会話文を聞き、その会話に続く適切な文章を選択することができる。	66	
40		b	2			◎			75	
41		a	4			◎	⑦リスニング(絵を選ぶ)	短い会話文を聞き、その会話内容に対する質問の答えとなる適切な絵を選択することができる。	48	
42	放送3	b	1			◎			89	
43		c	3			◎			90	
44	放送4		2(順不同可)			◎	⑧リスニング(会話内容)	まとまった長い英文を聞き、その内容と同じ内容を示す日本語を選択することができる。	63	
45			5(順不同可)			◎			53	

◎…主たる観点

第3学年

No	問題番号		正答		観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問	(選択式→番号, 記述式→言葉)	表現の能力	言語や文化についての知識・理解	理解の能力			
1		a	2			◎	会話の運用	絵を見て状況を判断し、場面にあった適切な応答を選択することができる。	90
2	1	b	1			◎			94
3		c	3			◎			94
4		①	often			◎			61
5		②	popular			◎			60
2		③	better			◎	語の運用1 (綴り)	英文を読みとり、日本語にあった語を、与えられた最初の文字から判断し正しい綴りで書くことができる。	31
6		④	example			◎			53
8		⑤	try			◎			68
9		a	4			◎			79
10		b	2			◎	語の運用2 (動詞・語句など)	場面や状況に合わせて文脈を読みとり、適切な語句を選択することができる。	69
11	3	c	4			◎			53
12		d	1			◎			60
13		a	(左から)2, 1, 3, 5, 4			◎			37
14		b	(左から)4, 1, 5, 3, 2			◎			53
15	4	c	(左から)3, 2, 4, 5, 1			◎	文の構成 (語順)	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。文型による語順の違いを理解できる。	62
16		d	(左から)5, 3, 1, 4, 2			◎			63
17		e	(左から)2, 5, 3, 4, 1			◎			63
18		a	2			◎			86
19		b	4			◎	文の運用 (会話文)	会話の流れを理解するとともに、その選択肢の内容を十分に理解し、その場面にあった対話を組み立てることができる。	80
20		c	1			◎			60
21		a	4			◎			75
22	6	b	3			◎	文章の理解	絵や表などを活用しながら、説明文やメールの文章などを読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文や絵を選ぶことができる。	77
23		c	1			◎			71
24		A	4			◎			50
25		B	3			◎			64
26		C	3			◎			74
27	7	D	2			◎	長文の理解	文章の内容を読みとることができる。文章の流れから、文章の概要を理解したり、読者の意図を読みとることができる。	74
28		E	1			◎			56
29		F	3(順不同可) 5(順不同可)			◎			61
30						◎			65
31	8	a	Is Jane there?			◎	英作文1 (条件作文)	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	48
32		b	Do you know the way to ABC Station?			◎			50
33		①	I like summer.			◎			65
34	9	②	Because I like hot weather.			◎	英作文2 (自由作文)	与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書くことができる。	65
35		③	I also enjoy swimming in the sea.			◎			84
36		a	3			◎			24
37	放送1	b	4			◎	聞きとり (説明)	短い英文を聞きとり、その内容を表す絵を選択することができる。	71
38		c	1			◎			67
39	放送2	a	2			◎	聞きとり (応答)	短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選択することができる。	67
40		b	3			◎			67
41		a	2			◎			48
42	放送3	b	1			◎	聞きとり (場面)	会話文の内容を理解し、その内容に対する質問に適切に答えることができる。	35
43		c	3			◎			56
44	放送4		2(順不同可) 6(順不同可)			◎	聞きとり (内容理解)	まとまった長い英文を聞き、その内容と同じ内容を示す日本語を選択することができる。	93
45						◎			78

◎…主たる観点

4. 聞き取り問題の内容

第1学年

中学1年、英語。

(効果音: チャンチャ〜ン)

〈 2 sec. 〉

ただいまから1年生の聞きとりテストを行います。13ページを見てください。

〈 4 sec. 〉

問題は5つあります。答えはすべて解答用紙に記入してください。メモをとってもかまいません。英文は2回言います。

〈 4 sec. 〉

問題1 a, b, cそれぞれ4つずつの絵があります。これから聞く英文の内容をもっともよく表している絵を1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (Boy): I'm Ken. And this is Lisa.
〈 3 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 3 sec. 》
- b. (Woman): Repeat after me.
〈 3 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 3 sec. 》
- c. (Boy): I watch soccer. But I don't play soccer.
〈 3 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 5 sec. 》

問題2 これから a, b, c の3つの会話が流れます。それぞれの会話の内容にもっともふさわしい人物を、下の絵の1から6の中から1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (Girl): What do you have?
(Boy): I have two books and a pencil in my box.
〈 3 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 3 sec. 》
- b. (Girl): What do you have?
(Boy): I don't have books and pencils in my bag.
〈 3 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 3 sec. 》
- c. (Girl): What do you have?
(Boy): I have two pencils, but I don't have books in my bag.
〈 3 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 5 sec. 》

問題3 これからエミとマイクが会話をします。会話の最後にチャイムが鳴ります。そのチャイムの部分にくるエミの言葉としてもっともふさわしいものを1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (Girl): Do you study math every day, Mike?
(Boy): Yes. And you?
《チャイム》 〈 5 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 5 sec. 》
- b. (Boy): Do you play any sports, Emi?
(Girl): Yes, I do. I play tennis.
(Boy): Does your sister play tennis, too?
《チャイム》 〈 5 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 5 sec. 》

- c. (Boy): Emi, is Mr. Sato the Japanese teacher?
 (Girl): No, he's not. Ms. Suzuki is the Japanese teacher.
 (Boy): What does Mr. Sato teach?
 《チャイム》 〈 5 sec. 〉 〈 rep. 〉
 《 7 sec. 》

問題 4 これからケンが a, b, c の 3 人の友人について紹介します。それぞれ下の 1 から 8 の、どの人物にあたるか 1 つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (Boy): This is my friend, Jim. He's a tennis player. He plays tennis every Sunday and Wednesday, and runs every Tuesday. He likes music, too. He plays the guitar every Friday.
 〈 5 sec. 〉 〈 rep. 〉
 《 6 sec. 》
- b. (Boy): This is my friend, Mike. He's a guitar player. He plays the guitar every Wednesday and Friday, and sings some songs every Tuesday. He likes sports, too. He watches baseball every Sunday.
 〈 5 sec. 〉 〈 rep. 〉
 《 6 sec. 》
- c. (Boy): This is my friend, Tom. He's a basketball player. He plays basketball every Tuesday and Friday. He listens to music every Sunday. But he doesn't play the guitar.
 〈 5 sec. 〉 〈 rep. 〉
 《 7 sec. 》

問題 5 日本へ勉強をしに来ているトムが、アメリカにいるお母さんに電話をかけます。2 人の会話を聞いて、その内容にもっともふさわしいものを 1 から 5 の中から 2 つ選んで、その番号を書きなさい。

- (RRRR... 電話の着信音と、電話をとる音)
 (Mother): Hello?
 (Son): Hello. I'm Tom.
 (Mother): Tom! How are you?
 (Son): I'm fine.
 (Mother): Do you eat breakfast every day?
 (Son): No, but I drink milk every morning.
 (Mother): Eat apples. Apples are good for breakfast.
 Do you have friends in Japan?
 (Son): Yes, I have many friends.
 Ken and Shun are my good friends.
 Ken likes math. And I study math with Ken every Wednesday.
 Shun likes soccer and he's a good soccer player.
 I go to soccer club with Shun on Monday and Friday.
 (Mother): Oh, you have good friends.
 〈 7 sec. 〉
 「繰り返します。」 〈 rep. 〉
 《 5 sec. 》

これで、1 年生の聞きとりテストを終わります。

第2学年

中学2年、英語。

(効果音： チャンチャ〜ン)

〈 2 sec. 〉

ただいまから2年生の聞きとりテストを行います。1ページを見てください。

〈 2 sec. 〉

答えはすべて解答用紙に記入してください。メモをとってもかまいません。英文は2回言います。

〈 2 sec. 〉

問題1

a, b, c それぞれ4つの絵があります。これから聞く英文の内容をもっともよく表している絵を1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (Girl): Ken and I are going to go shopping next Sunday. Do you want to go shopping with us, Bob?
(Boy): Sorry, I can't go with you, Emi. I must study in my house.
〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 2 sec. 》
- b. (Boy): Emi, where were you yesterday afternoon? I saw you in the library in the morning.
(Girl): That's right. I was studying there in the morning. And in the afternoon, I went to Mika's house and cooked Japanese food with her.
(Boy): I see.
〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 2 sec. 》
- c. (Boy): 《電話の音》 Hello.
(Girl): Hello, Mike. It's me, Emi. I'm in Sapporo now.
(Boy): Hi, Emi. You're in Sapporo! Is it cold there?
(Girl): Yes. It's cloudy now, but yesterday was rainy. How's the weather in Tokyo?
(Boy): It's sunny and hot. But it was cloudy yesterday.
〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉

問題2

これからイギリスの空港での会話が流れます。会話の最後にチャイムが鳴ります。そのチャイムの部分にくる言葉として、もっともふさわしいものを1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (*Official) (Man): Good morning. *official : 係官
(Girl): Good morning.
(Official) (Man): Passport, please?
(Girl): Sure. Here you are.
(Official) (Man): How long will you be in London?
《チャイム》 〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉
- b. (Official) (Man): You're from Japan... Are you a student?
(Girl): Yes, I am.
(Official) (Man): Where are you going to stay?
(Girl): I'm going to stay at my sister's house.
(Official) (Man): Okay. Please enjoy your time in London.
《チャイム》 〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉

問題 3

a, b, c それぞれ 4 つの絵があります。これから聞く会話のあとの質問に対する答えとして、もっともふさわしい絵を 1 つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (Boy): Hi, Emi. What will you do this winter vacation?
 (Girl): I'll visit my grandmother in Fukushima. I can see snow there.
 (Boy): That's great.
 (Girl): Yes. I'll go there with my mother and brother. But my father can't go with us.
 (Boy): Oh, really?

「質問します。」

(Woman): < Who will go to Fukushima? >
 < 3 sec. > < rep. > ‹‹ 2 sec. ››

- b. (Boy): Emi, this room is too hot.
 (Girl): Yes, it is. I don't like summer.
 (Boy): Will you open the window, please?
 (Girl): Okay.

「質問します。」

(Woman): < Where are they? >
 < 3 sec. > < rep. > ‹‹ 2 sec. ››

- c. (Boy): Good morning, Emi. (Speak like yawning...)
 (Girl): Hi, Tom. What time did you go to bed last night?
 (Boy): Well..., at two o'clock.
 (Girl): **Two** o'clock! What did you do?
 (Boy): I listened to music, and then I played a new video game. It was great. But I didn't do my English homework.
 (Girl): That's not good, Tom.
 (Boy): I know.

「質問します。」

(Woman): < What did Tom do last night? >
 < 3 sec. > < rep. >

問題 4

シュンのスピーチを聞いて、その内容にもっともふさわしいものを 1 から 6 の中から 2 つ選んで、その番号を書きなさい。

Today I'll talk about my favorite book. Please look at this book. This is an English book about baseball in America. It has many pictures of baseball players. I like baseball very much, so my sister Yuki bought it for me. Yuki went to America to study English last summer. She visited her friend there, too. She had a good time. So I want to go to America and watch a baseball game some day. But my English is not good. I have to study English a lot.

Thank you.

< 7 sec. > 「繰り返します。」 < rep. >
 ‹‹ 5 sec. ››

これで、2 年生の聞きとりテストを終わります。

第3学年

中学3年、英語。

(効果音: チャンチャ〜ン)

〈 2 sec. 〉

ただいまから3年生の聞きとりテストを行います。1ページを見てください。

〈 2 sec. 〉

答えはすべて解答用紙に記入してください。メモをとってもかまいません。英文は2回言います。

〈 2 sec. 〉

問題1

これから聞く a, b, c の英文や会話の内容をもっともよく表している絵を1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (Girl): Happy birthday, Mike. This is for you.
(Boy): Thank you. Can I open it?
(Girl): Sure. They are good for winter. They will make your hands warm.
(Boy): Very nice. I like them!
〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 2 sec. 》
- b. There is a beautiful house between two trees.
One tree is smaller than the house and the other tree is as tall as the house.
〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 2 sec. 》
- c. (Boy): Excuse me, Aya. What's this Japanese word?
(Girl): Let's see... It is two things.
(Boy): Oh, really?
(Girl): Yes. It is the weather or something to eat.
〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉

問題2

これから女性と男性の会話が流れます。チャイムの部分にくる女性の言葉として、もっともふさわしいものを1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (Woman): I want to go shopping today.
Ken, do you have anything to do today?
(Man): Will you say that again?
(Woman): Do you have anything to do today?
(Man): Pardon?
《チャイム》 〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉
《 2 sec. 》
- b. (Man): Hi, Lisa. I hear you got a new CD.
(Woman): Yes, it's very good.
(Man): I want to listen to it.
《チャイム》 〈 2 sec. 〉 〈 rep. 〉

問題 3 これから a, b, c の 3 つの会話が流れます。会話のあとでその内容について質問をします。その質問にもっともふさわしい答えを 1 つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- a. (Boy): What do Japanese students do after school, Sachiko?
(Girl): Well, some students play sports.
(Boy): So are you a member of any sports club?
(Girl): No. I'm a member of the chorus club.
「質問します。」
(Woman): < What does Sachiko do after school? >
< 2 sec. > < rep. >
- b. (Boy): Hi, Judy. I got two tickets for the movie tomorrow. Do you want to come with me?
(Girl): That's nice. What time will the movie start?
(Boy): At three o'clock. So let's meet at Kawasaki Station thirty minutes before.
(Girl): Great. See you tomorrow.
「質問します。」
(Woman): < What time will they meet for the movie? >
< 2 sec. > < rep. >
- c. (Man): Excuse me, but I'm looking for books for my children.
(Woman): Well, you can find them over there.
(Man): I see. Do you have any books about animals?
(Woman): Yes, of course. You can keep and read ten books for two weeks.
(Man): Thank you. My children like animals very much.
「質問します。」
(Woman): < Where are they talking? >
< 2 sec. > < rep. >

問題 4 これから順子 (Junko) が夏休みに参加をした体験学習のサマースクールについて、英語でスピーチをします。その内容にあっているものを 1 から 6 の中から 2 つ選んで、その番号を書きなさい。

Hi. I'm Junko. In August I joined an English summer school in Okinawa for two days. There were fifteen Japanese students and five students from America. We had to speak only English there.

On the first day, all the students talked about their favorite things. I talked about music. I like playing the piano and I have played the piano for 5 years.

On the second day, we played volleyball at the beach. Tom, one of the students from New York, was a member of my team. We enjoyed playing volleyball very much.

After that, we all ate curry and rice for lunch. I really enjoyed the English summer school.

On the first day I had a difficult time because I had to speak only English. But on the second day, I enjoyed speaking English. Now I think using English is important. I'm going to join the English summer school in Nagasaki next year. Will you join us, too? It's a lot of fun.

< 7 sec. >
「繰り返します。」 < rep. > ‹‹ 5 sec. ››

これで、3年生の聞きとりテストを終わります。

5. 分析と考察

第1学年

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
1	会話の運用1	a b c	絵を見て、場面にあった適切な応答を選択することができるか。	3 And you? 2 That's good. 1 Excuse me?	81 94 91	89	1 What's that? 3 It's not interesting. 2 Fine, thank you.
考察 状況が把握しやすい場面設定で、選択肢も基本的な短い英文であるため、全体的に理解できていた。a では、相手が Me, too. と応答していることを考慮せずに、絵だけで判断した誤答が目立った。							
2	会話の運用2	a b c	絵を見て、疑問文とその応え方を理解し、運用できるか。	1 Yes, he does. 3 She has three cats. 4 He plays soccer.	94 83 92	90	3 Yes, he is. 1 Yes, she does. 2 He plays baseball.
考察 一般動詞の疑問文に対する答え方は概ね理解できていた。疑問詞 How many の意味の理解と、絵をよく見て応答文を考えることが十分にできていなかった。							
3	語の運用1 (代名詞)	① ② ③	基本的な代名詞の運用を理解し、正しく運用できるか。	3 it 1 She 2 your	55 63 75	64	2 he 2 He 1 my
考察 代名詞の運用についてはまだ十分に定着していないと思われる。a の誤答の原因としては、文脈をしっかり読みとらずに答えているものと考えられる。							
4	語の運用2 (動詞)	a b c	基本的な動詞の運用を理解し、正しく運用できるか。	4 want 7 does 3 studies	55 54 56	55	1 am 2 is 5 teaches
考察 a と b は一般動詞と be 動詞の違いを理解していない誤答と思われる。c の問題からは文脈と単語の意味の理解が不十分であることがわかった。							
5	語の運用3 (綴り)	a b c d	英文を読みとり、日本語にあった語を、正しい綴りで書くことができるか。	Thursday friend read welcome	37 61 60 59	54	無答 Thuseday 無答 frendo fliend 無答 reed ried 無答 wercome
考察 正しい単語の綴りを書くことができず、発音を手がかりにローマ字表記を用いて単語を書こうとする傾向が見られた。a については Thursday と Tuesday を混同していることが多く見られた。							
6	文の構成 (語順)	a b c d	正しい語順で文を組み立てることができるか。語順の違いを理解できるか。	2314 1432 4213 3412	81 48 51 33	53	2134 1342 4123 4123
考察 a, the の位置に対する理解が不十分である解答が多く見られた。d については疑問文の基本構造を理解していないための誤答と思われる。							
7	文章の理解	a b c	会話文を読みとり、適切な絵やグラフを選ぶことができるか。	3 飲み物を買おうとしているジム、自宅へ誘うケン 4 横浜、日曜、午前、D-12 1 バスケット3、サッカー5、野球2、テニス4	83 78 66	76	2 涼しい店でジュースを飲んでいる2人 1 横浜、土曜、午後、D-11 3 バスケット3、サッカー5、野球3、テニス4
考察 会話の内容はほぼ理解できていたが、内容についての細かい情報が読みとれないことによる誤答が多く見られた。							
8	長文の理解	A B C D	会話の内容を読みとり、流れに合う応答を選ぶことや、話者の意図を読みとることができるか。	3 タカシもマイクのように川崎の～。 2 タカシが、山梨では多摩川で泳ぐ～。 4 What is it? 2 タカシとアヤは川崎の～。 6 マイクとアヤは土曜日～。	82 68 62 53 65	66	2 タカシもアヤのように川崎出身～。 1 タカシが、川崎出身ではなく～。 3 What do you want? 1 毎朝マイクは犬と～。 5 多摩川エコミュージアム～。
考察 A では会話の流れを理解し Me, too. の意味を解釈することが概ねできていた。C では前後の会話の内容をしっかりと理解して応答文を選ぶことができていない誤答が目立った。内容を正確に読みとる力が求められる。							

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
9	英作文1	a b	与えられた場面の中で、適切な表現で書くことができるか。	(例) Pardon? Good bye. See you.	62 65	64	Padon. Good bay. She you.
<p>考察 それぞれの場面に合った表現が、音声としては概ね定着していると思われる。しかしながら、正しい綴りで書くことができない例が多く、ローマ字を手がかりに単語を書こうとする傾向が強く見られた。</p>							
10	英作文2	無答 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点	与えられた条件を満たし、ねらいに沿って文章を書くことができるか。	(例) I'm Kawasaki Taro. I like music. I play the guitar every day.	4 4 2 2 7 17 18 46	平均 得点 4.6	My neme Taro. I from Kawasaki. I'm live in Kawasaki. I live Kawasaki.
<p>考察 自己紹介を英語で表現することは概ねできているが、正しい綴りで書くことができない、be 動詞が欠落してしまう、be 動詞と一般動詞を同時に並列してしまう、といった誤答が多く見られた。</p>							
放 1	聞きとり (場面)	a b c	短い文を聞いて、場面に 応じた絵を正しく 選ぶことができるか。	4 リサを紹介するケン 2 繰り返す指示を出す先生 1 サッカーを観戦する少年	91 72 55	73	2 黒板に字を書く先生 1 音楽を聞かせる先生 2 サッカーを見ない少年
<p>考察 aは他者を紹介している状況だということがよく理解できていた。cは2文からなる説明であったため、しっかりと2文目まで内容を理解した上で絵を選ぶことができていないことが、誤答の要因と考えられる。</p>							
放 2	聞きとり (会話)	a b c	対話を聞き、その状況 に合った絵を選ぶ ことができるか。	2 箱に本2冊、鉛筆1本 3 かばんの中に何も ない 5 かばんに鉛筆2本 だけ	39 72 88	66	1 かばんに本2冊、鉛筆1本 6 箱の中に何も ない 4 箱の中に本1冊、鉛筆2本
<p>考察 aとbではbagかboxかを正確に聞きとることができない誤答が目立った。cは比較的正答率が高く、butに続く2文目の説明も理解して答えることが概ねできていた。</p>							
放 3	聞きとり (応答)	a b c	対話を聞き、その対話 に続く応答を選ぶ ことができるか。	3 Me, too. 2 No, she doesn't. 4 He teaches music.	75 68 60	68	1 Yes, I am. 3 Yes, she is. 2 She teaches math.
<p>考察 bではbe動詞を用いて応答する誤答が見られ、一般動詞とbe動詞の疑問文について理解が十分でないと思われる。cはMrを聞きとりHeを選ぶことができなかったことが誤答の要因であると考えられる。</p>							
放 4	聞きとり (説明)	a b c	複数の文章が示す情報 を理解・整理し、適 切な絵を選ぶか。	8 日曜と水曜テニス、火曜 走る、金曜ギター。 1 水曜と金曜ギター、火曜 歌う、日曜野球を見る。 5 火曜と金曜バスケット、日曜 音楽鑑賞、ギター弾かず。	59 94 89	81	2 日曜と水曜テニス、火曜歌う、 金曜ギター。 6 水曜と土曜テニス、日曜走る、 火曜歌う。 4 火曜と金曜バスケット、土曜音楽鑑 賞、日曜ギター。
<p>考察 bとcは概ね理解できていた。aについては、runsを正確に聞きとれず、He likes music, too. のmusicから連想し、歌を歌っている絵のある2を選んでしまったことが、誤答の要因ではないかと考えられる。</p>							
放 5	聞きとり (内容理解)		対話を聞き、その内容 を理解することがで きるか。	1 トムは毎日朝食を～。 4 トムとケン毎週水曜日に 数学を～。	75 77	76	2 トムは毎日牛乳と～。 5 トムとシュンは火曜日と金曜 日サッカー～。
<p>考察 会話全体の内容を正しく理解できず、聞かされた語と場面から連想した誤答が目立った。人物の関係や曜日などを正しく聞きとれなかったことが誤答の要因と考えられる。会話全体の内容を細かく把握する力が求められる。</p>							

第2学年

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
1	会話の運用	a b c	絵を見て状況を判断し、場面にあった適切な応答を選択することができるか。	2 It's under the chair. 1 Sure. How many? 3 The big bag.	88 68 89	82	3 It's on the chair. 3 Yes, that's mine. 2 The small bag.
<p>考察 全体的には概ね場面にあった適切な応答を選択できていた。bでは、do you have～?の疑問文に対して、3のYes～.で答える文が正しいと思い、選んでしまった間違いが多かった。</p>							
2	語の運用1 (綴り)	① ② ③ ④	英文を読みとり、日本語にあった語を、正しい綴りで書くことができるか。	during station wonderful together	45 58 40 42	46	無答 無答 無答 wonderful 無答
<p>考察 日本語に合った英単語は音声として概ね理解できているようであるが、それを正しく綴ることができない。また、③は wonderful という単語が正確に書けていない解答も多かった。</p>							
3	語の運用2	a b c d e	会話文の内容を読みとり、それにあてはまる語句を選択することができるか。	1 am going to study 2 was helping 4 me 1 What 2 must not	78 76 74 62 57	69	2 was studying 1 am helping 1 mine 2 Which 1 won't
<p>考察 全体的に会話文の前後関係から判断することが困難だったようである。特に What などの疑問詞や助動詞 can などを使った内容の文が理解できていないようである。</p>							
4	文の構成 (語順)	a b c d e	正しい語順で文を組み立てることができるか。文型による語順の違いを理解できるか。	31425 21453 42153 25413 35124	72 32 65 17 63	50	31245 24513 42351 24513 32415
<p>考察 bでは in front of～の語句が理解できていないようである。dでは前置詞と所有格が十分に理解できていないと思われる。</p>							
5	文の運用	a b c d	会話の内容を正しく把握し、状況に応じた文を選ぶことができるか。	1 Where did she buy it? 2 Sorry, I can't. 3 Will you teach me? 1 Baseball.	68 77 45 72	66	2 What did she buy? 3 Yes, you must. 1 May I teach you? 2 To play soccer.
<p>考察 概ね状況に応じた文を選択できていた。特に a, cの問題が会話の内容を把握するのが困難だったようである。</p>							
6	文章の理解	a b c	説明文やグラフ・表を読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する語句や絵を選ぶことができるか。	3 絵はがき2枚 1 夕食4名、掃除3名のグラフ 3 On Thursday	63 52 23	46	2 ハッ橋の絵 4 夕食3名、掃除4名のグラフ 1 On Monday
<p>考察 正答率がやや高いaに関しては、絵を手がかりにして内容が理解できていたようである。bとcに関しては、細かく文章を読みとれなかったため、内容理解が不十分であったと思われる。</p>							

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
7	長文の理解	A B C D E	まとまった文章を読みとり、文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を正しく読みとることができるか。	3 Sure, I will. 4 ニュージーランドでは～ 2 川崎では～買うことができる 1 川崎農産品ブランドのページ 2 アヤは来年2月の～ 6 アヤとトムは職業～	51 80 40 54 48 54	55	2 Sorry, you can't. 1 今日はずらしく～ 3 トムは新鮮で～ 2 川崎名産(くずもち) ページ 3 トムは職業体験～ 4 川崎で作られた～
<p>考察 設問をすべて日本語にし、設問の前後の英文の内容や全体の内容の理解を確認する問題であった。C以降の問題は英文の後半の文章を読みとることができていないことが考えられる。</p>							
8	英作文(部分)	a b	与えられた場面をもとに、正しく英文で表現できるか。	May I ask you some questions? Where do you want to go?	20 33	27	
<p>考察 全体的に正答率が低く、特に中下位群の中には無答も見られた。a では、May I ～?の文を正確に書けていないものも見られた。</p>							
9	英作文(条件)	無答 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点	与えられた条件を満たすように、ねらいに沿って文章を正しく書くことができるか。	I went to TDL with my friends. We took many pictures. We had a great time.	25 13 3 4 13 12 11 19	平均 得点 2.7	
<p>考察 無答は25パーセントであったが、そのほかはつながりのある文を3文書こうとした解答が多く見られた。動詞の過去形の間違いや単語の綴りミスなどの間違いが多かった。</p>							
放 1	聞きとり(説明)	a b c	短い会話文を聞いて、場面に応じた絵を正しく選ぶことができるか。	3 ボブが一人の絵 4 16:00 エミと辺が料理 3 札幌の天気(昨日雨、今日曇り) 東京の天気(昨日曇り、今日晴れ)	74 77 85	79	4 エミとボブが買い物 3 11:00 エミと辺が食事 2 札幌の天気(昨日雨、今日曇り) 東京の天気(昨日雨、今日晴れ)
<p>考察 概ね場面に応じた絵を選ぶことができていた。a は会話の内容を注意深く聞くことが不十分であったため間違えたと思われる。</p>							
放 2	聞きとり(応答)	a b	質問に対して、適切な応答文を正しく選ぶことができるか。	1 For two weeks. 2 Thank you, I will.	66 75	71	3 For sightseeing. 3 Yes, please.
<p>考察 空港での会話を想定した会話であったが、a は How long～?の質問に対して For～.と考え、3 を選択してしまったと思われる。</p>							
放 3	聞きとり(会話)	a b c	短い会話文を聞いて、その内容に対する質問の答えとなる絵を正しく選ぶことができるか。	4 母、兄、エミの絵 1 二人が室内にいる絵 3 音楽を聴いている絵とゲームをやっている絵	48 89 90	76	2 祖母の絵 3 二人が公園にいる絵 2 勉強している絵とゲームをやっている絵
<p>考察 全体的に英文を正しく聞きとり、質問の答えとなる絵を選ぶことができた。a は内容を十分に理解していないため間違えたと思われる。</p>							
放 4	聞きとり(内容理解)		スピーチの内容を聞き、その内容と同じ内容の日本語を正しく選ぶことができるか。	2 ユキは今年の夏、～ 5 シュンはいつか～	63 53	58	1 ユキはシュンから～ 4 シュンはアメリカで野球の～
<p>考察 誤答で最も多かったのは1と4で、ユキとシュンのことについて十分に内容が理解できていないようである。ある程度のまとまった英文を細部まで聞きとめることは難しいと思われる。</p>							

第3学年

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
1	会話の運用	a b c	絵を見て状況を判断し、場面にあった適切な応答を選択することができるか。	2 That's a nice idea. 1 Stop it! 3 I'll get it.	90 94 94	93	3 Excuse me. 3 You must go now! 2 I'll show it to you.
<p>考察 概ね理解できていた。今後も自然な会話の流れを重視した指導の継続がのぞまれる。</p>							
2	語の運用1 (綴り)	① ② ③ ④ ⑤	英文を読みとり、日本語にあった語を、与えられた最初の文字から判断し、正しい綴りで書くことができるか。	often popular better example try	61 60 31 53 68	55	無答 other 無答 popular 無答 become 無答 example example 無答 too tri
<p>考察 中下位群の誤答および無答が目立つ。発音や大まかなスペルは覚えているのだが、完全には覚えきれていないものが、特に②④のようなスペルの長いものに多く見られた。また、③は日本語の意味から英単語を連想するのが難しかったのか、頭文字と文字数から連想される単語を答えたものも目立った。</p>							
3	語の運用2 (動詞・語句など)	a b c d	場面や状況に合わせて文脈を読みとり、適切な語句を選択することができるか。	4 was written 2 have to cook 4 How long 1 because	79 69 53 60	65	2 has written 3 have cooked 1 What time 3 that
<p>考察 aは受動態と現在完了形の区別がつかずに has written としてしまった誤答が多い。cでは前後の文意をしっかりと理解できずに、適切な表現が選ばなかったと思われる。</p>							
4	文の構成 (語順)	a b c d e	日本語に合うよう文を組み立てることができるか。文型による語順の違いを理解できるか。	21354 41532 32451 53142 25341	37 53 62 63 63	56	13524 41235 32415 53124 54312 25314 53241 52341
<p>考察 全般的に中下位群の誤答が目立つが、aに関しては上位群でも誤答が多かった。aでは what do you have subjects の誤答が圧倒的で what+名詞の理解が不十分であった。bでは it +to+動詞の原形の構文だが to の後に important を置く誤答が目立ち、品詞の理解が不十分であったと思われる。cでは be 動詞を用いた現在完了形、dでは to+動詞の原形がすぐ前の(代)名詞を修飾する形を把握できていないと思われる。</p>							
5	文の運用 (会話文)	a b c	会話の流れと選択肢の内容を十分に理解し、その場面にあった対話を組み立てることができるか。	2 how to write～. 4 my bike is older～. 1 I've wanted to see～.	86 80 60	75	3 where to study～. 3 your bike is older～. 2 I've just finished～.
<p>考察 中下位群の誤答が目立つ。bとc、ともに会話の流れを十分に理解できなかったことが原因と思われる。</p>							
6	文章の理解	a b c	絵や表などを活用しながら、説明文やメールの文章などを読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文や絵を選ぶことができるか。	4 猫 3 He went to Akihabara～. 1 They are twenty-one students.	75 77 71	74	2 チーター 1 He enjoyed the animation～. 2 They are twenty-eight students.
<p>考察 概ねよく理解しているようである。しかしcのように一部の情報を読んだだけで解答しているものもある。文章を最後まで読んだうえで、全体を理解する力が不十分であると思われる。</p>							

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
7	長文の理解	A B C D E F	文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとることができるか。	4 I don't know which～ 3 だるま風鈴はこの風鈴～ 3 ジェーンはボランティアの～ 2 ミカたちが来年の初詣～ 1 川崎大師は風鈴作りを～ 3 川崎大師の初詣は～ 5 ミカはボランティアの人の～	50 64 74 74 56 61 65	64	2 I don't know how to use it 2 風鈴市には毎年約3,000個の～ 1 ジェーンは土曜日にミカと～ 1 ミカとジェーンが英語で会話を～ 4 川崎大師初詣として～ 2 ミカとジェーンは午前10時川崎～ 1 ミカは川崎大師でだるまを～
<p>考察 概ね話の内容は理解できたようであるが、細かい部分の読みとりが不十分であった。B、C、Fなどは正確に読めない、日本語の設問でも正解を導けない。時間内に長文を正確に読む力をつけていきたい。</p>							
8	英作文1 (条件作文)	a b	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができるか。	Is Jane there? Do you know the way to ABC Station?	48 50	49	無答 May I Jane? Are you Jane? 無答 Tell me go to ABC Station.
<p>考察 全体的に正答率が低く、中下位群の無答が多い。a は動詞の使い方の誤りが目立った。また状況にあった表現ではないものも多い。b は語数の制限を満たそうとして、文になっていない英文が多かった。電話や道案内の表現は決まり表現が多いので、繰り返し学習をすることで定着を図ってほしい。</p>							
9	英作文2 (自由作文)	無答 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点	与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書くことができるか。	I like summer. Because I like hot weather. I also enjoy swimming in the sea.	10 1 6 9 9 19 14 32	平均 得点 3.9	
<p>考察 中下位群では無答や誤答が目立つ。考えた日本語をそのままの形で英語にしようとしているものが見られ、英文として正しく書けていないものが多い。主語や動詞の欠落が見られ、今後は基本的な文構造の定着が望まれる。</p>							
放 1	聞きとり (説明)	a b c	短い英文を聞きとり、その内容を表す絵を選択することができるか。	3 手袋 4 家と同じ高さの木と家より低い木 1 あめ	84 24 71	60	1 帽子 2 家より高い木と家より低い木 3 くも
<p>考察 a と c は概ね理解できていた。b は比較級の理解が不十分であったための誤答が目立った。</p>							
放 2	聞きとり (応答)	a b	短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選ぶことができるか。	2 Are you free today? 3 OK. I'll bring it tomorrow.	67 67	67	1 Do you think so, too? 1 Sure. I'll get it for her～.
<p>考察 a については繰り返し質問されている内容を理解できないと、同じ意味をもった表現を選ぶことができないと思われる。b は会話の内容と話している人物を把握していないために誤答が目立った。</p>							
放 3	聞きとり (場面)	a b c	会話文の内容を理解し、その内容に対する質問に適切に答えられるか。	2 She sings songs. 1 At two thirty. 3 In the library.	48 35 56	46	1 She plays some sports. 2 At three o'clock. 1 In the bookstore.
<p>考察 状況と内容を理解できなかったために誤答が目立った。b に関しては聞こえた語のみを手がかりとしたことによる誤答が多かった。</p>							
放 4	聞きとり (内容理解)		まとまった長い英文を聞き、その内容と同じ内容を示す日本語を選択することができるか。	2 音楽が好きでピアノを～。 6 来年長崎で行われる～。	93 78	86	5 サマースクールの2日間～。 4 カレーライスを食べたあと～。
<p>考察 概ね話全体の内容を理解できていた。聞こえた語と場面から連想した誤答や時系列が理解できずに4を選んだ誤答が目立った。話全体の意味を正確に把握する力が求められる。</p>							

6. 指導にあたって

(1) 学習指導上の考察

①言語や文化についての知識・理解に関する問題について

- 1 学年一・問2は正答率が高かったが、問3では代名詞の運用がまだ十分に定着していない。
 - ・問4では、一般動詞と be 動詞の違いを理解していないことによる誤答が目立った。
 - ・問5では、基本的な単語である曜日の正答率が37%と、最も低い正答率となった。
- 2 学年一・問2では、“station”以外の3単語の正答率が高くなかった。発音と綴りとの関係をより学習する必要があると考えられる。
 - ・問3は、概ね高い正答率であった。
 - ・問4b、dは、正答率が低い。前置詞の使い方が理解できていないことが理由と考えられる。
- 3 学年一・問2、問3、問4は中下位群の誤答および無答が目立った。
 - ・“better”のような比較級を用いた語の知識は正確ではなかったようだ。また、問4aの疑問詞＋名詞の形についての知識も正確ではなかった。

◆学習指導上の課題

語彙の指導については、単語テストや宿題などで単語を書く作業は各学校で実施しているが、定着率は高くはないようである。これは、単語テストのために一時的に単語を覚えているだけだからではないかと思われる。より多くの単語を身につけさせるためにも、ある話題について文章を書く作業を1年次から継続する必要があると考える。また、基本文型の語順が正確に身につけていないこともうかがえる。学習で得た知識を運用まで高めるためのステップが必要であろう。3年生の誤答には、1、2年次の学習が十分ではないことが原因と思われるものが多い。文法事項や単語などをスパイラルに学習する必要がある。

②理解の能力に関する問題について

- 1 学年一・問7bでは、複雑な情報を正確に読みとることができる生徒が多いことがわかった。
 - ・問8では、細かい内容は十分ではないが、概要は読みとれている生徒が多いことがわかった。
 - ・聞きとり問題では、概ね正答率が高く、日頃の指導の成果が現れていた。
- 2 学年一・問1は、正答率が高く対話の内容を理解し、適切な語句や文章を選ぶことができた。
 - ・問6では、全体的に正答率が低い。これは、文章や情報を読みとる訓練ができていないことが原因だと考えられる。
 - ・問7では、概要は読みとれていたようだが、細かい点を読み誤っていたようである。
 - ・聞きとり問題では、問題4の正答率が高くない。これは、ある程度まとまった英文を細部まで聞きとる練習が不十分であったことが原因であると考えられる。
- 3 学年一・問5、問6は、対話や文章の内容が理解できたようで、正答率が高かった。
 - ・問7では、かなりの長文ではあるが正答率が高かった。誤答は、細かい部分の読みとりが不十分であったことが原因と考えられる。
 - ・聞きとり問題では、問題3の正答率が低い。状況と内容を理解できなかったことが原因と考えられる。

◆学習指導上の課題

長文読解問題では、例年よりも正答率が高い結果となった。設問や選択肢が日本語になったことも原因の1つではないかと考えられる。聞きとりテストでは、文章が長くなると瞬時に情報を整理しにくくなる。日頃から教師やALTが英語で身の回りのことなどを話すなど、まとまった英文の内容を聞きとる活動を継続することが必要である。

③表現の能力に関する問題について

- 1 学年一・問9、問10では、正しい綴りで書くことができていない。特に中下位群では無答もあった。
 - ・問10では、be 動詞を用いた文構造の定着率が低い。
- 2 学年一・問8では、与えられた場面の中で、適切な表現を取捨選択して書くことができない生徒が多かった。
 - ・問9は、自由作文に近い形としたが、過去の時制を使ってつながりのある文章を書くことができない生徒が多かった。
- 3 学年一・問8では、助動詞や道案内の知識が運用の段階まで高められていないことがわかった。
 - ・問9は、自由作文に近い形としたが、正確な文章を書くことができない生徒が多かった。日頃の授業の中で、つながりのあるまとまった文章を書かせる機会を増やしていくことが必要である。

◆学習指導上の課題

今年度より、全学年にとっさの一言を問う問題を、昨年度より2年、3年には自由作文に近い形の問題を採り入れた。どの学年とも、正答率は低かったが、何とか表現しようとする意欲が見られた。

言語の習得過程を考えると、文字で事象を表現することは難しい作業である。日頃の授業で英作文を継続的に取り入れることは難しい一面もある。生徒が書いた文章を添削する作業に時間がかかることや生徒の能力の差が大きいことが原因の1つだと思われる。英語学習の目的の1つである自己表現能力の向上をめざし、1文から始め、3～4文で身の回りのことを表現する能力を身につけるよう継続指導することは大切である。

(2) 反省と今後の課題

今年度も、検査本来の目的、主旨をとらえ各問題を作成した。調査の結果から例年同様の反省が出た。昨年度よりもより観点別評価を明確にするよう工夫をした。長文読解問題（1年間8、2年間7、3年間7）に関して、設問とその選択肢をすべて日本語とし、より観点を明確にした。表現の能力の問題では、条件を設定した作文と自由作文に近い形式の問題を実施した。オープンエンドの問題で、生徒の表現力を発揮しやすくした。アンケートから、作文問題の採点基準についてご意見をいただいたが、今後も各校での授業の実態に合わせた採点をお願いしたい。今後も、より妥当性が高く、個々の生徒の各観点を力を判断できるような作問を進めていきたい。

対話活動などのオーラルコミュニケーション活動と文法の説明や練習問題などを扱う時間的なバランスは難しい問題である。生徒の学習状況や文法事項に合わせて、帯活動などを工夫し4技能を高め、より高い定着率を得られるような工夫が必要である。作文問題には無解答も見られることから、自分の思いや考えを英文で表すような活動を取り入れることが重要であると考えられる。これから授業も増えていくことになっており、語彙数などの学習内容も増える。増えた時間をどのように有効に活用していくかは大きな課題となろう。中学校3年終了時に英語学習を通してどのような力を身につけさせたいのかを明確にし、様々な活動を組み込み、生徒の興味関心を持続させる工夫は絶やすことができないところである。

Ⅲ 生活や学習についての アンケート

調査の概要

1 調査の目的

川崎市の公立中学校に在籍する生徒の生活や学習についての意識や実態を把握することにより、各学校における指導方法や授業改善等に資するとともに、本市学校教育全体の充実に向けた基礎資料として活用する。

2 調査の設計

- (1) 調査実施校及び対象者
市内公立中学校第2学年に在籍する全生徒 *調査当日の欠席者を除く
- (2) 調査校数及び回答者数
学校数：51校 回答者数：8,064名
- (3) 調査実施期日
平成21年11月11日(水) 川崎市学習状況調査の一環として各教科の調査後に実施
- (4) 調査方法
記名の質問紙法調査による
- (5) 調査内容及び設問数
生徒の生活と学習に関する意識と実態についての調査 45問
- (6) 設問の主な観点及び視点

	観 点	視 点
1	学校生活に対する意識	楽しさ
2	学習全般に対する意識	好感度、必要性、理由、相談相手
3	各教科等に対する意識	好感度、理解度、有用感
4	家庭学習の実態	学習時間、学習内容、通塾
5	家庭生活の実態	睡眠時間、朝食の摂取、学習の準備、 テレビ・ビデオ・ゲームの視聴・実施時間 1ヶ月の読書量
6	各教科等に対する意識・実態	学習内容・方法に対する好感度 日常生活への活用や関連 等

3 調査結果の集計・分析に当たっての留意事項

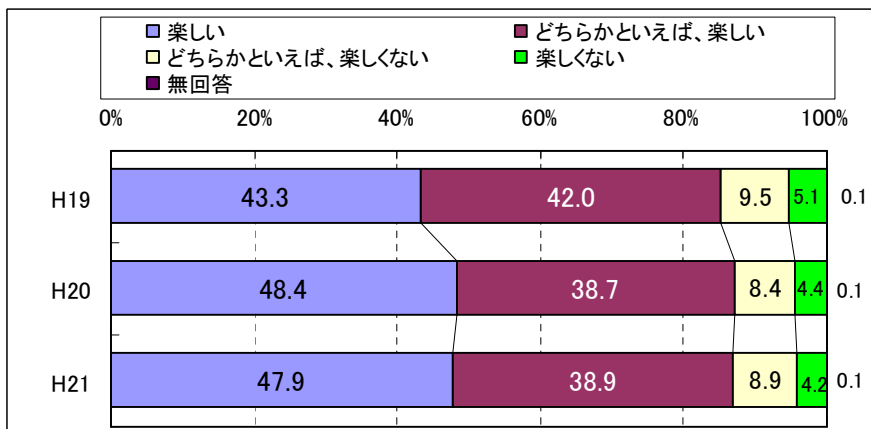
- (1) 単純集計及び分析
 - ①2の(6)にある「設問の観点」ごとに項立てを行い、分析を行った。
 - ②設問ごとに集計結果をグラフで表し、考察を加えた。
 - ③一部の設問では前々年度、前年度の結果を併記して、経年比較分析を行った。
- (2) クロス集計及び分析
いくつかの設問については、クロス集計という手法を用いて分析した。これは、設問Aでの選択肢ごとに設問Bの回答を集計することで、設問Aでの回答選択の違いを設問Bで説明する方法である。このことにより、設問Aと設問Bの二つの設問の間の関連や相関関係等を分析した。なお、クロス集計では無回答者を除いて集計した。
- (3) 各教科の正答率との相関
いくつかの設問については、回答ごとに学習診断テストの各教科の正答率を算出した。これにより各教科の正答率と各設問の回答との間の相関関係について分析した。なお、本分析においても無回答者を除いて集計した。
- (4) 各グラフには、見やすさを考慮して調査結果の割合の数値を記入しきれていないものがある。単純集計については、「資料 調査結果集計表」の該当設問の数値でご確認願いたい。
- (5) 数値に関しては、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、合計が100%にならないことがある。

調査結果と分析

I 単純集計

1 学校生活に対する意識

(1) 学校生活の楽しさ【問1】

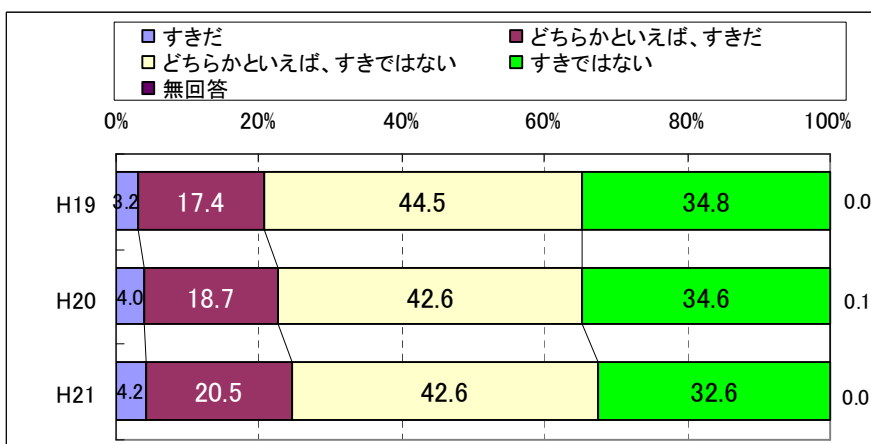


○47.9%の生徒が「楽しい」と回答しており、「どちらかといえば、楽しい」の回答と合わせると86.8%である。

○「楽しい」と「どちらかといえば、楽しい」の合計を過去3年間で平均すると、86.4%となる。

2 学習全般に対する意識

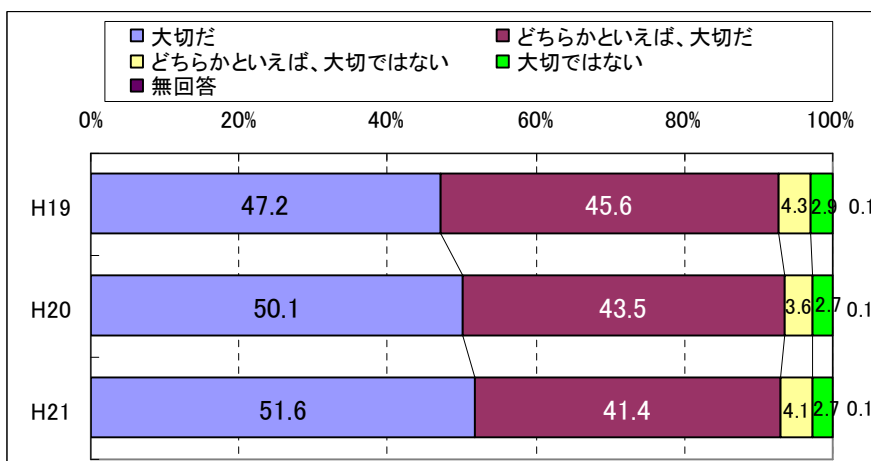
(1) 好感度【問2】



○勉強が「すきだ」、「どちらかといえば、すきだ」を合わせると24.7%となり、昨年度より2.0ポイント増加している。

○32.6%の生徒が「すきではない」と回答しており、「どちらかといえば、すきではない」と合わせると75.2%である。

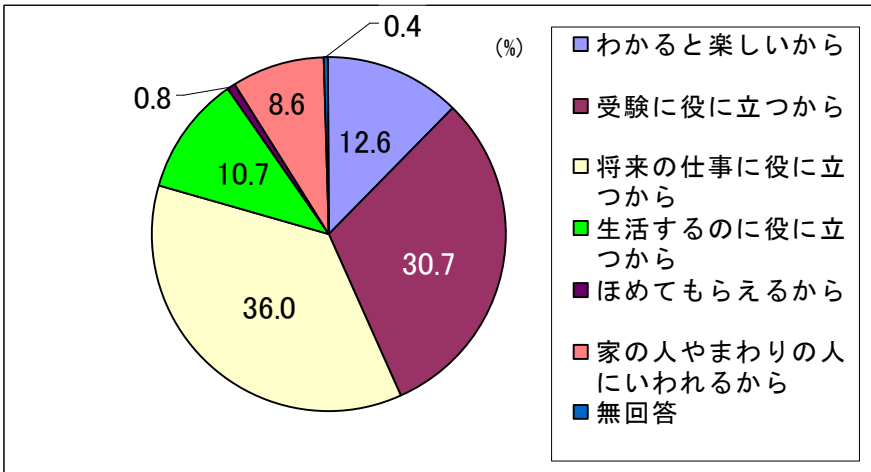
(2) 必要性【問3】



○51.6%の生徒が勉強は「大切だ」と回答しており、昨年度より1.5ポイント、一昨年度より4.4ポイント増加している。

○「大切だ」、「どちらかといえば、大切だ」と回答した生徒を合わせると93.0%となり、9割を超える。

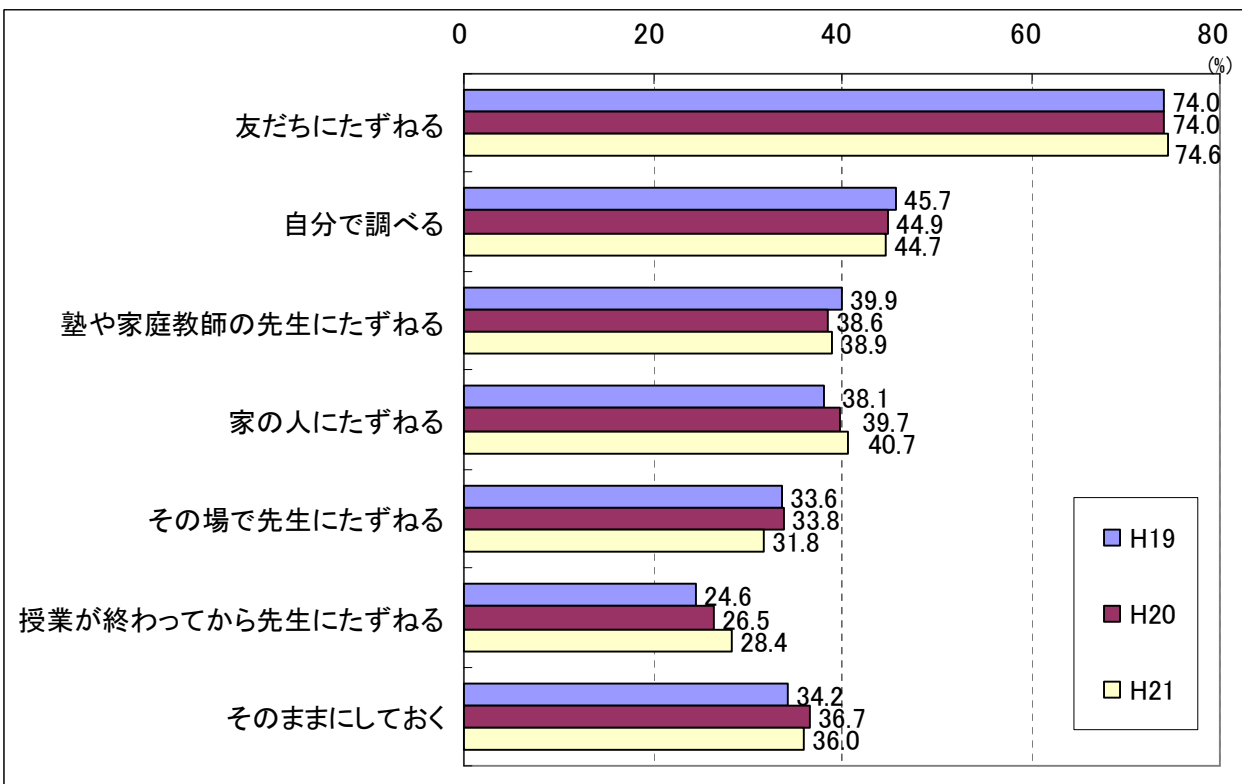
(3) 理由【問4】



○勉強する一番の理由として「将来の仕事に役に立つから」を挙げている生徒が 36.0%で最も多く、次に「受験に役に立つから」が 30.7%で続いている。

○「わかると楽しいから」(12.6%)、「生活するのに役に立つから」(10.7%)という回答も1割以上ある。

(4) 相談相手【問20】(複数回答可)



○授業の中でわからないことがあったときの相談相手として、「友だち」を挙げている生徒の割合が最も高く 74.6%である。

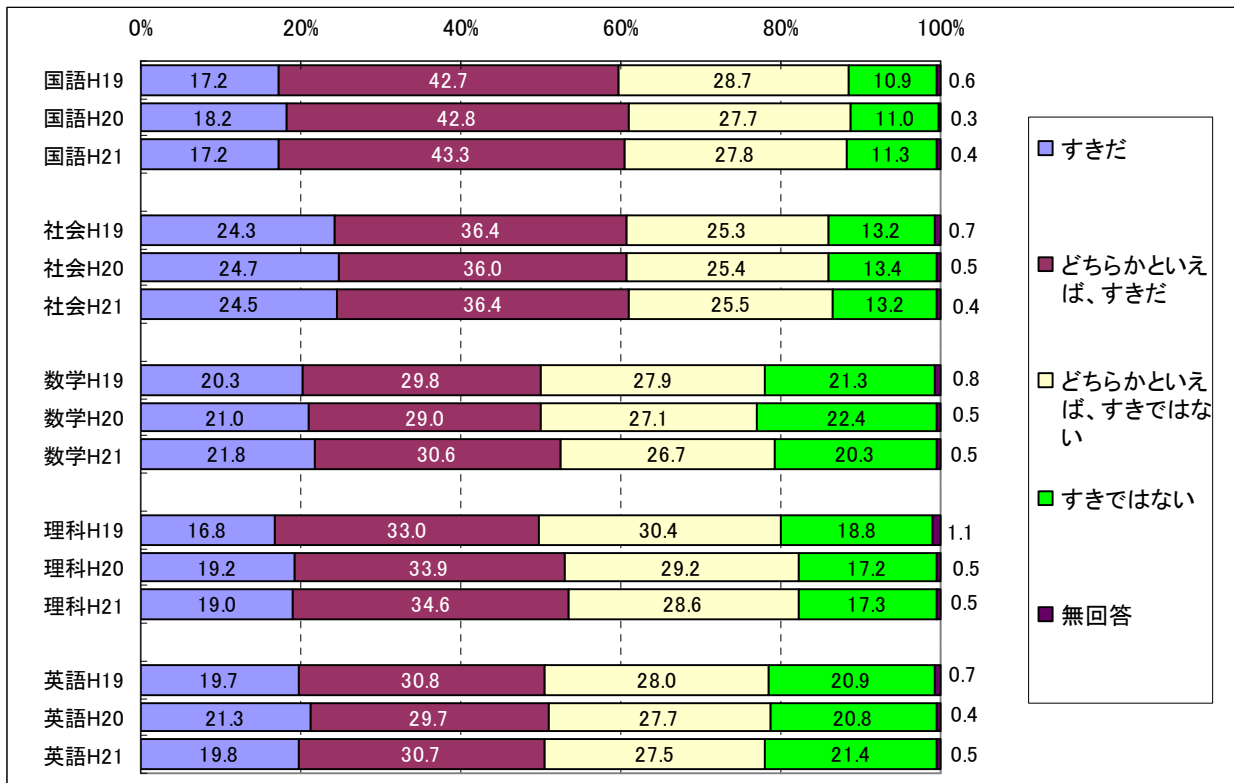
○「自分で調べる」と回答した生徒は、44.7%である。

○「学校の先生」にたずねると回答した生徒は、「塾や家庭教師の先生」や「家の人」にたずねると回答した生徒に比べて少ない。

○「授業が終わってから先生にたずねる」と回答した生徒は 28.4%で、昨年度より 1.9 ポイント、一昨年度より 3.8 ポイント増加している。

3 各教科等に対する意識

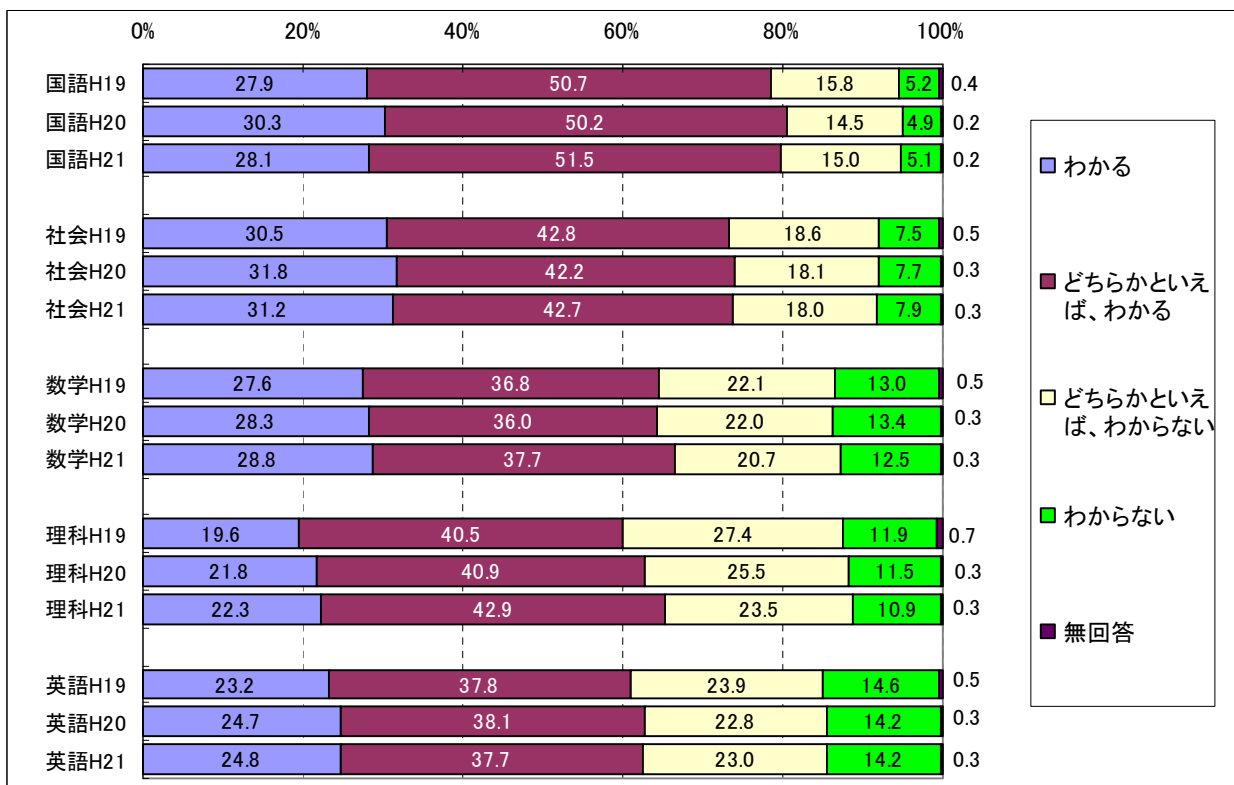
(1) 好感度【問5～9】



○授業の好感度（「すきだ」と「どちらかといえば、すきだ」を合わせた割合）が最も高いのは「社会」の60.9%で、以下、「国語」（60.5%）、「理科」（53.6%）、「数学」（52.4%）、「英語」（50.5%）となっている。

○過去3年間の各教科の好感度の平均は、「国語」は60.5%、「社会」は60.8%、「数学」は50.8%、「理科」は52.2%、「英語」は50.7%である。

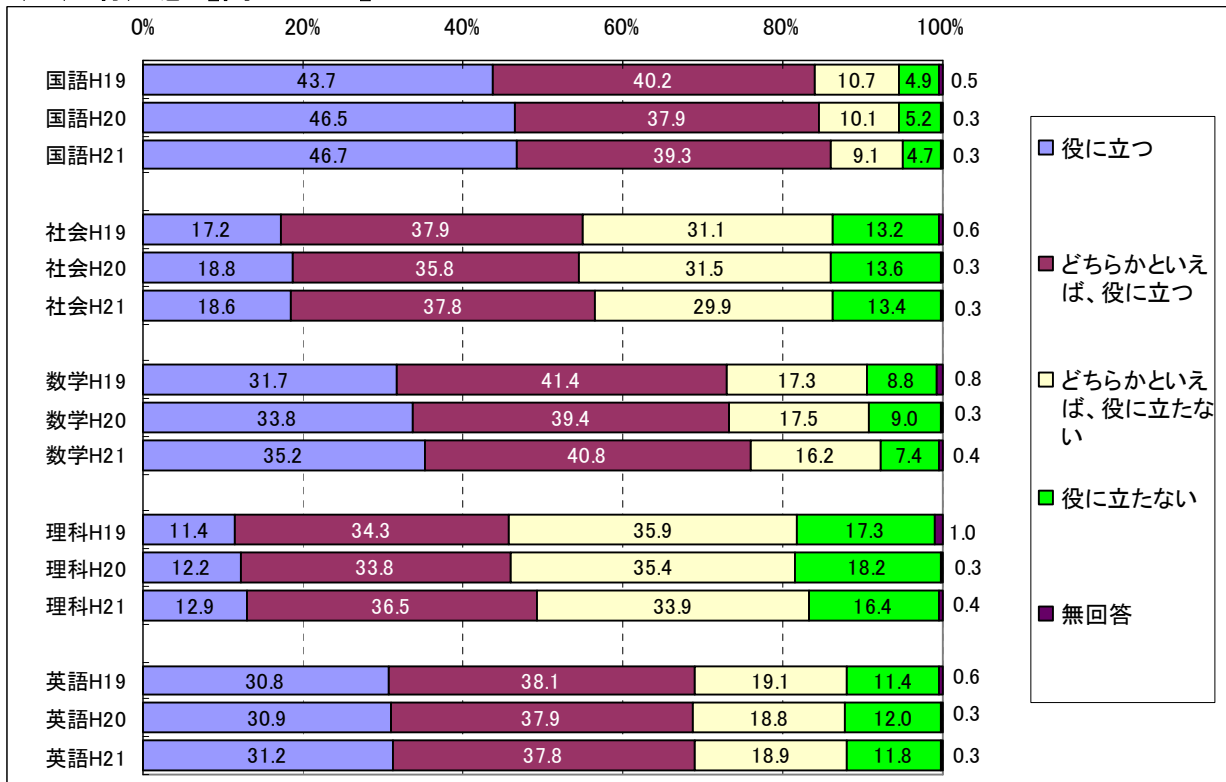
（2）理解度【問10～14】



○授業の理解度（「わかる」と「どちらかといえば、わかる」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」で79.6%、以下、「社会」（73.9%）、「数学」（66.5%）、「理科」（65.2%）、「英語」（62.5%）となっている。

○過去3年間の各教科の理解度の平均は、「国語」は79.6%、「社会」は73.7%、「数学」は65.1%、「理科」は62.7%、「英語」は62.1%である。

（3）有用感【問 15～19】

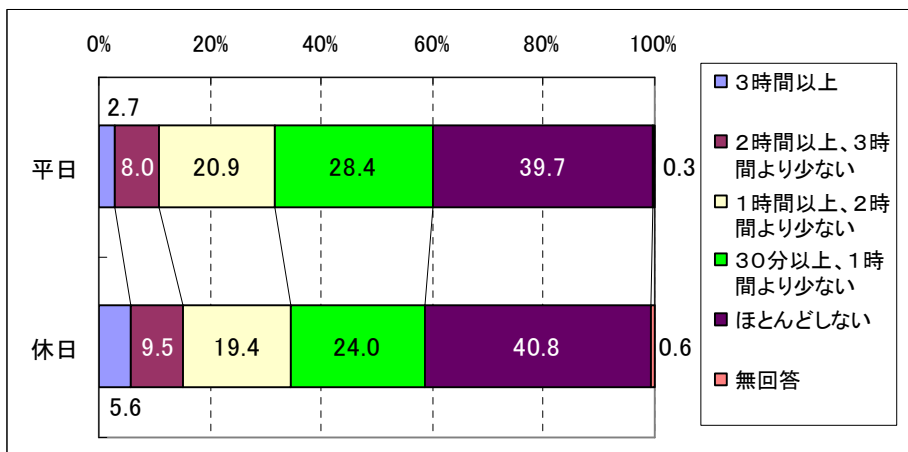


○学習に対する有用感（「役に立つ」と「どちらかといえば、役に立つ」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」で86.0%、以下、「数学」（76.0%）、「英語」（69.0%）、「社会」（56.4%）、「理科」（49.4%）となっており、すべての教科で昨年度よりもポイントが増加している。

○過去3年間の各教科の有用感の平均は、「国語」は84.8%、「社会」は55.4%、「数学」は74.1%、「理科」は47.0%、「英語」は68.9%である。

4 家庭学習の実態

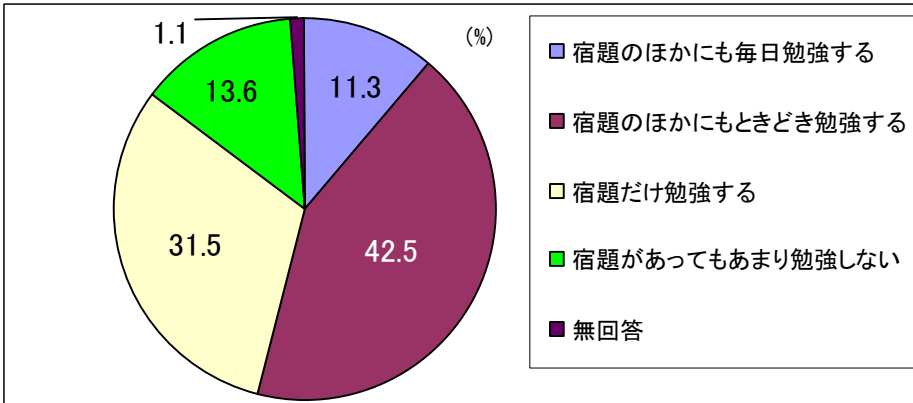
（1）学習時間【問 21～22】



○勉強している時間では、平日、休日とも「30分以上、1時間より少ない」が最も多い。また、4割程度の生徒が、平日や休日に「ほとんどしない」と回答している。

○平日と休日を比較すると、「30分以上、1時間より少ない」時間勉強している生徒の割合は、平日の方が4.4ポイント多い。

(2) 学習内容【問 23】



○「宿題のほかにもときどき勉強する」と回答した生徒が 42.5%で最も多く、次に「宿題だけ勉強する」が 31.5%で続いている。
○「宿題があってもあまり勉強しない」と回答した生徒の割合は 13.6%である。

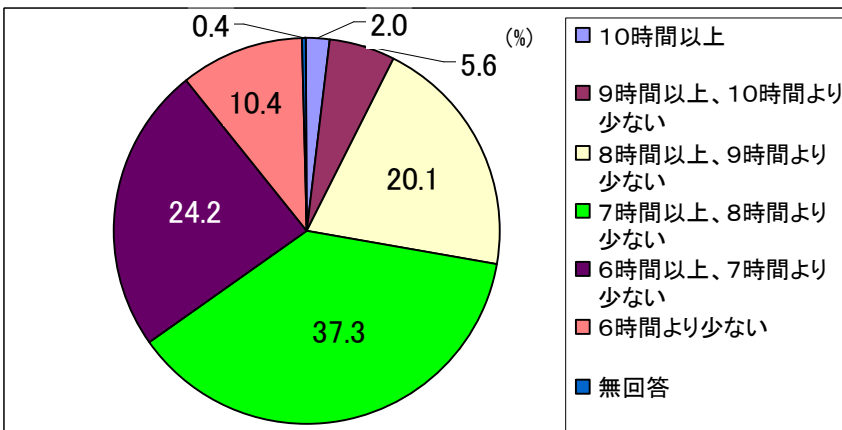
(3) 通塾【問 24】

	通っている	通っていない	無回答
H19	58.0	41.3	0.8
H20	58.3	40.9	0.8
H21	57.7	41.5	0.8

○学習塾に「通っている」と回答した生徒の割合は 57.7%である。
○過去 3 年間を通してみると、「通っている」、「通っていない」の割合に大きな変化はみられない。

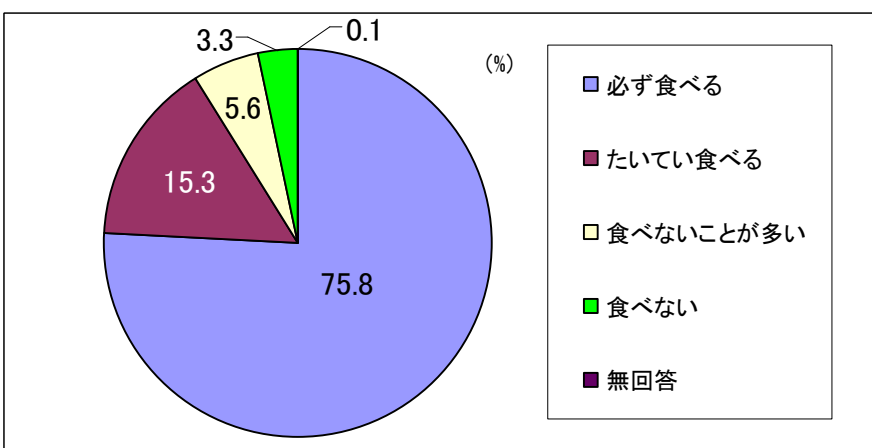
5 家庭生活の実態

(1) 睡眠時間【問 25】



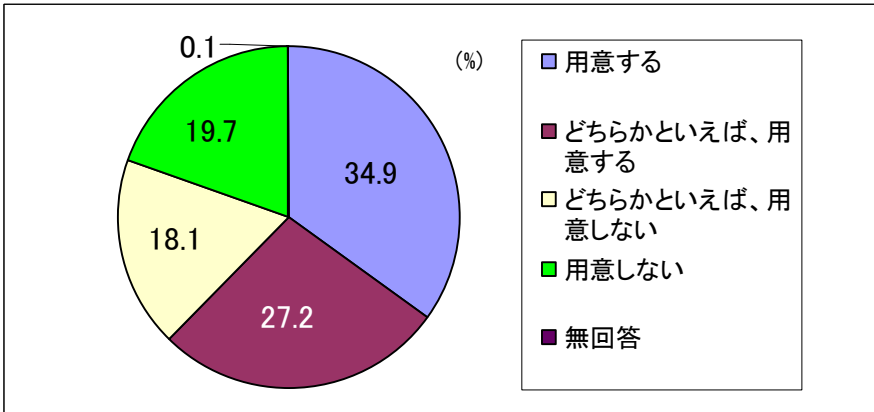
○「7時間以上、8時間より少ない」(37.3%)、「6時間以上、7時間より少ない」(24.2%)という回答が多く、6割以上の生徒の睡眠時間は「6～8時間」である。
○睡眠時間が「6時間より少ない」と回答した生徒は 10.4%で、ほぼ 1割である。

(2) 朝食の摂取【問 26】



○75.8%の生徒が「必ず食べる」と回答しており、「たいてい食べる」という回答と合わせると、91.1%である。
○「必ず食べる」と回答した生徒の割合は昨年度より 1.6 ポイント増加し、毎年増加している。
* 資料 6-24 ページ【問 26】参照

(3) 学習の準備【問 27】

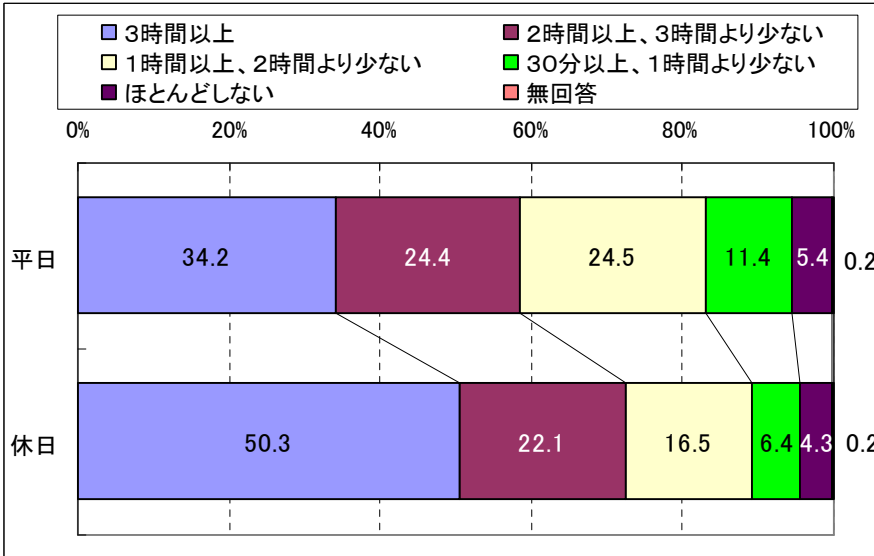


○34.9%の生徒が「用意する」と回答しており、「どちらかといえば、用意する」を合わせると、62.1%である。

○「用意する」と回答した生徒の割合は、昨年度より2.6ポイント、一昨年度よりも3.2ポイント増加している。

*資料 6-24ページ
【問 27】参照

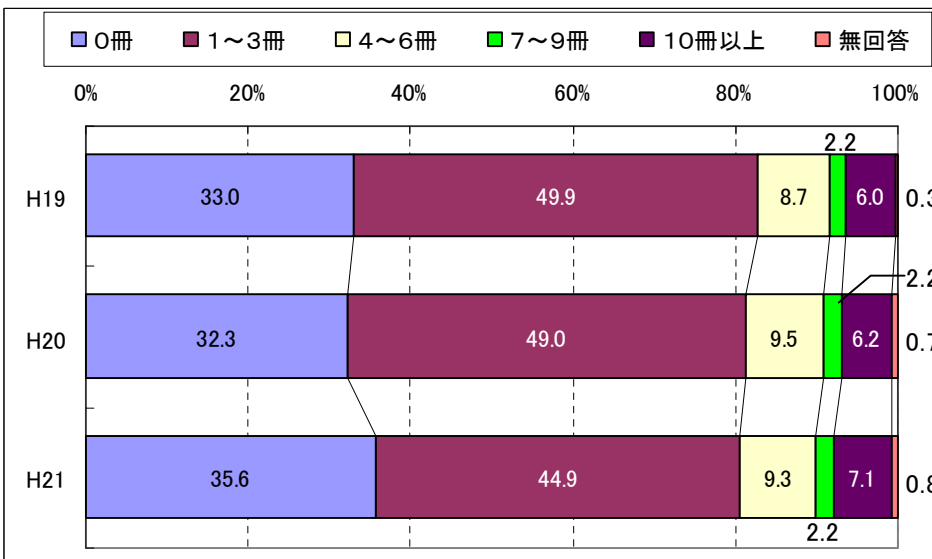
(4) テレビ・ビデオ・ゲームの視聴・実施時間【問 28~29】



○平日と休日と比較すると、休日の方が、視聴・実施時間が長い傾向がある。

○平日では3割以上(34.2%)、休日では5割以上(50.3%)の生徒が、視聴・実施時間が「3時間以上」である。「2時間以上」を含めると、平日では58.6%、休日では72.4%である。

(5) 1ヶ月の読書量【問 30】



	平均冊数
H19	2.3冊
H20	2.3冊
H21	2.4冊

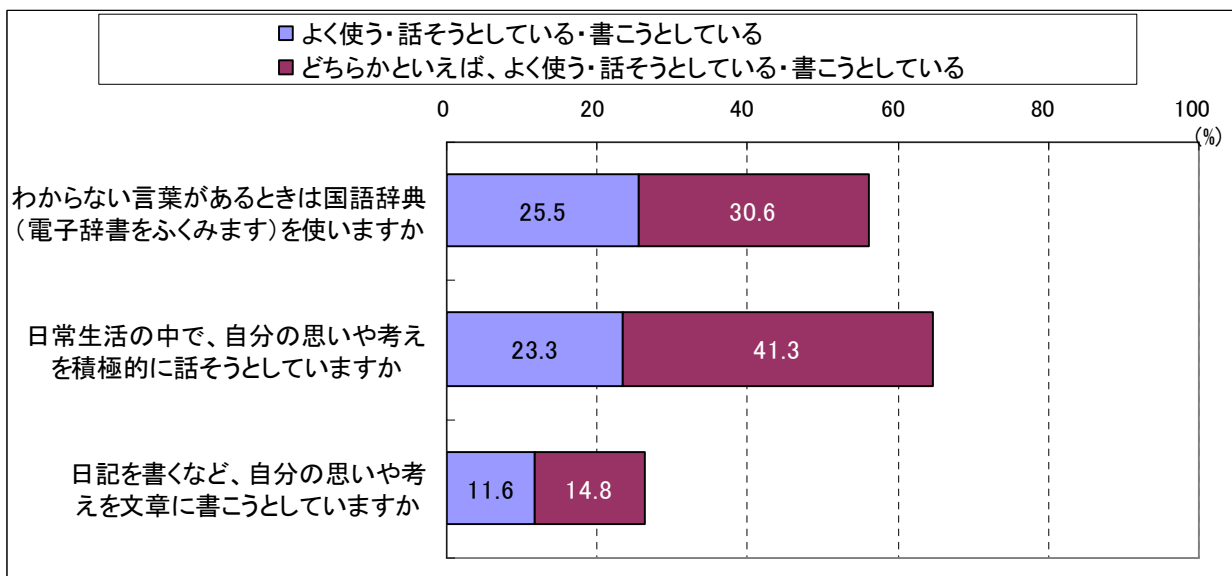
*31冊以上の回答は集計から除外しています。

○「0冊」と回答した生徒は35.6%で、昨年度よりも3.3ポイント増加している。

○昨年度と比較すると、「0冊」、「10冊以上」と回答した生徒の割合が増加し、「1~3冊」と回答した生徒の割合が減少している。

6 各教科等に対する意識・実態

(1) 国語【問 31～33】



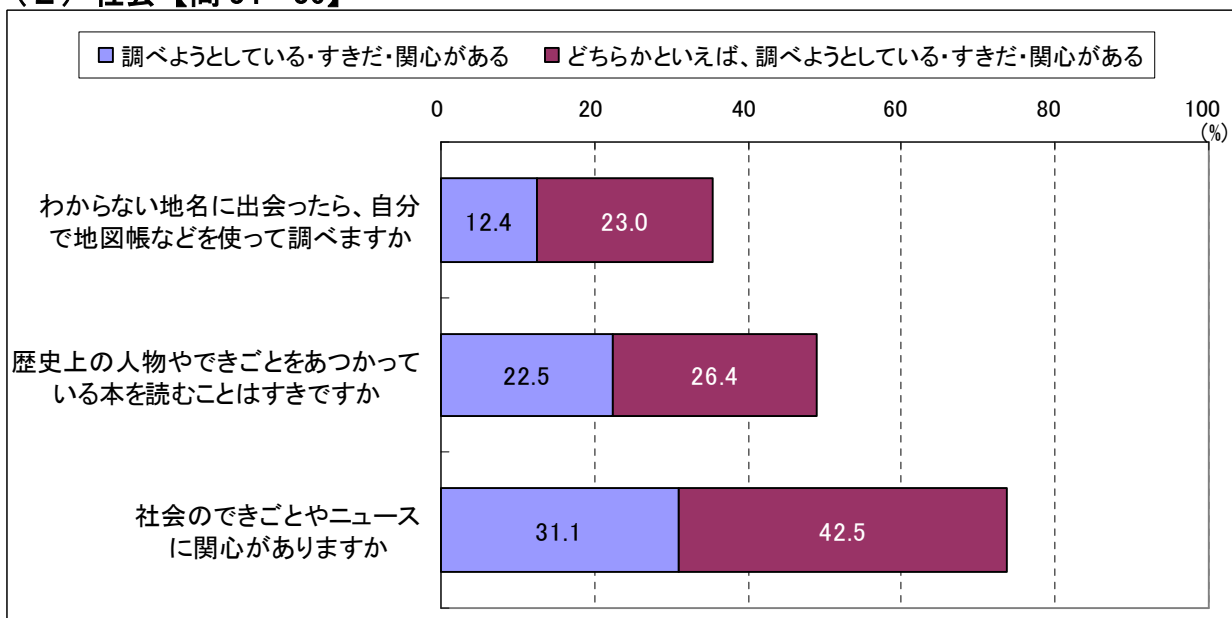
○わからない言葉があるとき、国語辞典を使う生徒は、「どちらかといえば」を含めると 56.1%と、半数を超えている。

○「自分の思いや考え」を積極的に話そうとしている生徒、文章に書こうとしている生徒は、「どちらかといえば」を含めると、それぞれ 64.6%、26.4%である。

○昨年度と比べると、「自分の思いや考えを話そうとしている」生徒の割合は、「どちらかといえば」を含めると 2.8 ポイント増加している。

*資料 6-25 ページ 【問 32】 参照

(2) 社会【問 34～36】



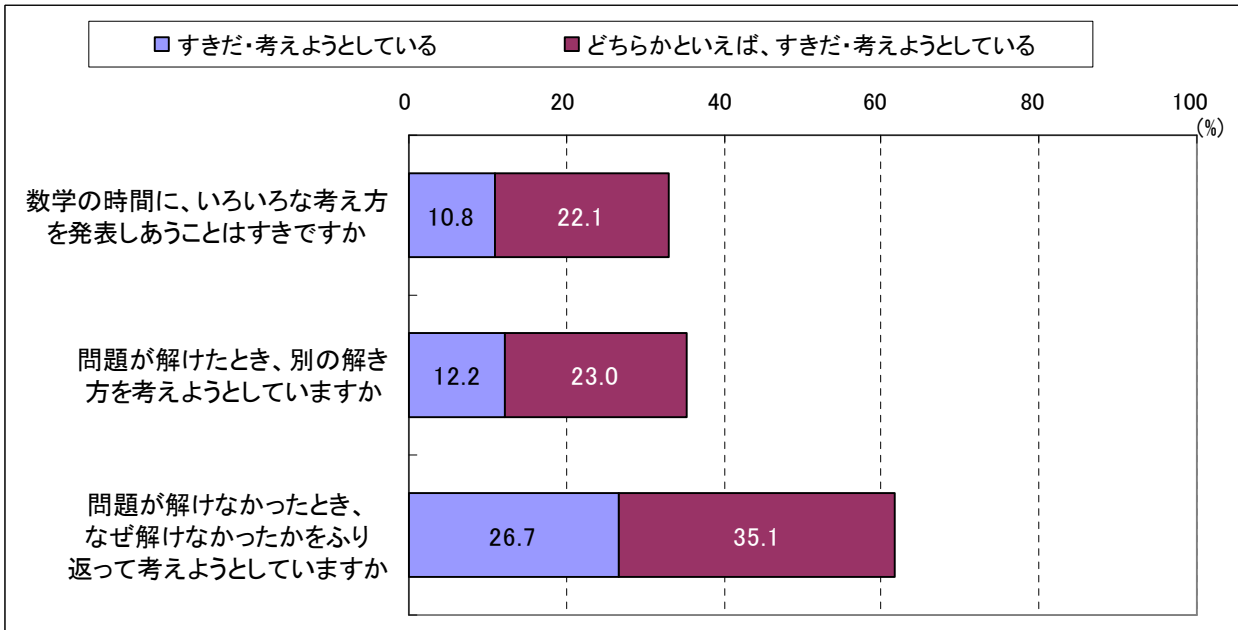
○歴史に関する本を読むことが好きな生徒は、「どちらかといえば」を含めると 48.9%である。

○社会のできごとやニュースに関心がある生徒は多く、「どちらかといえば」を含めると 73.6%である。

○3問とも「どちらかといえば」を含めた割合は、昨年度に比べて増加している。

*資料 6-25、6-26 ページ 【問 34, 35, 36】 参照

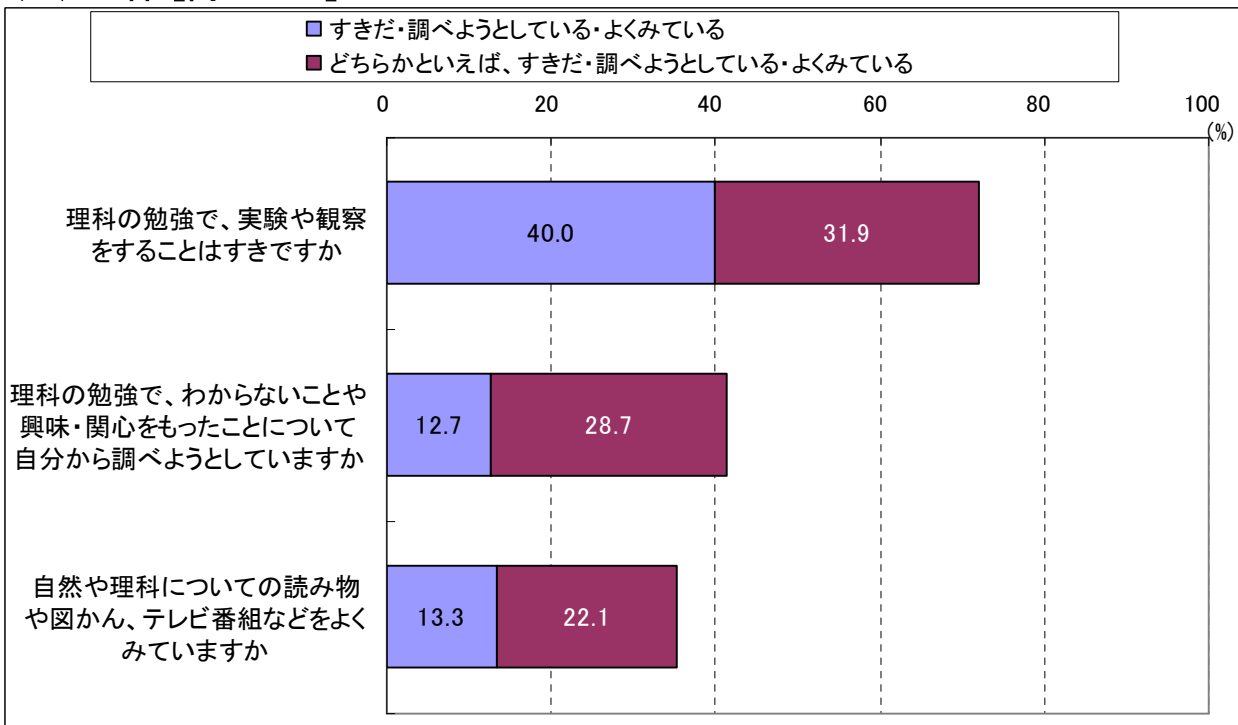
(3) 数学【問 37～39】



○いろいろな考え方を発表しあうことが好きな生徒、問題が解けたときに別の解き方を考えようとしている生徒は、「どちらかといえば」を含めると、それぞれ 32.9%、35.2%で、昨年度と比べるとそれぞれ 0.4 ポイント、2.1 ポイント増加している。

○問題が解けなかったときに、その理由を考えようとしている生徒は、「どちらかといえば」を含めると 61.8%である。*資料 6-26 ページ【問 37, 38】参照

(4) 理科【問 40～42】

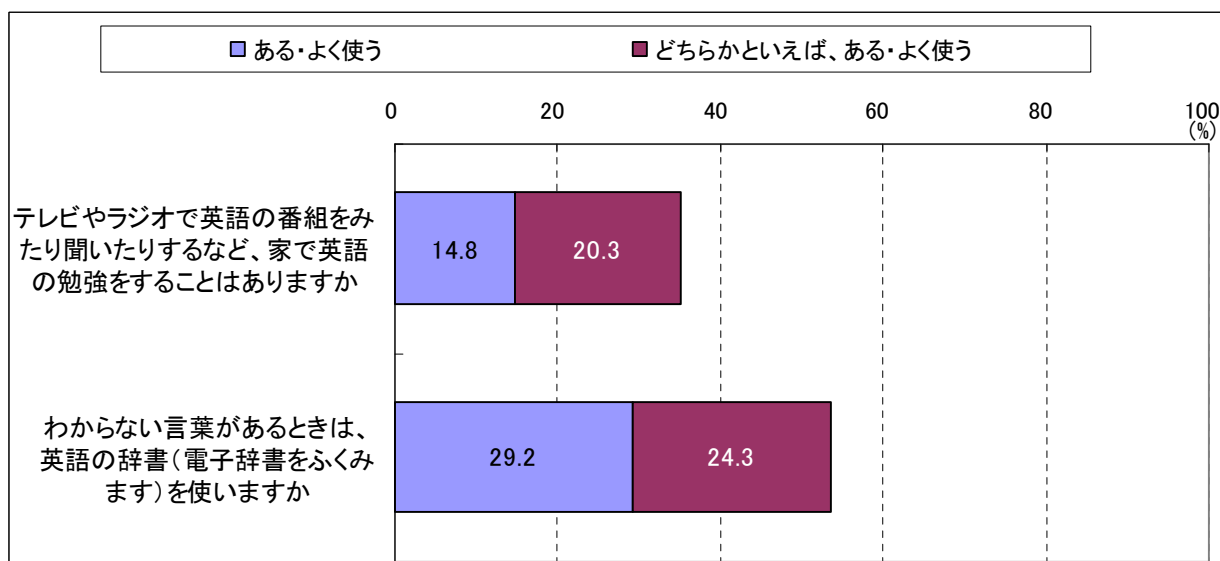


○理科の実験や観察の授業が好きな生徒は、「どちらかといえば」を合わせると 71.9%である。

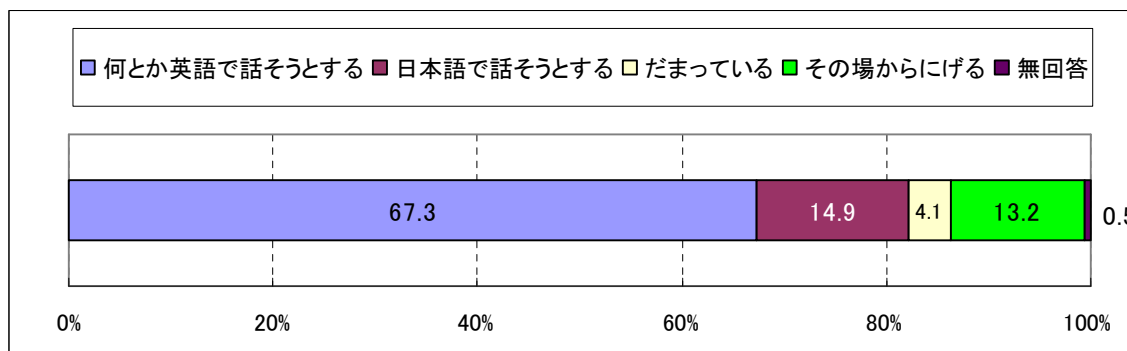
○わからないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとする生徒、自然・理科に関する読み物や図鑑、テレビ番組等を見ている生徒は、「どちらかといえば」を含めると、それぞれ 41.4%、35.4%で、昨年度と比べるとそれぞれ 1.6 ポイント、0.6 ポイント増加している。

*資料 6-26 ページ【問 41, 42】参照

(5) 英語【問 43～45】



[道で外国人に英語で話しかけられた場合]



○家でテレビやラジオをみたり聞いたりして英語を勉強している生徒、わからない言葉があるとき、英語辞典を使う生徒は、「どちらかといえば」を含めると、それぞれ 35.1%、53.5%である。

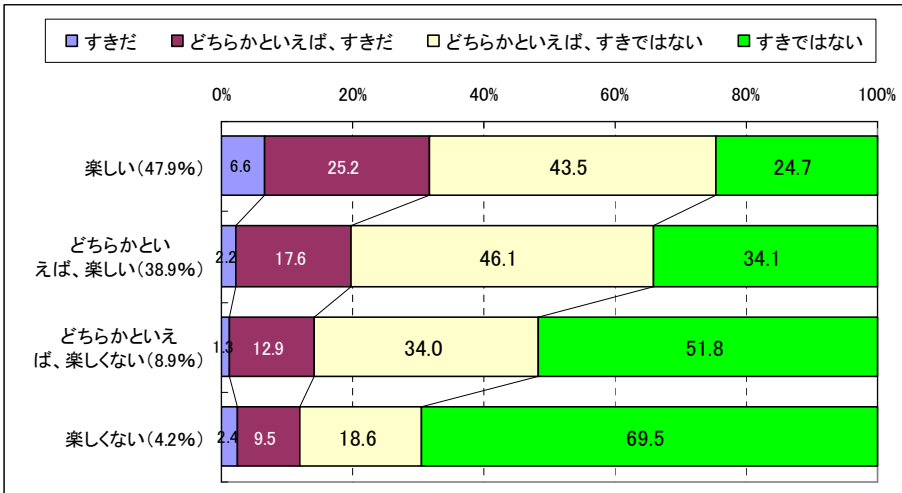
○道で外国人に英語で話しかけられたときに「何とか英語で話そうとする」生徒は、ほぼ7割に当たる 67.3%である。一方、「だまっている」生徒は 4.1%、「その場からにげる」生徒は 13.2%であり、いずれも少ない。過去3年間でみても、回答の割合や傾向に大きな変化はみられない。

*資料 6-27ページ【問 45】参照

Ⅱ クロス集計

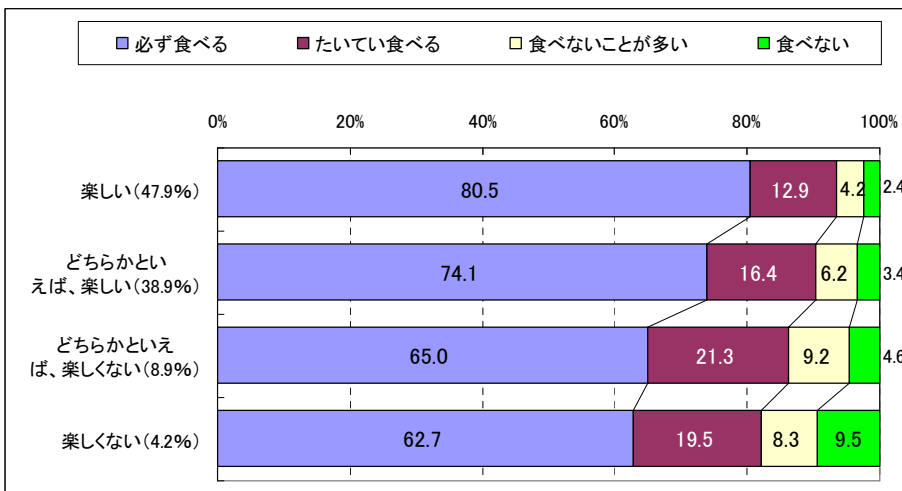
*縦軸の数値(%)は、その項目が単純集計に占める割合を示しています。

1 学校生活の楽しさ【問1】×学習に対する好感度【問2】



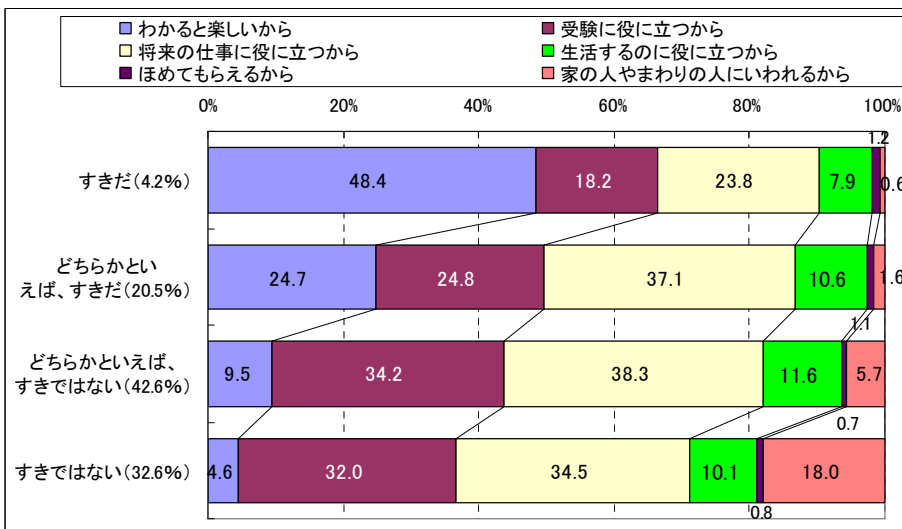
○学校生活を楽しいと感じている生徒ほど、学習に対する好感度の割合が増加する傾向がある。
○「すきではない」という回答は、学校が「どちらかといえば、楽しくない」では、ほぼ半数に当たる51.8%である。「楽しくない」では69.5%である。

2 学校生活の楽しさ【問1】×朝食の摂取【問26】



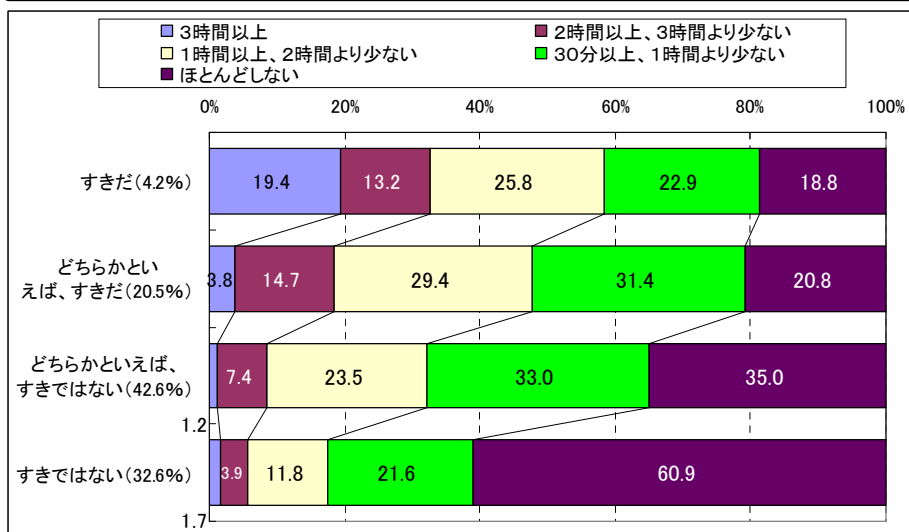
○学校生活を楽しいと感じている生徒ほど、朝食の摂取状況が良好な傾向がある。
○学校が「楽しくない」と回答した生徒では、「必ず食べる」が62.7%である一方、「食べないことが多い」と「食べない」という回答を合わせた割合は17.8%である。

3 学習に対する好感度【問2】×勉強する理由【問4】



○勉強が「すきだ」と回答した生徒の48.4%が、「わかと楽しいから」を理由に挙げている。「すきだ」と回答した生徒以外は、「将来の仕事に役に立つから」を理由に挙げている割合が最も高い。
○学習に対する好感度が低い生徒ほど、「家の人やまわりの人にいわれるから」を理由に挙げている割合が高い。

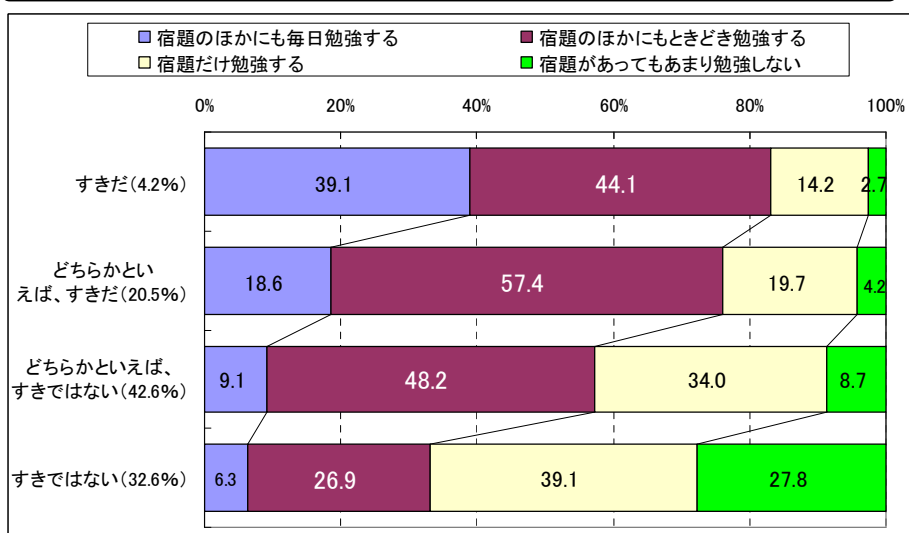
4 学習に対する好感度【問2】×家庭学習時間（平日）【問21】



○学習に対する好感度が高い生徒ほど、平日の家庭学習時間が長い傾向がある。

○勉強が「好きではない」と回答した生徒の60.9%が、家での勉強を「ほとんどしない」と回答している。

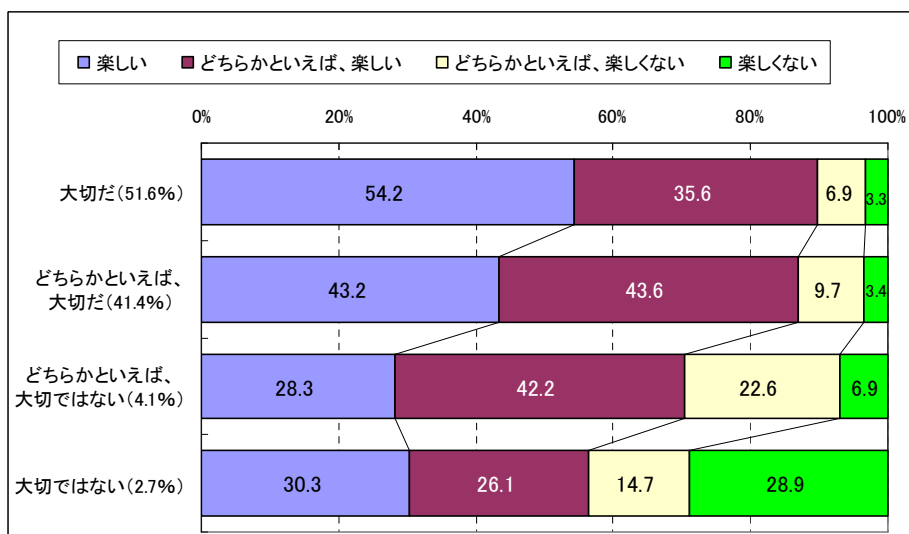
5 学習に対する好感度【問2】×家庭学習の内容【問23】



○勉強が「好きだ」と回答した生徒では、39.1%が宿題のほかに「毎日勉強する」、44.1%が「ときどき勉強する」と回答している。

○学習に対する好感度が低い生徒ほど、「宿題だけ勉強する」と「宿題があってもあまり勉強しない」と回答した生徒の割合が高くなる。

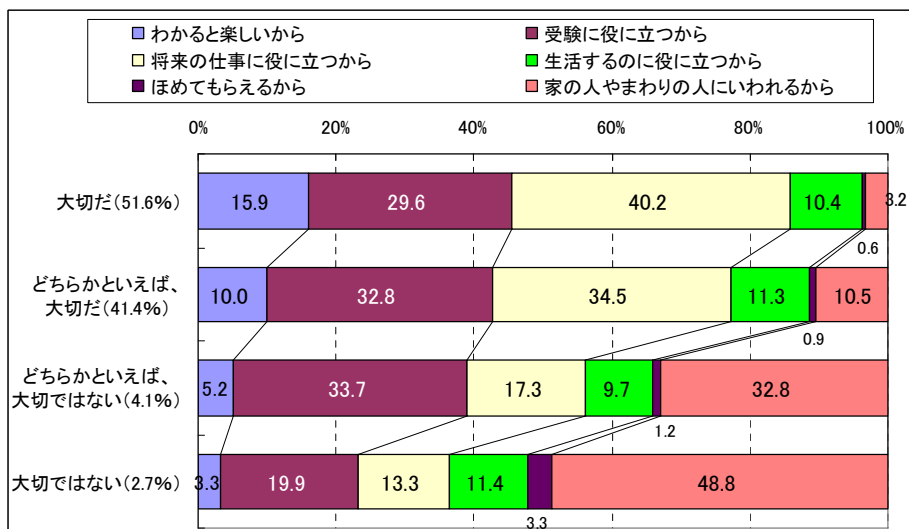
6 学習の必要性【問3】×学校生活の楽しさ【問1】



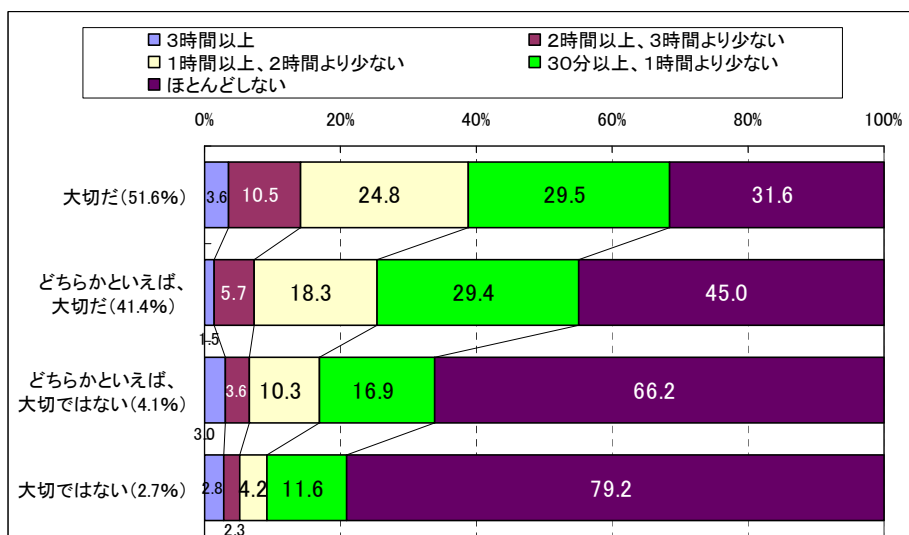
○学習に対する必要性を感じている生徒ほど、学校生活を楽しいと感じている傾向がある。

○勉強が「大切ではない」と回答した生徒の28.9%が「楽しくない」と回答しており、「どちらかといえば、楽しくない」を合わせると43.6%になる。

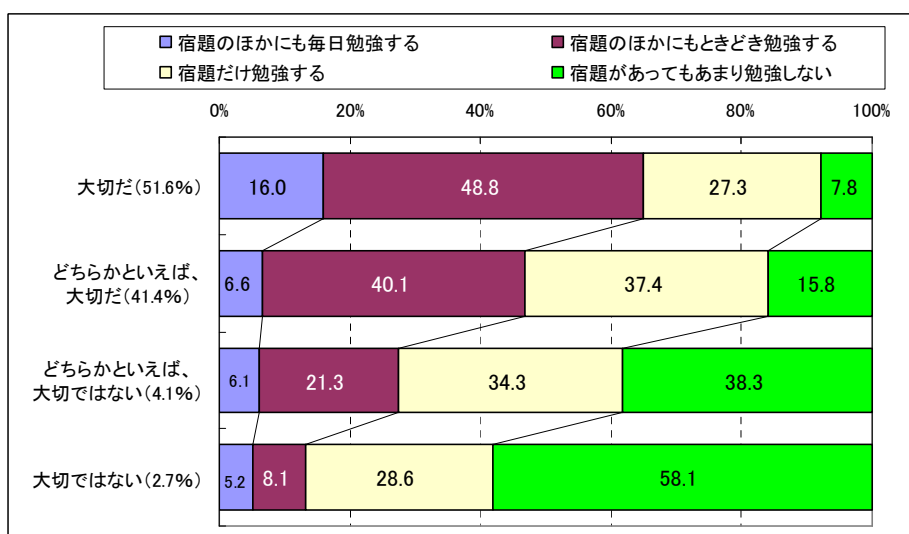
7 学習の必要性【問3】×勉強する理由【問4】



8 学習の必要性【問3】×家庭学習時間(平日)【問21】



9 学習の必要性【問3】×家庭学習の内容【問23】



○学習に対する必要感が高い生徒ほど、「将来の仕事に役に立つから」と「わかると楽しいから」を勉強の理由に挙げている割合が高い。

○学習に対する必要感が低い生徒ほど、勉強する理由として「わかると楽しいから」、「将来の仕事に役に立つから」を挙げる割合が低くなり、反対に「家やまわりの人にいわれるから」を挙げる割合が高くなる。

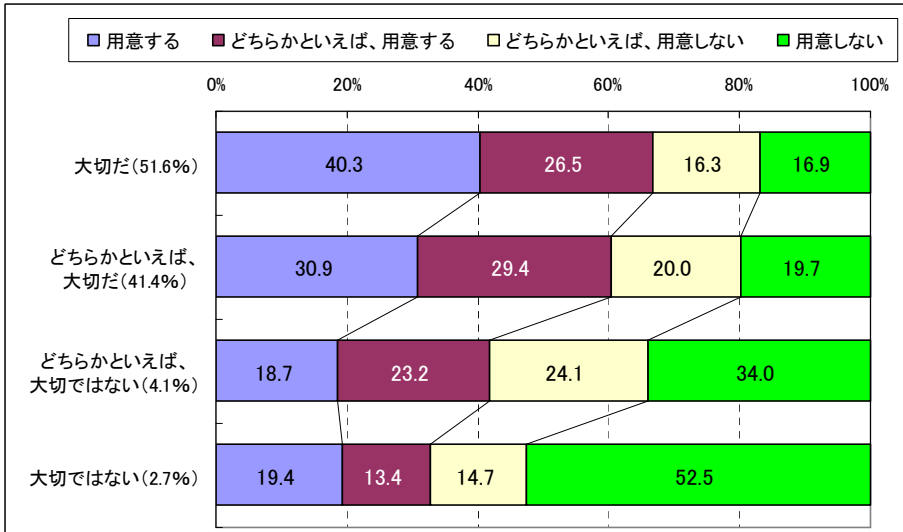
○学習に対する必要性を感じている生徒ほど、平日に家庭学習をしている割合が高い。

○勉強が「どちらかといえば、大切ではない」と回答した生徒の66.2%、「大切ではない」と回答した生徒の79.2%が、平日に家庭学習を「ほとんどしない」と回答している。

○勉強が「大切だ」と回答した生徒ほど、宿題以外にも勉強をしている割合が高い。

○勉強が「大切ではない」と回答した生徒の6割近くが、「宿題があってもあまり勉強しない」と回答している。

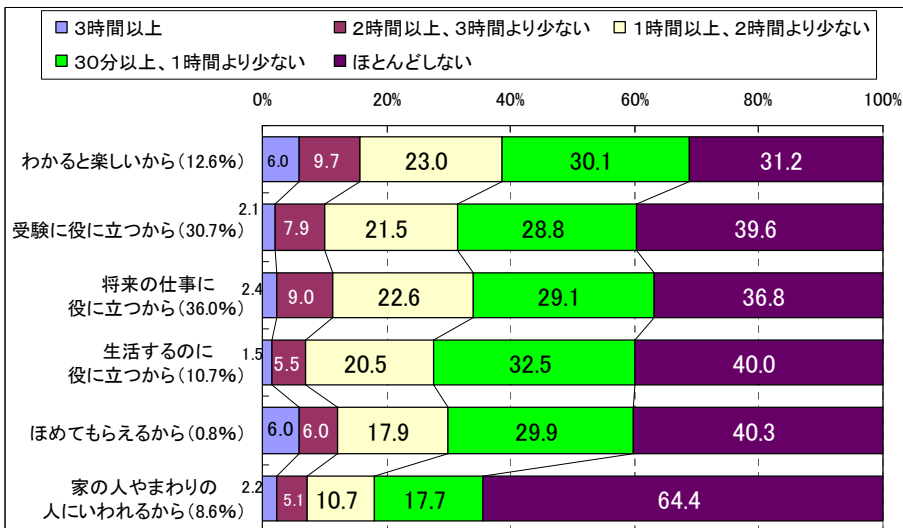
10 学習の必要性【問3】×学習の準備【問27】



○勉強が「大切だ」と回答した生徒ほど、前日に学校の持ち物を「用意する」と回答した割合が高い。

○勉強が「どちらかといえば、大切ではない」と回答した生徒の34.0%、「大切ではない」と回答した生徒の52.5%は、前日には持ち物を「用意しない」と回答している。

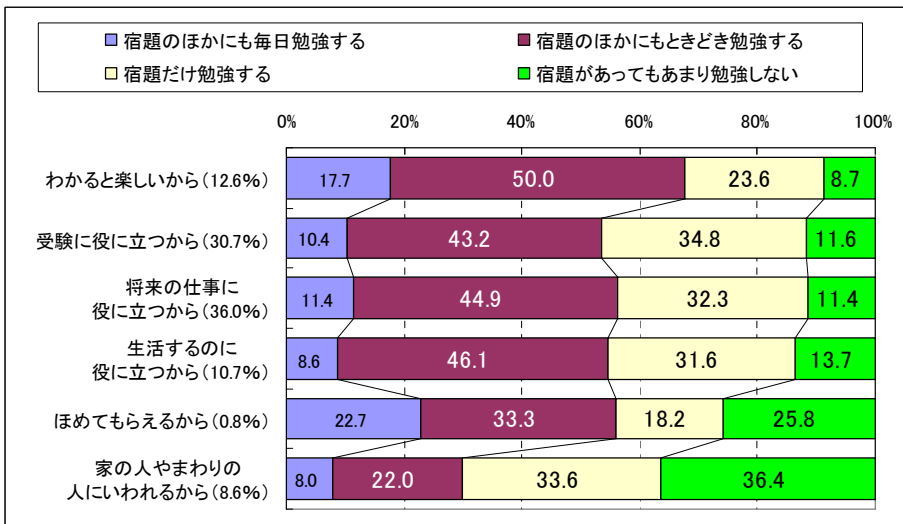
11 勉強する理由【問4】×家庭学習時間(平日)【問21】



○勉強する理由を「家の人やまわりの人にいわれるから」と回答した生徒の64.4%が、家庭学習を「ほとんどしない」と回答している。

○勉強する理由を「家の人やまわりの人にいわれるから」以外の回答をした生徒の平日の家庭学習の時間の割合は、ほぼ同程度である。

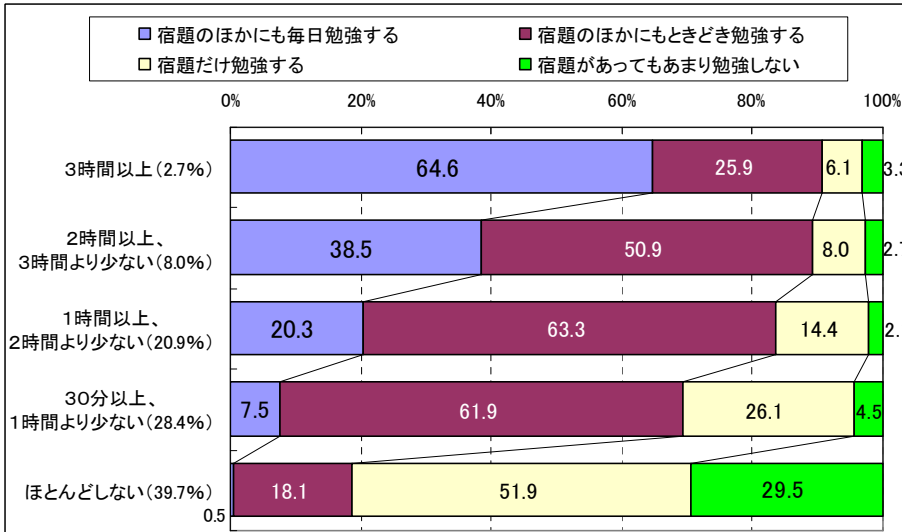
12 勉強する理由【問4】×家庭学習の内容【問23】



○勉強する理由として、「わかると楽しいから」、「ほめてもらえるから」を挙げている生徒は、他と比較して宿題以外にも家で毎日勉強している割合が高い。

○「家の人やまわりの人にいわれるから」と回答した生徒は、他と比較して家庭での学習をしていない割合が高い。

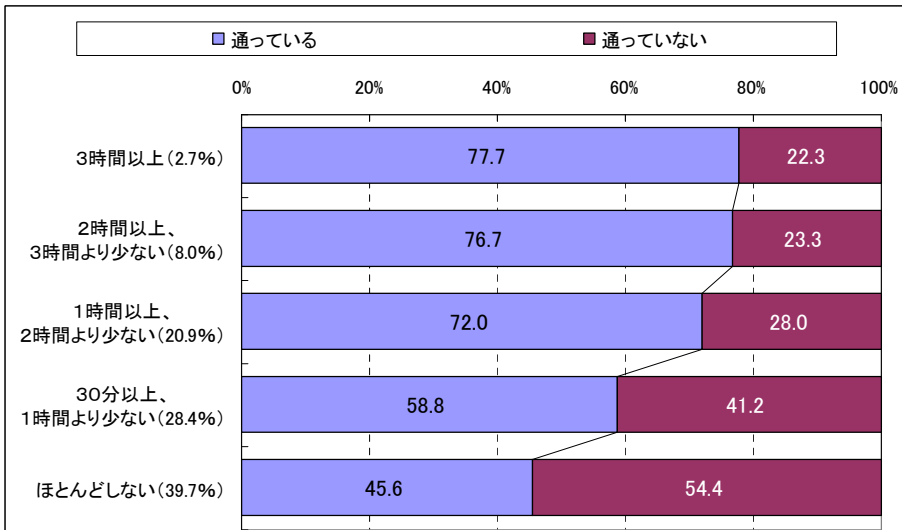
13 家庭学習時間（平日）【問 21】 × 家庭学習の内容【問 23】



○平日の家庭学習時間が長い生徒ほど、「宿題のほかに毎日勉強する」傾向がある。

○家での勉強を「ほとんどしない」と回答した生徒では、51.9%が「宿題だけ勉強する」、29.5%が「宿題があってもあまり勉強しない」と回答している。

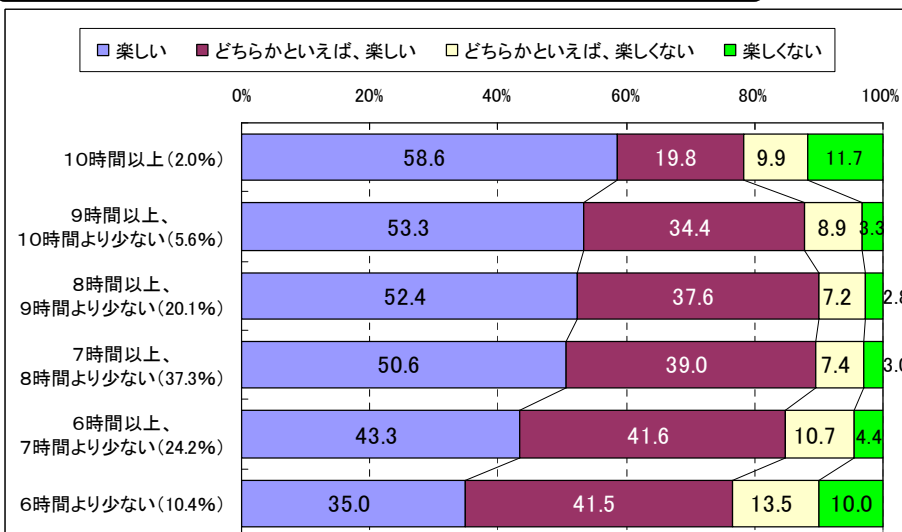
14 家庭学習時間（平日）【問 21】 × 通塾【問 24】



○平日の家庭学習時間が「2時間以上、3時間より少ない」と、「3時間以上」の生徒の8割近くが学習塾に通っている。

○平日に家庭学習を「ほとんどしない」と回答した生徒の45.6%は塾で勉強している。

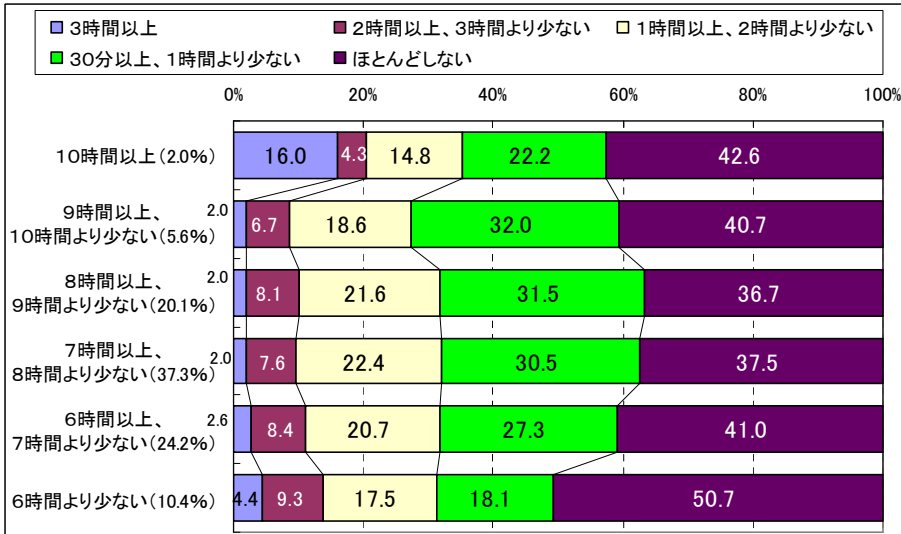
15 睡眠時間【問 25】 × 学校生活の楽しさ【問 1】



○「どちらかといえば、楽しい」までを含め、学校生活を楽しんでいる割合が高いのは、睡眠時間が「6～10時間」の生徒である。

○睡眠時間が「10時間以上」、「6時間より少ない」と回答した生徒では、2割強の生徒が、学校生活が「楽しくない」、「どちらかといえば、楽しくない」と回答している。

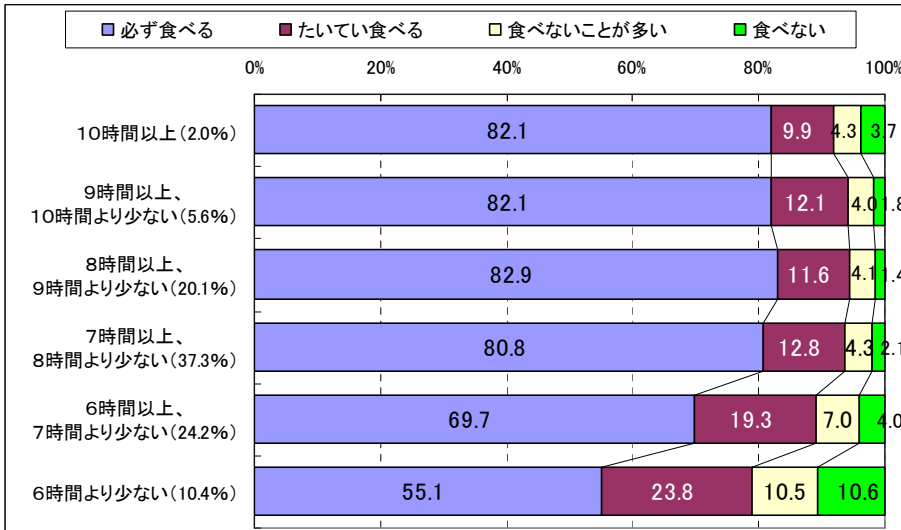
16 睡眠時間【問 25】×家庭学習時間（平日）【問 21】



○睡眠時間が「10 時間以上」と回答した生徒の 16.0%が、家庭学習時間が「3 時間以上」と回答し、他と比べて割合が高い。

○睡眠時間が「6 時間より少ない」と回答した生徒の半数以上が、家庭学習を「ほとんどしない」という回答をしている。

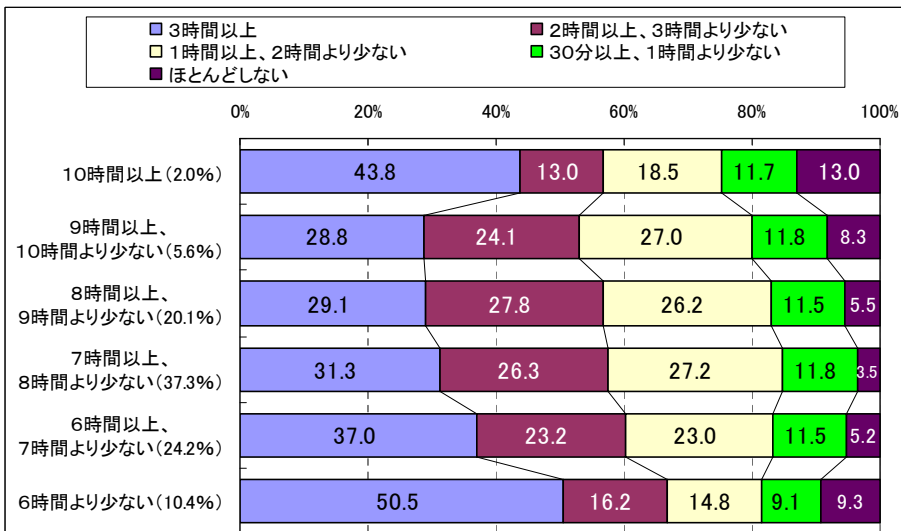
17 睡眠時間【問 25】×朝食の摂取【問 26】



○睡眠時間が「7 時間以上」の生徒の朝食の摂取状況が、比較的良好である。

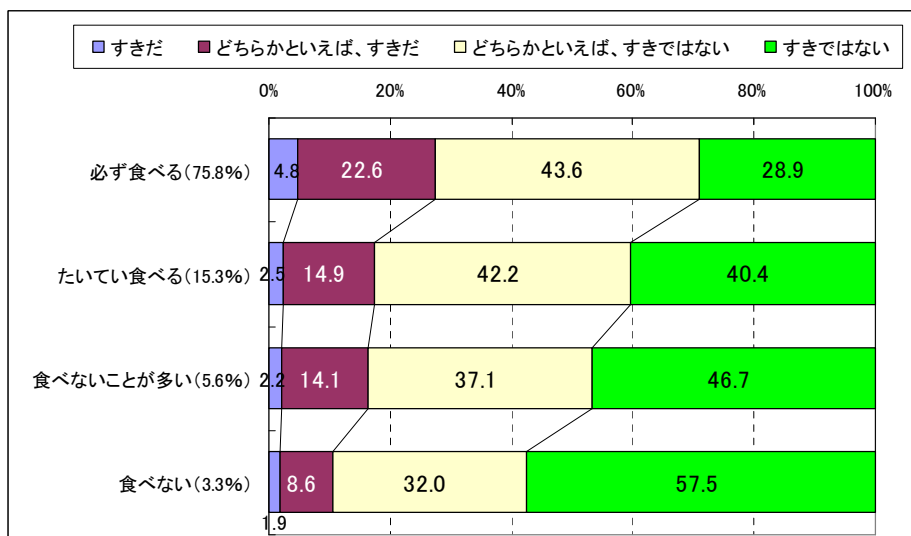
○睡眠時間が「6 時間より少ない」生徒では、「必ず食べる」という回答が 55.1%で、「食べないことが多い」と「食べない」を合わせた割合は、21.1%である。

18 睡眠時間【問 25】×テレビ・ビデオ・ゲームの視聴・実施時間（平日）【問 28】



○睡眠時間が「10 時間以上」の生徒の 43.8%、「6 時間より少ない」生徒の 50.5%が、テレビ等の視聴・実施時間が「3 時間以上」と回答し、視聴・実施時間が長くなる傾向がみられる。

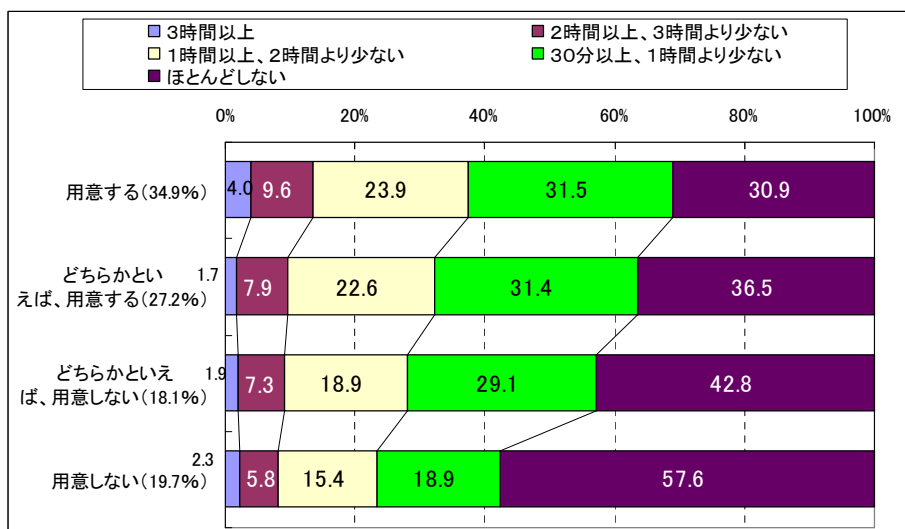
19 朝食の摂取【問 26】×学習に対する好感度【問 2】



○朝食を「必ず食べる」と回答した生徒が、学習を「すきだ」または「どちらかといえば、すきだ」と回答する割合が一番高い。

○朝食を「食べない」生徒の57.5%が、勉強が「すきではない」と回答しており、割合が一番高い。

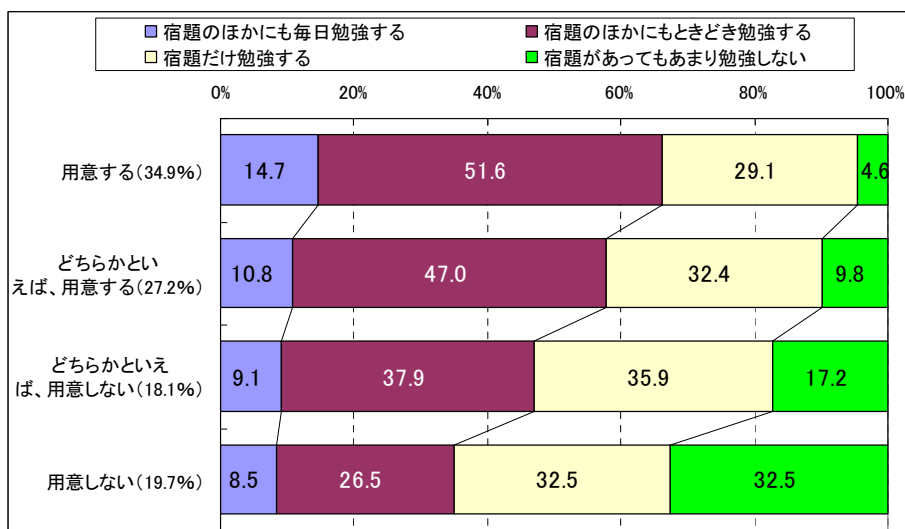
20 学習の準備【問 27】×家庭学習時間(平日)【問 21】



○平日に家庭学習をしている生徒の割合は、前日に学校の持ち物を用意する生徒ほど、高い傾向がある。

○「どちらかといえば、用意しない」生徒の42.8%、「用意しない」生徒の57.6%が、平日に家庭学習を「ほとんどしない」と回答している。

21 学習の準備【問 27】×家庭学習の内容【問 23】

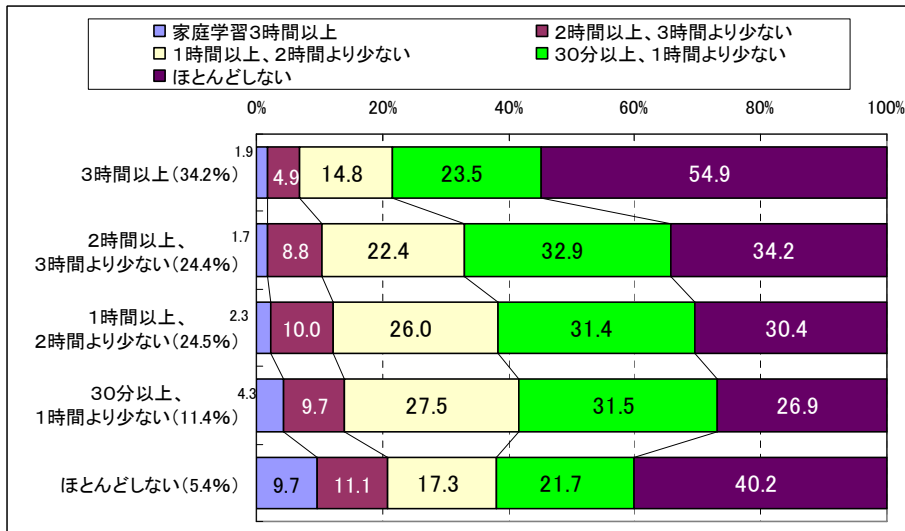


○前日に学校の持ち物を用意している生徒ほど、家庭で宿題のほかに勉強している傾向がある。

○前日に持ち物を「用意しない」と回答した生徒では、32.5%が「宿題があってもあまり勉強しない」と回答している。

22 テレビ・ビデオ・ゲームの視聴・実施時間（平日）【問 28】

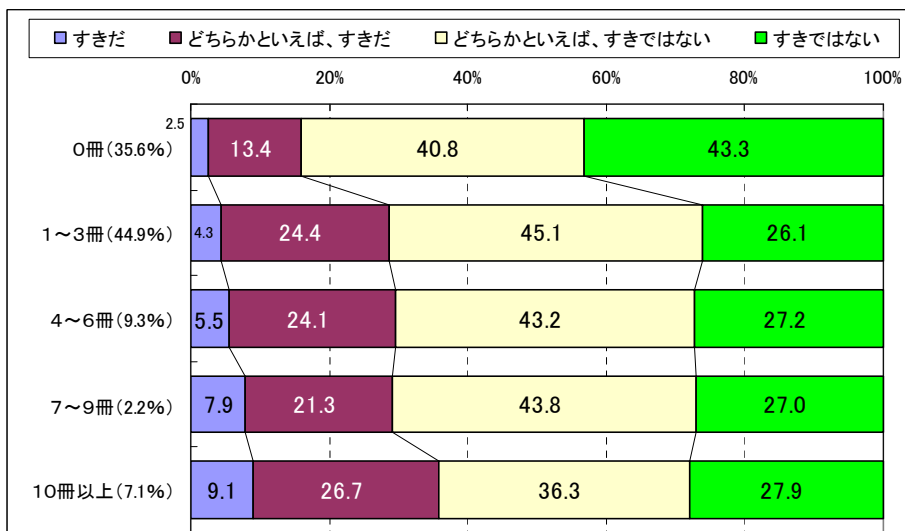
×家庭学習時間（平日）【問 21】



○テレビの視聴等をほとんどしないという生徒を除くと、視聴時間等が長い生徒ほど、平日に家庭学習をしている生徒の割合が低くなる傾向がある。

○テレビの視聴時間等が「3時間以上」の生徒では、半数以上に当たる54.9%が平日に家庭学習を「ほとんどしない」と回答している。

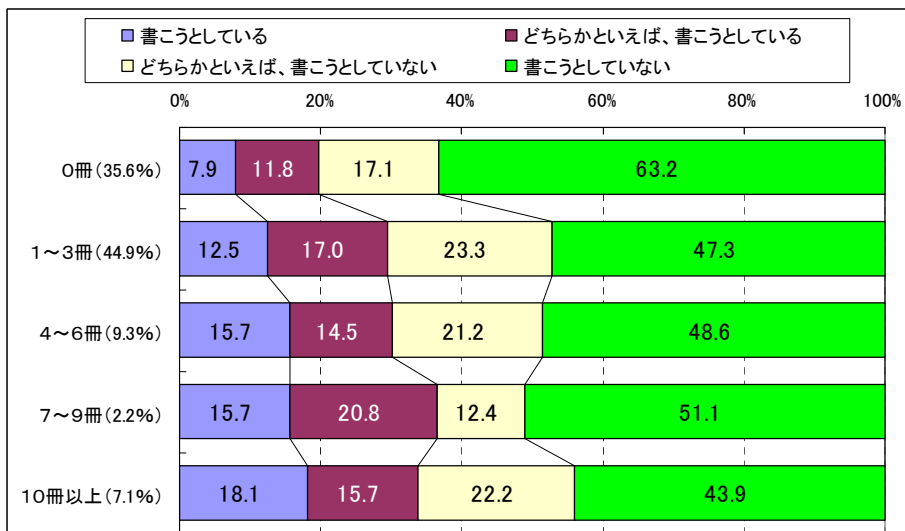
23 1ヶ月の読書量【問 30】 ×学習に対する好感度【問 2】



○1ヶ月の読書量が多いほど、学習に対する好感度が高い傾向がある。

○1ヶ月に1冊も本を読まない生徒の43.3%が、勉強が「すきではない」と回答しており、「どちらかといえば、すきではない」を合わせると84.1%である。

24 1ヶ月の読書量【問 30】 ×思いや考えを書こうとする意欲【問 33】



○読書をしている生徒は、1ヶ月に1冊も本を読まない生徒に比べ、自分の思いや考えを「書こうとしている」と回答している傾向がある。

○1ヶ月に1冊も本を読まない生徒では、「どちらかといえば」までを含めると、80.3%が自分の思いや考えを「書こうとしていない」と回答している。

Ⅲ 各教科の正答率との相関

1 学校生活の楽しさ【問1】

正答率	楽しい	どちらかといえば、楽しい	どちらかといえば、楽しくない	楽しくない
国語	63.0	61.4	58.6	56.9
社会	65.0	63.2	59.8	56.6
数学	61.0	57.7	51.7	48.5
理科	47.5	45.4	41.4	39.4
英語	61.2	57.8	52.8	51.3

○すべての教科において、学校生活が「楽しい」と回答した生徒ほど正答率が高い。

○「楽しい」と「楽しくない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「数学」で12.5ポイント、英語(9.9)、社会(8.4)、理科(8.1)の順で続き、国語(6.1)の差が最も小さい。

2 学習に対する好感度【問2】

正答率	すきだ	どちらかといえば、すきだ	どちらかといえば、すきではない	すきではない
国語	69.8	66.4	61.8	57.7
社会	73.8	70.1	63.8	57.7
数学	72.7	67.3	59.0	50.0
理科	56.8	52.5	46.0	39.9
英語	71.0	66.7	59.1	51.6

○すべての教科において、学校の勉強が「すきだ」と回答した生徒ほど正答率が高い。

○「すきだ」と「すきではない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「数学」で22.7ポイント、英語(19.4)、理科(16.9)、社会(16.1)の順で続き、国語(12.1)の差が最も小さい。

3 学習の必要性【問3】

正答率	大切だ	どちらかといえば、大切だ	どちらかといえば、大切ではない	大切ではない
国語	64.4	59.9	54.2	51.0
社会	66.8	61.2	53.6	49.9
数学	63.2	54.9	44.5	40.4
理科	49.0	43.4	36.9	34.2
英語	62.5	56.0	48.6	43.7

○すべての教科において、学校の勉強が「大切だ」と回答した生徒ほど正答率が高い。

○「大切だ」と「大切ではない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「数学」で22.8ポイント、英語(18.8)、社会(16.9)、理科(14.8)の順で続き、国語(13.4)の差が最も小さい。

4 各教科の好感度【問5～9】

正答率	すきだ	どちらかといえば、すきだ	どちらかといえば、すきではない	すきではない
国語	66.9	62.1	60.3	56.2
社会	71.1	64.9	59.2	53.9
数学	75.6	64.1	52.0	39.9
理科	54.7	47.8	42.4	38.0
英語	73.5	63.1	53.9	45.3

○すべての教科において、該当教科の好感度が高い生徒ほど正答率が高い。

○「すきだ」と「すきではない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「数学」で35.7ポイント、英語(28.2)、社会(17.2)、理科(16.7)の順で続き、国語(10.7)の差が最も小さい。

5 各教科の理解度【問 10～14】

正答率	わかる	どちらかといえ ばわかる	どちらかといえ ばわからない	わからない
国語	67.4	61.9	54.9	49.7
社会	71.9	63.6	55.3	49.1
数学	75.5	62.1	44.9	30.3
理科	55.6	47.1	39.8	33.9
英語	74.6	62.2	48.4	38.6

○すべての教科において、該当教科の理解度が高い生徒ほど正答率が高い。

○「わかる」と「わからない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「数学」で 45.2 ポイント、英語 (36.0)、社会 (22.8)、理科 (21.7) の順で続き、国語 (17.7) の差が最も小さい。

6 各教科の有用感【問 15～19】

正答率	役に立つ	どちらかといえ ば役に立つ	どちらかといえ ば役に立たない	役に立たない
国語	62.6	61.8	60.6	56.1
社会	66.5	64.9	62.7	57.4
数学	62.6	58.0	55.6	47.4
理科	49.8	48.1	45.0	39.6
英語	65.3	59.3	54.0	47.2

○すべての教科において、該当教科に有用感を感じている生徒ほど正答率が高い。

○「役に立つ」と「役に立たない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「英語」で 18.1 ポイント、数学 (15.2)、理科 (10.2)、社会 (9.1) の順で続き、国語 (6.5) の差が最も小さい。

7 家庭学習時間（平日）【問 21】

正答率	3時間以上	2時間以上、 3時間より 少ない	1時間以上、 2時間より 少ない	30分以上、 1時間より 少ない	ほとんどし ない
国語	65.6	65.2	63.8	62.6	59.2
社会	67.7	67.8	66.9	65.5	59.2
数学	68.4	67.2	64.5	60.5	51.3
理科	50.7	49.8	48.9	47.4	41.9
英語	67.7	66.3	63.8	60.7	52.6

○社会以外の教科において、平日の家庭学習の時間が「3時間以上」の生徒の正答率が最も高く、すべての教科において「ほとんどしない」と回答した生徒の正答率が最も低い。

○「30分～1時間」と「ほとんどしない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きいのは数学 (9.2) で、英語 (8.1) が続いている。

8 家庭学習の内容【問 23】

正答率	宿題のほかに も毎日勉強す る	宿題のほかに もときどき勉 強する	宿題だけ勉強 する	宿題があつて もあまり勉強 しない
国語	68.0	64.5	60.3	52.2
社会	71.8	67.0	61.6	50.9
数学	70.8	63.6	55.7	39.2
理科	53.9	49.2	43.4	34.4
英語	68.8	63.4	56.1	42.7

○すべての教科において、「宿題のほかに毎日勉強する」生徒の正答率が最も高く、「宿題があつてもあまり勉強しない」生徒の正答率が最も低い。

○「宿題だけ勉強する」と「宿題があつてもあまり勉強しない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きいのは、数学 (16.5) で、英語 (13.4) が続いている。

9 朝食の摂取【問 26】

正答率	必ず食べる	たいてい食べる	食べないことが多い	食べない
国 語	64.1	56.0	52.1	51.0
社 会	66.6	55.6	51.1	49.5
数 学	62.9	47.3	40.7	36.5
理 科	48.7	38.3	34.8	33.3
英 語	62.4	49.5	44.3	42.3

○すべての教科において、朝食の摂取状況の良い生徒ほど正答率が高い。

○「必ず食べる」と「食べない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「数学」で26.4ポイント、英語（20.1）、社会（17.1）、理科（15.4）の順で続き、国語（13.1）の差が最も小さい。

資料 調査結果集計表

(数字はすべて%)

【共通】

問1 学校生活は、楽しいですか。

	楽しい	どちらかといえば、 楽しい	どちらかといえば、 楽しくない	楽しくない	無回答
H19	43.3	42.0	9.5	5.1	0.1
H20	48.4	38.7	8.4	4.4	0.1
H21	47.9	38.9	8.9	4.2	0.1

問2 勉強は、好きですか。

	好きだ	どちらかといえば、 好きだ	どちらかといえば、 好きではない	好きではない	無回答
H19	3.2	17.4	44.5	34.8	0.0
H20	4.0	18.7	42.6	34.6	0.1
H21	4.2	20.5	42.6	32.6	0.0

問3 勉強をすることは、大切なことだと思いますか。

	大切だ	どちらかといえば、 大切だ	どちらかといえば、 大切ではない	大切ではない	無回答
H19	47.2	45.6	4.3	2.9	0.1
H20	50.1	43.5	3.6	2.7	0.1
H21	51.6	41.4	4.1	2.7	0.1

問4 勉強をする一番の理由はなんですか。

	わかると楽し いから	受験に役に立 つから	将来の仕事に 役に立つから	生活するのに 役に立つから	ほめてもらえ るから	家の人やまわ りの人にいわ れるから	無回答
H19	14.1	28.1	36.6	11.8	0.7	8.1	0.6
H20	13.5	29.3	36.7	11.3	0.8	7.9	0.5
H21	12.6	30.7	36.0	10.7	0.8	8.6	0.4

問5～9 次の学習は好きですか。

		好きだ	どちらかといえ ば、好きだ	どちらかといえ ば、好きではない	好きではない	無回答
国語	H19	17.2	42.7	28.7	10.9	0.6
	H20	18.2	42.8	27.7	11.0	0.3
	H21	17.2	43.3	27.8	11.3	0.4
社会	H19	24.3	36.4	25.3	13.2	0.7
	H20	24.7	36.0	25.4	13.4	0.5
	H21	24.5	36.4	25.5	13.2	0.4
数学	H19	20.3	29.8	27.9	21.3	0.8
	H20	21.0	29.0	27.1	22.4	0.5
	H21	21.8	30.6	26.7	20.3	0.5
理科	H19	16.8	33.0	30.4	18.8	1.1
	H20	19.2	33.9	29.2	17.2	0.5
	H21	19.0	34.6	28.6	17.3	0.5
英語	H19	19.7	30.8	28.0	20.9	0.7
	H20	21.3	29.7	27.7	20.8	0.4
	H21	19.8	30.7	27.5	21.4	0.5

問 10～14 次の授業は、よくわかりますか。

		わかる	どちらかといえば、わかる	どちらかといえば、わからない	わからない	無回答
国語	H19	27.9	50.7	15.8	5.2	0.4
	H20	30.3	50.2	14.5	4.9	0.2
	H21	28.1	51.5	15.0	5.1	0.2
社会	H19	30.5	42.8	18.6	7.5	0.5
	H20	31.8	42.2	18.1	7.7	0.3
	H21	31.2	42.7	18.0	7.9	0.3
数学	H19	27.6	36.8	22.1	13.0	0.5
	H20	28.3	36.0	22.0	13.4	0.3
	H21	28.8	37.7	20.7	12.5	0.3
理科	H19	19.6	40.5	27.4	11.9	0.7
	H20	21.8	40.9	25.5	11.5	0.3
	H21	22.3	42.9	23.5	10.9	0.3
英語	H19	23.2	37.8	23.9	14.6	0.5
	H20	24.7	38.1	22.8	14.2	0.3
	H21	24.8	37.7	23.0	14.2	0.3

問 15～19 次の授業で学んだことは、生活の中で役に立っていると思いますか。

		役に立つ	どちらかといえば、役に立つ	どちらかといえば、役に立たない	役に立たない	無回答
国語	H19	43.7	40.2	10.7	4.9	0.5
	H20	46.5	37.9	10.1	5.2	0.3
	H21	46.7	39.3	9.1	4.7	0.3
社会	H19	17.2	37.9	31.1	13.2	0.6
	H20	18.8	35.8	31.5	13.6	0.3
	H21	18.6	37.8	29.9	13.4	0.3
数学	H19	31.7	41.4	17.3	8.8	0.8
	H20	33.8	39.4	17.5	9.0	0.3
	H21	35.2	40.8	16.2	7.4	0.4
理科	H19	11.4	34.3	35.9	17.3	1.0
	H20	12.2	33.8	35.4	18.2	0.3
	H21	12.9	36.5	33.9	16.4	0.4
英語	H19	30.8	38.1	19.1	11.4	0.6
	H20	30.9	37.9	18.8	12.0	0.3
	H21	31.2	37.8	18.9	11.8	0.3

問 20 授業の中で、わからないことがあったら、どうすることが多いですか。(複数回答可)

	その場で先生にたずねる	授業が終わってから先生にたずねる	友だちにたずねる	家の人にたずねる	塾や家庭教師の先生にたずねる	自分で調べる	そのままにしておく
H19	33.6	24.6	74.0	38.1	39.9	45.7	34.2
H20	33.8	26.5	74.0	39.7	38.6	44.9	36.7
H21	31.8	28.4	74.6	40.7	38.9	44.7	36.0

問 21 学校のある日、家で1日どのくらい勉強しますか。

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	ほとんどしない	無回答
H19	2.3	7.8	20.2	27.5	41.8	0.4
H20	2.1	7.2	19.2	27.9	43.1	0.4
H21	2.7	8.0	20.9	28.4	39.7	0.3

問 22 学校が休みの日、家で1日どのくらい勉強しますか。

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	ほとんどしない	無回答
H19	3.8	7.6	18.0	23.7	46.6	0.4
H20	4.2	8.0	17.3	23.8	46.1	0.5
H21	5.6	9.5	19.4	24.0	40.8	0.6

問 23 ふだん、家でしている勉強は、どれに近いですか。

	宿題のほかに毎日勉強する	宿題のほかにときどき勉強する	宿題だけ勉強する	宿題があってもあまり勉強しない	無回答
H19	8.7	41.0	35.0	14.7	0.7
H20	9.6	41.5	33.5	14.4	1.0
H21	11.3	42.5	31.5	13.6	1.1

問 24 学習塾に、通っていますか。

	通っている	通っていない	無回答
H19	58.0	41.3	0.8
H20	58.3	40.9	0.8
H21	57.7	41.5	0.8

問 25 学校がある日の、睡眠時間はどれくらいですか。

	10時間以上	9時間以上、10時間より少ない	8時間以上、9時間より少ない	7時間以上、8時間より少ない	6時間以上、7時間より少ない	6時間より少ない	無回答
H19	2.1	4.9	18.8	35.9	27.0	10.8	0.5
H20	2.2	5.3	19.8	36.1	26.1	9.8	0.6
H21	2.0	5.6	20.1	37.3	24.2	10.4	0.4

問 26 毎日、朝食を食べますか。

	必ず食べる	たいてい食べる	食べないことが多い	食べない	無回答
H19	71.1	17.8	7.0	4.0	0.1
H20	74.2	15.3	6.8	3.6	0.2
H21	75.8	15.3	5.6	3.3	0.1

問 27 学校に持って行くものは、前日にきちんと用意しますか。

	用意する	どちらかといえば、用意する	どちらかといえば、用意しない	用意しない	無回答
H19	31.7	26.1	21.5	20.7	0.1
H20	32.3	27.0	20.0	20.4	0.3
H21	34.9	27.2	18.1	19.7	0.1

問 28 学校のある日、家でどのくらいテレビやビデオをみたり、テレビゲームをしますか。

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	ほとんどしない	無回答
H19	33.5	24.4	23.8	11.5	6.7	0.1
H20	34.9	24.3	23.3	10.9	6.5	0.2
H21	34.2	24.4	24.5	11.4	5.4	0.2

問 29 学校が休みの日、家でどのくらいテレビやビデオをみたり、テレビゲームをしますか。

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	ほとんどしない	無回答
H19	49.3	20.3	17.6	6.7	5.8	0.3
H20	51.0	20.0	17.0	6.4	5.3	0.3
H21	50.3	22.1	16.5	6.4	4.3	0.2

問 30 月に何さつぐらい本（マンガ・雑誌をのぞく）を読みますか。 [*31冊以上の回答は集計から除外]

	0冊	1～3冊	4～6冊	7～9冊	10冊以上	無回答	平均冊数 *無回答を除く
H19	33.0	49.9	8.7	2.2	6.0	0.3	2.3
H20	32.3	49.0	9.5	2.2	6.2	0.7	2.3
H21	35.6	44.9	9.3	2.2	7.1	0.8	2.4

【国語】

問 31 わからない言葉があるときは国語辞典（電子辞書をふくみます）を使いますか。

	よく使う	どちらかといえば、よく使う	どちらかといえば、あまり使わない	あまり使わない	無回答
H19	22.5	31.3	24.1	22.0	0.2
H20	23.9	31.0	22.6	22.3	0.2
H21	25.5	30.6	21.9	21.9	0.1

問 32 日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話そうとしていますか。

	話そうとしている	どちらかといえば、話そうとしている	どちらかといえば、話そうしていない	話そうしていない	無回答
H19	21.2	39.1	27.8	11.7	0.1
H20	22.2	39.6	26.2	11.7	0.3
H21	23.3	41.3	24.9	10.4	0.1

問 33 日記を書くなど、自分の思いや考えを文章に書こうとしていますか。

	書こうとしている	どちらかといえば、書こうとしている	どちらかといえば、書こうしていない	書こうしていない	無回答
H19	13.7	15.4	18.9	51.9	0.1
H20	12.5	14.9	18.0	54.4	0.3
H21	11.6	14.8	20.5	52.9	0.1

【社会】

問 34 わからない地名に出会ったら、自分で地図帳などを使って調べますか。

	調べようとしている	どちらかといえば、調べようとしている	どちらかといえば、調べようしていない	調べようしていない	無回答
H19	12.7	22.1	28.1	37.0	0.1
H20	12.6	21.8	27.8	37.5	0.3
H21	12.4	23.0	28.2	36.3	0.1

問 35 歴史上の人物やできごとをあつかっている本を読むことは好きですか。

	すきだ	どちらかといえば、すきだ	どちらかといえば、すきではない	すきではない	無回答
H19	20.3	25.5	26.4	27.7	0.1
H20	21.1	25.6	24.9	28.0	0.3
H21	22.5	26.4	25.2	25.8	0.1

問 36 社会のできごとやニュースに関心がありますか。

	関心がある	どちらかといえば、 関心がある	どちらかといえば、 関心がない	関心がない	無回答
H19	25.8	42.2	21.6	10.3	0.1
H20	29.4	42.5	18.5	9.3	0.3
H21	31.1	42.5	17.5	8.8	0.1

【数学】

問 37 数学の時間に、いろいろな考え方を発表しあうことは好きですか。

	すきだ	どちらかといえば、 すきだ	どちらかといえば、 すきではない	すきではない	無回答
H19	9.8	19.8	36.9	33.3	0.2
H20	11.2	21.3	34.3	33.0	0.2
H21	10.8	22.1	34.9	32.0	0.2

問 38 問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。

	考えようとしてい る	どちらかといえば、考 えようとしている	どちらかといえば、考 えようとしていない	考えようとしてい ない	無回答
H19	10.4	21.0	33.0	35.4	0.2
H20	11.8	21.3	31.9	34.8	0.2
H21	12.2	23.0	31.9	32.7	0.2

問 39 問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったかをふり返って考えようとしていますか。

	考えようとしてい る	どちらかといえば、考 えようとしている	どちらかといえば、考 えようとしていない	考えようとしてい ない	無回答
H19	26.4	36.4	20.3	16.8	0.2
H20	26.4	35.1	20.9	17.3	0.2
H21	26.7	35.1	20.6	17.3	0.2

【理科】

問 40 理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。

	すきだ	どちらかといえば、 すきだ	どちらかといえば、 すきではない	すきではない	無回答
H19	38.5	32.2	16.7	12.4	0.2
H20	41.4	31.0	15.8	11.5	0.2
H21	40.0	31.9	16.3	11.6	0.2

問 41 理科の勉強で、わからないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとしていますか。

	調べようとしてい る	どちらかといえば、調 べようとしている	どちらかといえば、調 べようとしていない	調べようとしてい ない	無回答
H19	11.3	26.4	36.0	26.0	0.2
H20	12.3	27.5	34.8	25.2	0.2
H21	12.7	28.7	34.4	24.0	0.2

問 42 自然や理科についての読み物や図かん、テレビ番組などをよくみていますか。

	よくみている	どちらかといえば、 よくみている	どちらかといえば、 あまりみしていない	あまりみしていない	無回答
H19	13.1	19.4	32.1	35.1	0.3
H20	13.4	21.4	29.7	35.2	0.3
H21	13.3	22.1	31.9	32.5	0.2

【英語】

問 43 テレビやラジオで英語の番組をみたり聞いたりするなど、家で英語の勉強をすることはありますか。

	ある	どちらかといえば、 ある	どちらかといえば、 ない	ない	無回答
H19	13.6	20.2	27.8	38.2	0.2
H20	14.6	19.2	26.1	39.8	0.3
H21	14.8	20.3	27.7	37.0	0.2

問 44 わからない言葉があるときは、英語の辞書（電子辞書をふくみます）を使いますか。

	よく使う	どちらかといえば、 よく使う	どちらかといえば、 あまり使わない	あまり使わない	無回答
H19	29.3	25.1	17.5	27.9	0.2
H20	29.7	24.5	16.6	29.0	0.2
H21	29.2	24.3	17.6	28.7	0.2

問 45 もし、道で出会った外国人に英語で話しかけられたら、どうしますか。

	何とか英語で話そ うとする	日本語で話そうと する	だまっている	その場からにげる	無回答
H19	68.2	14.8	4.2	12.4	0.5
H20	67.4	15.0	3.9	13.1	0.6
H21	67.3	14.9	4.1	13.2	0.5